

平成 29 年度「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業
IT・情報系専門学校における留学生に関する調査
報告書

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業 ITビジネス分野事業

目次

第1章：調査概要	P5
第2章：調査結果のまとめ	P9
第3章：総括.....	P27
第4章：日本への留学に関するアンケート調査（対留学生）	
調査結果詳細	P33
第5章：留学生インタビュー調査（対留学生）	
調査結果詳細	P49
第6章：留学生の採用に関するアンケート（対企業）	
調査結果詳細	P89
第7章：留学生在籍状況に関するアンケート調査（対学校）	
調査結果詳細	P109
第8章：付録.....	P121

第 1 章
- 調査概要 -

1.1 調査の背景と目的

専門学校留学生数の昨今の飛躍的増加に伴い、留学生(特に非漢字圏学生)の受け入れに関わる学生募集、入学から卒業までの教育および生活支援、就職指導までの一貫した体制整備の取り組み推進が急務となっている。

上記の背景を踏まえ、本調査は専門学校外国人留学生の学生生活（日本での生活、就職活動、その他）の課題を明らかにし、外国人留学生の受入増加に必要な施策の検討に資するものとするを目的に実施した。

なお今回の調査は 受け入れ留学生数が急増している IT ビジネス分野事業での受け入れ動向の把握、課題の整理等に特化して調査を行い、IT ビジネス分野における留学生支援のあり方の方向性を取りまとめた。

1.2 調査方法

上記の調査目的を達成するために以下の 4 つの調査を実施した。

1. 日本への留学に関するアンケート調査（対留学生）

調査手法	インターネットアンケート調査
対象者	国内の情報系専門学校の在籍する外国人留学生
アンケート質問数	17 問
アンケート実施期間	2018 年 1 月 26 日～2 月 11 日
最終回答者数	43 サンプル

2. 留学生インタビュー調査（対留学生）

調査手法	テレビ電話を利用したインタビュー
対象者	国内の情報系専門学校の在籍する外国人留学生
インタビュー時間	約 45 分
インタビュー実施日	2018 年 1 月 19 日/1 月 25 日/1 月 30 日/2 月 19 日
最終回答者数	10 サンプル

3. 留学生の採用に関するアンケート調査（対企業）

調査手法	インターネットアンケート調査
対象者	国内の情報サービス協会等に登録している企業の人事採用担当者
アンケート質問数	21 問
アンケート実施期間	2018 年 2 月 1 日～2 月 20 日
最終回答者数	21 サンプル

4. 留学生在籍状況に関するアンケート調査（対学校）

調査手法	インターネットアンケート調査
対象者	国内の情報系専門学校の留学生担当者
アンケート質問数	20 問
アンケート実施期間	2018 年 2 月 1 日～2 月 20 日
最終回答者数	10 サンプル

第 2 章

- 調査結果のまとめ -

2.1 日本への留学に関するアンケート調査（対留学生）

留学の目的

「就職に必要な技能や知識を身につけるため」が 65.1%で最も多い。次いで「日本で働く、もしくは日本企業に就職するため」が 58.1%、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため」が 32.6%となっている。

⇒日本での就職を意識した留学目的が上位

留学に際して検討した国

「比較検討はしなかった」が 44.2%で最も多い。次いで「韓国」と「アメリカ合衆国」が 16.3%、「ドイツ」が 14.0%、「中国」が 11.6%となっている。

⇒4 割強は比較検討をしていない。多くの留学生は他の国との比較検討の結果、日本に決めたというよりは、最初から日本に留学をしようと決めてそれを実現させている様子。

日本を留学先に選んだ理由

「日本語・日本文化を勉強したかったため」が 34.9%で最も多い。次いで「日本の企業に就職したかったから」が 32.6%、日本の教育や研究が魅力的と思ったため」が 27.9%となっている。

⇒日本文化への憧れと日本企業への就職目的が日本を留学先に選んだ大きな理由となっている。

今の学校を留学先に選んだ理由

「この学校に興味ある専門分野があったため」が 62.8%で最も多い。次いで「この学校などの教育や研究が魅力的と思ったため」が 44.2%、「友人、知人、家族等に勧められたため」と「学力や費用等の条件が一番合ったため」が 34.9%となっている。

⇒勉強内容に関する項目が選択理由として上位なのは専門学校生ということも影響しているのではないと思われる。友人・知人・家族等の勧めや条件面の一致も留学先として選ばれるためには大きな要素。

入学前に日本語を勉強した場所

「日本国内の日本語学校」が 72.1%で最も多い。次いで「出身国の日本語学校」が 16.3%、「日本や出身国以外の日本語学校」が 9.3%となっている。

⇒多くの学生はまずは日本国内の日本語学校に入学し、その後現在の学校に入学している。

入学当時と現在の日本語理解

入学当時においては「ほとんど理解できた」が 18.6%、「半分くらい理解できた」が 44.2%、「あまり理解できなかった」が 25.6%、「全く理解できなかった」が 11.6%となっている。

現在は「ほとんど理解できた」が 62.8%、「半分くらい理解できた」が 30.2%、「あまり理解できなかった」が 7.0%となっている。

⇒多くの学生は日本での滞在経験を経て日本語理解力が高まっている。

日本への留学前に苦労したこと

「日本語学習」が 53.5%で最も多い。次いで「留学資金準備」が 39.5%、「情報の収集」が 32.6%、「留学ビザ取得」が 25.6%となっている。

⇒日本語学習が最上位だが留学資金準備や情報収集に苦労した学生も少なくない。

日本へ留学してからに苦労したこと

「物価が高い」が 46.5%で最も多い。次いで「日常生活における母国の習慣<生活習慣、宗教上の習慣等>との違い」が 32.6%、「学校内で日本人学生と交流できないこと」が 30.2%となっている。

⇒物価の高さに苦労している者は多く、留学に伴う資金面をどのようにクリアさせるかが留学生サポートにおいて重要だと思われる。

現在の学校の満足度

「とても満足」が 32.6%、「満足」が 51.2%で計 83.7%が満足している。「どちらともいえない」は 14.0%、「まったく満足していない」は 2.3%であった。

⇒現在の学校には概ね満足している様子。

現在の学校の満足点と不満点

満足している点においては「教師の質」が 86.0%で最も多い。次いで「学業のサポート体制」が 83.7%、「授業内容」が 81.4%となっている。

不満に感じている点においては「特になし」が 30.2%で最も多い。次いで「住居を探す等の生活面のサポート体制」が 25.6%、「課外活動、クラブ活動」が 23.3%となっている。

⇒現在の学校において学業面での満足度は高い。不満はそれほど多くはないが生活面のサポートを求める声の一部では見られる。

卒業後の進路希望

「日本で就職または起業」が 60.5%で最も多い。次いで「日本で大学や大学院に進学」が 16.3%、「日本で他の専門学校に進学」が 7.0%となっている。

日本での進路を希望する者は 83.7%、出身国に戻ることを希望する者は 7.0%、日本・出身国以外の進路を希望する者は 2.3%となっている。

⇒80%を超える学生が卒業後も日本に滞在することを希望している。

日本での就職に際して学校に期待するサポート

「留学生向けの就職活動に関するセミナー」が 48.8%で最も多い。次いで「留学生向けの個別の就職カウンセリング」が 44.2%、「留学生向けの求人情報の提供」が 37.2%となっている。

⇒様々な形での就職サポートを希望する学生は多い。

2.2 留学生インタビュー調査（対留学生）

日本に留学した経緯・理由

日本に留学した理由としては「日本文化への憧れ」と「日本で就職したかった」というのが大きな理由として挙げられた。特に今回インタビューした学生は日本のアニメに影響され日本に興味を持った学生が多かった。またほとんどの者が日本で就職する前提で留学を目指していた。

またアジア諸国からの留学生にとって、日本は欧米よりも地理的、文化的に近いという点も日本を選んだことに大きく影響していた。日本に母国のからの友人・知人がいたことが日本を選んだ決め手になっていたという学生も多く見られた。

今回インタビューした学生においては日本以外の国を検討したものは少数で、ほとんどは日本に行くという前提で留学を計画していた様子であった。

日本文化への憧れ

- 子供のころからアニメが大好きで日本の文化も好きなので、それで日本に留学したいと考えていましたこともある。他の国に留学しようとは全く考えていなかった。（対象者 1）
- アニメが好きで、アニメを通して日本人の生活の仕方や生き方など、中国と文化が違うかなと思っていて、やはり現場で日本人がどう生活しているのかを体験したかった。（対象者 4）
- ドラマとかアニメーションの影響もある。日本に対する憧れとかあった。（対象者 5）

日本で就職したかった

- 日本の会社で就職したいという目的が結構あった。自分は、日本の IT メディアに必要な資格を韓国で持っていたので、すぐ就職はできると思った。（対象者 2）
- 将来は日本で就職したいと思っていた。（対象者 4）
- ネパールは今は失業が多いので、就職しようとしてもなかなかできない。日本は仕事が多くて、日本語さえ出来れば自分のやりたい仕事に就ける可能性が高い。（対象者 8）

地理的に近い、文化的に近いことによる安心感

- コスト（台湾に戻る飛行機代や学費）的にも日本は安いのでよい。（対象者 3）
- 日本は、アジア系で文化的にも家族を大切にすることが気がになっていた。日本人は優しく、留学生で来てもそんなに困ることはないよと聞いて安心感があった。（対象者 6）

友人・知人の存在

- 自分の友達のアジア系のネパール人が福岡にいたので、どういう感じですかと相談した上で、来て頑張れば出来ないことはない聞き、その上で決めた。（対象者 6）
- 姉の友達が日本へ行っていた人がいたので、ちょっと自分も日本へ行きたいかなって思った。それで仕事を辞めて、日本へ留学しようと決めた。（対象者 7）
- 子供のころのネパールの友達が日本にいたのだが、その友達といろいろ話して、それがきっかけになった。（対象者 9）

他の国との比較検討状況

- 他の国に留学しようとは全く考えていなかった。（対象者 1）
- ヨーロッパや米国も少し検討したが、今の時代、台湾で英語を話す人はたくさんいるので、そこで日本語を話せればプラスになると思

った。(対象者 3)

- 他国に留学したいという考えは全くなかった。(対象者 4)

最初の/現在の学校を選んだ理由

今回インタビューした学生のほとんどは、現在の学校に入学する前に日本語学校に行っていた。日本語学校を経由せずに直接現在の専門学校に入学していたのは一部であった。最初は日本語の勉強が必要なので、日本語学校に行ってもよかったという意見があった一方で、日本のことがあまりわからず日本語学校に行ってしまったことをやや後悔している者もいた。

多くの者は、最初に入学した日本語学校を母国の留学エージェントや留学コンサルタント会社などのところから紹介されており、日本留学においては現地の仲介業者の影響力が大きい様子が伺えた。

日本語学校卒業後に関しては大学院進学を検討した者も数名いたが、いずれも日本で就職すること考えると専門学校の方がより実践的なことを学べるということで専門学校を選んでいった。

日本に来て最初に入った学校

- 最初に日本語学校に行ったのは、日本を旅行したときに日本語が全く喋れなくて、英語しか喋られなかったので、日本で住むためには日本語の勉強が必要だと思ったから。(対象者 2)
- 台湾で日本語塾に行っており今の学校は台湾の日本語塾の先生の紹介。いくつか候補があり、その中で今の学校がいいと思い応募した。(対象者 3)
- 最初の日本語学校は中国で、留学生に対してビザの申請とか学校の紹介とかをしてくれる仲介の学校の先生に紹介してもらったのがきっかけ。(対象者 4)
- 最初、専門学校ではなくて日本語学校に行ったのは、そこら辺の情報はあまり知らなくて、日本語学校に行ってしまったという部分もあったのではないかと今は感じている。(対象者 6)

現在の学校の選択

- 日本語学校を卒業時に就職活動もしたが、良い仕事が見つからなかった。母国に帰っても、日本語の勉強が無駄になるので、もう一度 IT を勉強しようと思い現在の学校に入学した。(対象者 1)
- 日本語学校が終わって今の学校を選んだときは、九大の大学院と専門学校の 2 つで迷った。大学院は理論的なことを勉強するので、自分に大事なことは何かと思って、やはり日本語の実力と、実務の、現場で働ける技術を身に付けたいと思った。九大の大学院の面接までしたが、最後には専門学校に入るのが就職に近いと思った。(対象者 2)
- 日本語学校を卒業してから日本で大学院に入りたかったが、日本語学校の先生に何度も相談ののってもらって「日本で就職したい人は専門学校の方がいいのではないかと」言われ、今の専門学校になった。(対象者 4)
- プログラミングが学べる情報系の学校を探して、いろいろ調べてみたら、今の専門学校は韓国にも事務所があった。海外でも展開している学校なので、韓国の事務所に行って説明を聞いて決めた。(対象者 5)
- 日本語学校を卒業したときは大学院の勉強をしようと思っていた。一度東北大学の資料を見てみたところ、その時にやるよりも少し待って後でいろいろな資格を持ってからやった方がいいと思って今の学校に入学した。大学院に入って就職するよりも今のところ就職の方がいいのではないかと考えた。(対象者 8)

留学準備に関して

日本や日本の学校に情報に関しては、十分手に入ったという者と、あまり手に入らなかったという者に分かれた。十分に手に入った者は、日本に住んでいる友人・知人等があり、そこから情報を入手していたケースが多い。一方あまり手に入らなかった人はインターネットが主な情報収集手段であったが、ネット上にはあまり情報がないと考えていた。

留学仲介業者を利用した者も多く、その場合はその業者の情報が主な情報源になるが、それだけだと偏った情報だったり騙されたりするのではないかと不安を感じる者も見られた。

来日前の不安としては金銭面と日本語を挙げる者が多かった。多くの者が日本は生活費が高いと考えられており、日本で生活していけるのかが不安に感じていた。また日本語がわからないので生活できるのかがどうか不安を感じていた者もいた。

不安を感じる者がいる一方で、留学そのものがチャレンジであり不安を感じるよりはチャレンジを楽しもうというたくましい姿勢を持つものを少なからずいた。

日本や日本の学校の情報収集

- 中国にいる時に、知りたかった情報は十分に手に入った。主に調べたツールはインターネット。Yahoo! 知恵袋のような意見を書くところで聞いて、日本にいるみんなが全部答えてくれる。そういう風に調べた。(対象者 4)
- 正直に言うと情報が足りなさ過ぎて、何でもあれば助かるくらいだった。学校のこともあまり書いていないし、日本語ができないと、何でも調べられないくらいだった。情報がなさ過ぎる。自分で調べるしかなくて辛いので、いろいろ情報を出して欲しい。情報さえあれば留学してくる子は多いと思う。(対象者 4)
- ネパールで誰かしらに聞き始めて、その人がネパールから日本に人を送っている(エージェント)という形になってしまうと、はっきりとした情報が手に入らない可能性もある。そういう件で騙してしまっていることもなくはない。(対象者 6)
- ベトナムでは日本の学校の情報があまりなかった。情報があつたとしても、信じられない内容もある。もし知り合いがいなかったら大変だったと思う。授業の時間はどうか、先生は仕事を紹介してくれるか、やはり、安全なところか、といったことが知りたかった。(対象者 7)

来日前に不安だったこと

- 自分はそのなになかった。旅行したときも1人で旅行だし、いろいろなことに楽しくチャレンジするつもりだった。(対象者 2)
- 自分が1人で日本にきて、親戚も友達もいなくて1人ぼっちになるのが不安だった。それに日本の生活費がすごく高いと聞いていた。家族が留学するための日本語学校 1年目の学費も全部払ってくれたが、日本に来てからもずっと両親に支払ってもらうのはやはり恥ずかしいので、どう生活するのもすごく不安だった。それに日本人は優しいかどうか、全然知らないのが不安だった。(対象者 4)
- 一番の不安はお金のこと。韓国よりは物価が高いと言われていましたし、学費も安いわけでもない。それがいろいろ心配になった。(対象者 5)
- 日本語があまり分からないので生活できるか、これからどうなるのかが不安だった。(対象者 8)

日本語の習得に関して

大学時代から日本語を勉強していたものもいたが、多くは留学が決まってからの数か月の勉強のみで日本に来日している。勉強方法としては母国の日本語学校に行っていた者もいるが、独学で勉強していた者も少なくなかった。

来日当初あまり日本語が理解できなかった者がほとんどだったが、ほとんどの者が現在は授業での先生の話がほとんど理解できるレベルまで達している。

ちなみに今回のインタビューは日本語で実施されたが、インタビュアーの印象としては、各学生にレベルの差はあるものの全員が日本で学生生活を過ごすために十分な日本語能力を有していると感じた。

なお、ほぼ全員が日本語能力の中でライティング（作文）に最も苦勞している様子。また日常会話における方言に苦勞している者も見られた。

日本語の習得方法/学習方法

- 日本に留学することが決まってから初めて勉強を始めた。インターネット上の教材で自主勉強をした程度。学校等には行っていない。（対象者 1）
- 大学での、学校の授業も受けながら日本語塾でも学んだ。日本語を学んだのは第 2 外国語の勉強として。将来日本語を使う可能性もあったから。（対象者 3）
- 日本語は独学で勉強した。一番役に立ったのは、ドラマとかアニメーションで、いろんな状況に対する会話を聞いたこと。テキストを見るよりは、聞きながら覚えるタイプなので。（対象者 3）
- 日本にくる前に 4 カ月くらいから勉強を始めた。ベトナムにある日本語センターで勉強した。（対象者 7）

来日時と現在の日本語理解

- 来日直後は 25%しか理解できなかった。今は授業も 50%くらい理解できる。日本人の友人との話は大体分かるが、友達が方言を使うときは分からない。（対象者 1）
- 最初（来日直後は）日本語は全く分からなかった。今は授業の時は大体 90%以上分かっている。テキストの理解は 7~8 割くらい。一番難しいのは作文。韓国とか英語で使っている表現の中で、日本語で使っていない表現があるので、これで通じるかと思って書いたら、この言葉は日本語で使っていないですよと言われるときも結構ある。文法的な問題よりは、日本人がよく使っている表現がまだ分からない。（対象者 2）
- 今は先生の話は今はほとんど分かる。読むことに関しては漢字だったらそんなに難しくない。中国でも、もともと漢字なので。でもやはり、ひらがなの単語は難しいと思う。「どんだけ」とか、副詞とかが分からない。（対象者 4）

日本での生活について（生活面）

今回インタビューした学生は概ね日本での生活を楽しんでいる様子であった。母国と文化が違うのでその点に苦勞している者もいたが、逆に文化の違いを楽しんでいる者も見られた。

最も苦勞している点として経済面を挙げる者が多かった。全員が授業料や生活費を賄うためにアルバイトをしているが、アルバイトが負担になって授業がおざなりになってしまうという意見を述べる者もいた。

この経済面での苦勞解決のために最も学校に一番期待するサポートとしてアルバイトの紹介や奨学金の充実を挙げる者が多く見られた。

その他学校に期待するサポートとしては、日本人や他国との学生の交流をサポートして欲しいという声が多く聞かれた。留学の醍醐味として他国の人と交流し様々な文化や考え方を学ぶということが挙げられるが、学校にも単に授業だけではなく、そのような点もサポートして欲しいという期待があるようであった。

満足している/気に入っている点

- 日本は比較的安全なところだと思う。夜に出ても心配なく、どこでも行ける国はそんなに無い。料理もおいしい。(対象者 2)
- 文化の違いも楽しい。違う文化との交流や自分の知らないこと、台湾で聞いていたことやなぜ台湾人が日本人をこう思うのかが理解できて楽しい。(対象者 3)
- 暮らしやすいかなと思っている。日本で自分がやりたいと頑張ると、なんとなく生きていけるのじゃないかなと思っている。頑張ると、認められる国で、そこがすごくいいと思っている。(対象者 4)
- 日本の生活は面白い。友人と豊島園に行ったり冬はスノーボードに行ったりしている。夏はプールにも行く。冬のスポーツはベトナムではできないので楽しい。(対象者 10)

苦労した点

- 母国と違ってなかなか大変だと思う。特に食事に苦労している。私は豚肉を食べられないのが、日本の料理は豚肉が多い。そういうことが1番大変。自分はイスラム教徒だがハラフードが食べられる場所は少ない。(対象者 1)
- 生活費をどうするかも大変。今はほとんど自分がアルバイトで賄っているが、時々足りなかったら、両親からもらっている。アルバイトがないと厳しいので、アルバイトを見つけることはとても重要。長い時間アルバイトをするから勉強に影響して、その分勉強できないと感じることもある。結構疲れる生活になる。(対象者 4)
- 日本人から外国人としてとらえるイメージがあるが、その差別というか、外国人だっていう感覚が出てくるところが1番辛いと思う。それ以外は日本の文化とか、日本人をちゃんと理解しないと誤解してしまうところが多い。(対象者 8)
- 大変だったのは日本語。最初は、何も分からなかった。道も迷って、お店で注文さえも出来なくて大変だった。また日本に留学するには仕送りしてもらわないと難しい。アルバイトだけでは賄えない。今も、両親からお金をもらったりしている。日本語学校の時はアルバイトの時間があつたが、専門学校に入ってから時間が厳しくなって、アルバイト出来る時間が少なくなってしまった。それで生活も大変になった。さらに、専門学校に入って税金もいっぱい払うし、保険や年金とかも払うので、ほんとうに厳しくなった。(対象者 7)
- 私はネパール人なので常識と思ってやっていることが相手から非常識と思われてしまうことに困っている。分からないうちに自分が悪くなってしまふことに困っている。文化の違いだ。(対象者 8)

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあつてよかったこと

- 皆、早くバイトしたいと思っている。学校から紹介してもらつた仕事は単純労働や工場の仕事が多い。日本語が出来るともつといろいろなバイトを紹介してくれるのもつと日本語を使えるようにとかサポートして、いろいろなバイト先を紹介してくれるとよい。(対象者 2)
- サポートして欲しいのは奨学金とか、それが一番大きい。それ以外は、先輩と後輩たちの関わりを作つてほしい。他の学校は詳しくないが、自分の学校は先輩と後輩の関係がほぼない。メンターのような、いろいろ教えてくれる、頼りになる人がいればいいと思う。(対象者 5)
- 学校としては、同じ日本の学校で同じ国籍の学生ばかり並べるのではなく、いろんな国の人を並べて、みんなで授業すると日本語の勉強も早いだろうし、日本語能力試験や高いレベルの試験も簡単に受かるのではないかなと思う。それだったら英語の勉強にも、日本語の勉強にもなるし、いろんな国の文化とかエキスチレンジ(交換)できる。そういう機会を作つてくれたら嬉しかったと思う。(対象者 10)

象者 6)

- 学校でお祭りとか、盆踊りとか日本の文化を紹介してくれるのでよかった。日本の学校でいろいろなことが勉強になったのであまり困ったことはない。(対象者 9)

現在の学校について

ほぼ全員が現在の学校に満足している。特に授業の内容が実践的で学びたかったことが学べているという声は多い。

しかしながら一部では日本の学生はやや勉強熱心ではないのではないかという意見も聞かれた。

- 今の学校には満足している。皆優しい。授業のレベルのよい。やりたい勉強ができています。日本人の学生は真面目だと思う。(対象者 1)
- 聞いていたことより、がっかりしたこともある。日本の学生たちは半分以上が専門学校に入ると聞いた。ほんとうに勉強したいと思っている人が大学に進学して、他の、就職したいと思っている人が専門学校に入る。最初は専門学校のレベルが大学に負けないくらい高いと聞いたのですが、学校の先生たちの教え方のレベルというより、学生たちのやる気がないと思う。先生たちは頑張っているが、教えてくれても学生たちが勉強したくないという感じがする。(対象者 2)
- すごくいいと思っている。授業もしっかりやっている。分からないと先生も丁寧に指導してくれる。この学校に入ってから心配することが一切なくなった。すごくいい学校だと思う。やはり専門学校なので、先進的な知識が多く得られるのではないかとと思っている。(対象者 2)
- 今の学校には満足している。ビジネスのことについても日本社会に使うビジネスマナーなども教えてくれるので、その場で使えることなのでそれがよかったと思う。(対象者 8)
- 今の学校には満足している。このクラスは私も興味があったので。ネパールでも 1 年エンジニアリングを勉強したからそんなに難しくない。内容が合っていたし勉強したことはほとんど分かった。(対象者 10)

卒業後の進路について

すでに進路が決まっている者に関しては全員日本企業への就職が決まっており、今後就職活動を予定している者は日本企業での就職を希望している。卒業後母国に帰る予定や希望しているものはいなかった。

実際に就職活動をした者においては、日本企業におけるビジネスルールに戸惑った者が多い。皆、自分たち（外国人）に日本人と同様な敬語、身だしなみ、マナー等を要求されるのは厳しいと考えている。

逆に学校には、それらの点（ビジネスルール）を教えてもらうことを期待している。また会社選択において学校からの情報に対する期待は大きい。自分で調べるだけでは、その会社がどこまで信頼できるのか（例えばブラック企業ではないか）といったことが分からず、その点に関して学校から紹介された企業は安心だと考えている。

進路の希望/内定先

- 日本の企業に就職するのが1番の目標。今就活中で今いろいろ会社を探している。今の目標は日本のIT会社。(対象者2)
- 卒業は再来年。日本で就職先を探してみようと考えている。(対象者3)
- この4月から日本のIT関係の会社で開発の仕事をする事が決まっている。この会社は学校の合同説明会で知った。それから説明会に参加して、先生のアドバイスを受けて応募した。中国で就職しようとはあまり思わなかった。日本が好きなので、長く日本にいたい。出来れば永住権を取りたい。(対象者4)
- 開発関係で金融系の仕事を主にやっている会社に内定が決まっている。(対象者6)
- 東京の派遣会社に就職が決まっている。海外の医者や看護師やITの専門の人を日本の会社に紹介する仕事だ。その会社は東京で行われた企業説明会に学校から連れて行ってもらって見つけた。(対象者8)

就職活動に関して不安なこと/苦労したこと

- 苦労しているのは敬語。敬語の表現がいろいろあるので、目上の人にどの表現を使うのがいいかな、と感じている。(対象者2)
- 苦労したのは、留学生なので、日本の一般常識の試験とか、漢字の国語試験がとても辛かった。それはたぶん入社しても使わないと思うのだが、何でその試験があるのか、今さら考える。学科にも関係無かったし、留学生に日本の歴史を聞いてもわけが分からない。(対象者6)
- 日本の就活は基本的なルールが厳しいかなと思った。身だしなみや挨拶は外国人にとってはあまり分からないことなので、たまになぜこんなことをやっているのかと不思議になる。それと外国人も日本人のようにしてほしいと期待されているのでそこまでいくのは難しいかなと思った。価値観的にはそこまでは満たせないという感じ。マナーや言葉遣いも日本人と同じようにしてほしいと期待するので、日本語が出来てもそのへんは少し難しいと思う。(対象者8)

就職活動に関して学校に期待すること

- 学校に特にサポートして欲しいことは会社の紹介を増やしてもらうことと日本語を教えてもらうこと。(対象者1)
- 学校は就職に対してはいろいろやってくれている。情報とかもいろいろくれていますし、ビジネスマナーとかも教えてくれているので、そこは満足している。(対象者5)
- 就職に関して学校にサポートして欲しいことは学校内とか学校外で説明会を行うことが1番だと思う。先生方は私たちを教えているから、どのくらいの力があるか、どんな会社が自分に合っているか分かっているし、日本の会社ですから先生の方が分かると思う。インターネットで調べても分からないことがいっぱい出てきた。先生にいろいろ教えてもらうのがありがたい。(対象者9)

日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

全員が日本への留学を考えている人に対して日本に来ることをお薦めしている。ただし、多くの者が目的意識を持つてくるのが重要だと述べている。自分が日本で何を勉強したいのかが明確でないとその留学は失敗するだろうと考えている。また日本語の勉強を出来るだけしてから来たほうがよいと述べる者も多かった。

- 日本への留学をお薦めする。母国はなかなかアルバイトとかもなかったの、日本はいろいろアルバイトがあつていいと思う。仕事が多い点が良い。日本に今後留学する人へのアドバイスとしては、まずは日本へ来る前に、日本語の単語をたくさん覚えるといいと思う。(対象者1)

- アドバイスしたいことは自分の目標を忘れないで、ということ。日本に留学したら面白いことが多いので、留学の目的が勉強ではなく旅行になる人が多い。それだと留学の意味が無くなるので、遊ぶときは遊ぶけど、ちゃんと目標を忘れないよう頑張してほしい。（対象者 2）
- 留学を考えている中国の後輩に日本をお薦めする。ただし、もし、怠け者だったら薦めない。積極的な人で、何かやりたいことがある人でしたら、「日本に来るのがよい」というと思う。これまで、友だちとか先輩とか私の周りの人に関して、やる気がないとほとんど帰国した。やる気がないと日本の生活は苦しいと思いがち。やはり自分にやる気があると、乗り越えられるかなと思っている。（対象者 4）
- 日本に行って何をやりたいかが重要。日本ってどんな感じかまず分からなくて、適当に来て、すごく困っていた人が多い。お金も稼げないし、学校もちゃんとできないし、日常の生活もできない。そういう人が日本人からしたら問題を起こしていると思われるっており、頑張っているネパール人に負担が掛かっているのではないかと思う。（対象者 6）
- 日本に来る人は日本語はできるだけ真面目に頑張ってきて欲しい。日本語以外はネパールの感覚や価値観はやめて日本の世界に馴染めるように精神的にも準備して来たほうが良いと思う。（対象者 8）
- 日本に留学しようとする後輩への 1 番のアドバイスは日常で使える日本語を頑張って勉強した方がいいということ。日本に来てからも勉強はもちろんできるが、自分の国で準備してきた方ができると思う。ここに来てから勉強となると、日本語が分からずアルバイトが見つけにくい。（対象者 9）

2.3 留学生の採用に関するアンケート調査（対企業）

※ 本アンケート調査においては回答企業数が 21 社であり、回答結果の解釈には注意が必要であると考えられる

過去 3 年間の採用状況

新卒日本人学生に関しては「採用した」が 76.2%、「採用活動は行ったが採用しなかった」が 0.0%、「採用活動はしなかった」が 23.8%となっている。

新卒外国人留学生に関しては「採用した」が 42.9%、「採用活動は行ったが採用しなかった」が 9.5%、「採用活動はしなかった」が 47.6%となっている。

外国人中途採用者に関しては「採用した」が 23.8%、「採用活動は行ったが採用しなかった」が 0.0%、「採用活動はしなかった」が 76.2%となっている。

⇒全回答企業において新卒外国人留学生を採用しようとしていた企業は約半分。

過去 3 年間の採用人数

新卒外国人留学生に関しては 9 社中、「1 人」と「2-3 人」が 3 社、「4-5 人」が 2 社、「6-9 人」が 1 社となっている。

外国人中途採用者に関しては 5 社中、「1 人」が 4 社、「4-5 人」が 1 社となっている。

⇒過去 3 年間の新卒外国人留学生の採用数は、それほど多くはない。

過去 3 年間の採用した外国人の男女割合

新卒外国人留学生に関しては 9 社中、「ほとんど/すべてが男性」が 2 社、「男性がやや多い」が 1 社、「男性、女性の数はほぼ同じ」が 2 社、「女性がやや多い」が 3 社、「ほとんど/すべてが女性」が 1 社となっている。

外国人中途採用者に関しては 5 社中、「ほとんど/すべてが男性」が 4 社、「男性がやや多い」が 1 社となっている。

⇒過去 3 年間の新卒外国人留学生を採用における男女割合の大きな差は見られない。

過去 3 年間の採用した外国人の出身校種

新卒外国人留学生に関しては、「【日本】大学院（文系）」と「【日本】大学（文系）」が 9 社中 5 社で最も多い。次いで「【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）」が 4 社となっている。

外国人中途採用者に関しては「【日本】大学院（理系）」と「【日本】大学（理系）」、「【海外】海外の教育機関」が 5 社中 2 社となっている。

⇒9 社中 4 社が専門学校（IT・情報システム開発系）より採用を行っており、企業採用活動における情報系専門学校への期待は大きいと思われる。

過去 3 年間の採用した外国人の出身国

新卒外国人留学生に関しては、「中国」が 9 社中 8 社で最も多い。次いで「韓国」、「ベトナム」、「マレーシア」、「モンゴル」、「台湾」が 1 社となっている。

外国人中途採用者に関しては「中国」が 5 社中 2 社で最も多い。次いで「韓国」、「ベトナム」、「台湾」が 1 社となっている。

⇒新卒外国人留学生の採用は中国人の採用が圧倒的に多い。

過去 3 年間の採用した外国人の配属部署

新卒外国人留学生に関しては、「情報システム開発部門」が 9 社中 8 社で最も多い。次いで「営業・販売部門」、「その他」が 1 社となっている。

外国人中途採用者に関しては「情報システム開発部門」が 5 社中 5 社となっている。

⇒新卒外国人留学生の採用は IT 系専門職として期待されている面が大きいと思われる。

過去 3 年間の採用した外国人の活躍度

新卒外国人留学生に関しては 9 社中、「期待以上に活躍している」が 1 社、「期待通りの活躍をしている」が 2 社、「普通」が 5 社、「やや期待外れ」が 1 社となっている。

外国人中途採用者に関しては 5 社中、「期待以上に活躍している」が 2 社、「期待通りの活躍をしている」が 1 社となっている。

⇒新卒外国人留学生が期待外れになっているケースは少ない様子。

今後の外国人の採用予定

新卒外国人留学生に関しては、「積極的に採用を増やしたい」が 4.8%、「いい人材がいれば採用したい」が 66.7%、「あまり採用する気はない」が 28.6%となっている。

外国人中途採用者に関しては、「積極的に採用を増やしたい」が 0%、「いい人材がいれば採用したい」が 66.7%、「あまり採用する気はない」が 33.3%となっている。

⇒多くの企業は新卒外国人留学生の採用に関して、人物次第ではありだと考えている様子。

今後の採用したい外国人の出身校種

新卒外国人留学生に関しては、「【日本】大学（理系）」が最も多く 15 社中 12 社。次いで「【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）」が 11 社、「【日本】大学院（理系）」が 10 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「【日本】大学院（理系）」と「【日本】大学（理系）」が最も多く 14 社中 10 社。次いで「【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）」が 9 社となっている。

⇒今後の採用における情報系専門学校に対する期待は大きいと思われる。

今後外国人を採用しようと考えている目的・理由

新卒外国人留学生に関しては、「国籍を問わず優秀な人材を確保するため」が最も多く 15 社中 11 社。次いで「日本人採用が困難なため」が 5 社、「多様化推進のため」が 4 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「国籍を問わず優秀な人材を確保するため」が最も多く 14 社中 11 社。次いで「日本人採用が困難なため、」と「多様化推進のため」が 4 社となっている。

⇒新卒外国人留学生の採用には優秀な人材を確保するという側面が強く、あくまで人物優先であると考えている企業が多い様子。

今後外国人を採用する際に重視するスキルや資質

新卒外国人留学生に関しては、「日本語能力」が最も多く 15 社中 13 社。次いで「コミュニケーション能力」が 9 社、「企業や業界に対する興味・志望」が 5 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「日本語能力」が最も多く 14 社中 12 社。次いで「コミュニケーション能力」が 7 社、「専攻や研究などで培った専門的知識・経験」が 4 社となっている。

⇒新卒外国人留学生が採用されるためにはビジネスで通用する日本語能力を身につけることが最優先だと考えられる。

今後外国人を採用する際に求める日本語能力

新卒外国人留学生に関しては、「ビジネス上級レベル」が最も多く 15 社中 8 社。次いで「ビジネス中級レベル」が 5 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「ビジネス上級レベル」が最も多く 14 社中 10 社。次いで「ビジネス中級レベル」が 2 社となっている。

⇒新卒外国人留学生にはビジネス上級レベル（ビジネスシーンで使用する会話、読み書きが問題なくできる）の日本語能力が期待されている。

今後外国人を採用する際の課題

新卒外国人留学生に関しては、「優秀な学生の能力判定が難しい」が最も多く 15 社中 9 社。次いで「求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない」が 8 社、「社内の受け入れ体制が未整備」が 7 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「社内の受け入れ体制が未整備」が最も多く 14 社中 8 社。次いで「優秀な学生の能力判定が難しい」と「求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない」が 7 社となっている。

⇒新卒外国人留学生において、求める日本語能力を満たさない学生が多いとの評価。

今後外国人を採用する予定がない理由

新卒外国人留学生に関しては、「社内の受け入れ体制が整っていないため」が最も多く 6 社中 4 社。次いで「求める日本語能力をもつ人材が少ないため」が 3 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「社内の受け入れ体制が整っていないため」が最も多く 7 社中 4 社。次いで「求める日本語能力をもつ人材が少ないため」が 3 社となっている。

⇒ここでも新卒外国人留学生において、求める日本語能力を満たさない学生が多いとの評価で、専門学校就職サポートにおいては日本語教育が重要だと考えられる。

2.4 留学生在籍状況に関するアンケート調査（对学校）

今回のアンケートに回答頂いた10校の留学生在籍状況は以下の通りであった。最も多い学校は56名、一方で留学生が在籍していない学校は2校ある。

在籍留学生の出身国はベトナム、中国、スリランカ、韓国等が多い。

過去3年間の卒業生に関しては日本での就職がまたは起業が最も多く、次いで「日本で大学や大学院に進学」が続く。全体的には卒業後も日本に残る者が多い様子。

	現在在籍している外国人留学生総数	学科別人数				
		システム開発系学科	システム運用系学科	ビジネス知識系学科	一般教養系学科	その他学科
学校1	10	0	1	0	0	9
学校2	0					
学校3	7	3	4	0	0	0
学校4	31	0	0	0	0	31
学校5	8	8	0	0	0	0
学校6	1	0	0	0	0	1
学校7	1	1	0	0	0	0
学校8	0					
学校9	10	2	0	0	0	8
学校10	56	26	0	30	0	0
合計	124	40	5	30	0	49

	出身国									
	ベトナム	中国	スリランカ	韓国	ネパール	台湾	インドネシア	バングラデシュ	フィリピン	左記以外
学校1	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0
学校2										
学校3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
学校4	15	8	0	4	0	2	0	0	0	2
学校5	0	0	0	1	4	0	3	0	0	0
学校6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
学校7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
学校8										
学校9	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0
学校10	23	13	7	3	4	3	1	1	1	0
合計	50	26	11	10	8	5	4	1	1	8

	過去3年外国人留学生卒業生総数	過去3年間外国人留学生の卒業生進路割合 (%)								
		日本で他の専門学校に進学	日本で大学や大学院に進学	日本で就職または起業	出身国で進学	出身国で就職または起業	日本・出身国以外の国で進学	日本・出身国以外の国で就職または起業	その他	不明
学校1	3	0	0	100	0	0	0	0	0	0
学校2	0									
学校3	13	0	77	0	0	0	0	0	23	0
学校4	25	0	32	40	0	12	0	0	8	8
学校5	5	0	0	100	0	0	0	0	0	0
学校6	0									
学校7	0									
学校8	0									
学校9	0									
学校10	9	0	3	65	11	21	0	0	0	0
合計	55									

第3章
- 総括 -

3.1 留学意向者が日本の IT・情報専門学校を留学先に選ぶ理由とハードル

今回の調査から見つかった海外留学生が日本の IT・情報専門学校を留学先として選ぶの理由と選ぶためのハードルは以下の通りである。これらの理由とハードルは、今後の IT・情報専門学校における留学生支援の方向性を考えるにあたっての基盤となるものであると思われる。

海外の留学を考える者が日本の IT・情報系専門学校を留学先として・・・

選ぶ理由	選ぶためのハードル
<p><u>日本という国を選ぶ理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 母国と比べて就職のチャンスが格段に大きい ● (アジアからの留学生にとっては) 欧米諸国への留学よりも地理的に、また文化的に近い ● 日本の文化に憧れや親しみがある ● 安全な国であり安心して暮らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活費が高く資金面での高いハードルをクリアしなければならない ● 日常生活における母国との文化や生活習慣の違いに慣れなければならない ● 日常生活や学校の授業において、更には日本での就職においては高レベルの日本語能力が求められる
<p><u>IT・情報系専門学校を選ぶ理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就職と直結した授業内容で実務的な知識やスキルが得られる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前の日本や日本の学校に関する情報収集が難しい

上記図の通り海外の留学をしようと考えている者が日本の IT・情報系専門学校を留学先に選ぶのには様々な理由がある。中でも日本で就職したいということが大きなモチベーションとなっている。そこで IT・情報専門学校における留学生支援においては就職サポートが特に重要な課題になるかと思われる。

一方で、海外から日本へ留学をしようと考えている者にとって乗り越えなければならない最も大きなハードルは学費や生活費といった資金どう賄うかということである。そこで IT・情報専門学校における留学生支援においては資金面のサポートも重要な課題となると思われる。

3.2 今後必要と考えられる IT・情報専門学校の留学生支援策

今回の調査から、今後の IT・情報専門学校の留学生支援においては、就職サポートおよび資金面のサポートに加えて、入学前/入学時のサポート、学校生活のサポートに関して、以下の施策が重要ではないかという示唆が得られた。

入学前/入学時のサポート <ul style="list-style-type: none">● 学校情報の充実● 日本語学校を経由しない入学ルートの確立● 信頼できるエージェントの紹介	日常生活のサポート <ul style="list-style-type: none">● 奨学金制度の充実● アルバイトの紹介● 日本の生活ルール教育
学校生活のサポート <ul style="list-style-type: none">● 学生間や地域との交流サポート● メンター制度の導入	就職のサポート <ul style="list-style-type: none">● 企業紹介・情報提供の充実● 日本語能力向上のサポート● ビジネスマナー・ルールの教育

入学前/入学時のサポート

学校情報の充実

留学生に対するアンケートから留学前に苦労したこととして情報の収集が上位に挙げられている。また留学生のインタビュー調査からは日本の学校の情報があまりなくて苦労したという声や学校情報が増えれば留学生も増えるのではないかという声が聞かれた。外国人留学生を受け入れを増やそうと考える IT・情報専門学校においては WEB サイトの内容の充実や多言語化（日本語/英語以外の言語化）等が今後重要になってくると思われる。

日本語学校を経由しない入学ルートの確立

今回の調査において、現在 IT・情報系専門学校に在籍している留学生の多くは、母国から直接現在の学校に入学したわけではなく、まずは日本国内の日本語学校に入学して、その後、現在の学校に入学していることが明らかになった。しかしながら、一部では最初の日本語学校入学が必要なかったのではないかと考える者もいる。日本語学校を経由することは専門学校教育に必要な日本語能力が身につくというメリットはあるが、多くの学生が目指す日本での就職までに余分な時間と莫大な資金が必要となることも事実である。それゆえ日本語学校を経由せずに IT・情報系専門学校に入学できるルートが確立できれば、留学のハードルが下がるのではなかろうか。

信頼できるエージェントの紹介

各国には日本への留学をサポートする仲介業者が多く存在しているようである。このような業者は日本留学を目指すものにとっては役立つ存在ではあるが、一部では「偏った情報しか提供されない」、「騙されるのが怖い」といった印象を持つ者がいることも明らかになった。そこで（学校単独の取り組みでは難しいかもしれないが）、日本への留学を目指すものが信頼できるエージェントを見つけることができるような何らかの仕組み作りが必要ではないかと思われる。

日常生活のサポート

奨学金制度の充実

前項で述べたように海外留学生が日本の IT・情報専門学校を留学先に選ぶ際に最も重大でクリアしなければならないハードルは学費・生活費といった日本での留學生生活を送るために必要な資金面をどのように賄うかということである。このハードルをクリアするために、学校が出来る最も直接的かつ有効な手段は奨学金制度を充実させることであろう。

アルバイトの紹介

留學生の資金面のハードルをクリアさせるためには奨学金制度の充実させることが最も有効であることは疑いないが、それは学校単位での解決が難しい支援策であることも事実である。そこで大事になってくるのが学校によるアルバイトの紹介である。現在、海外からの留學生のほとんどは学費や生活費を賄うためにためにアルバイトをしながら留學生生活を送っているのが実情であり、アルバイト先を探すということは、海外留學生にとっては日本での生活を送るうえでは死活問題と言っても過言ではない。それゆえ質と量が充実した留學生へのアルバイト先の紹介は留學生支援のためのとても重要な施策であろう。

日本の生活ルール教育

今回のインタビュー調査やアンケートから、ごみの出し方といったような日常生活を送るうえでの日本のルールに戸惑いを覚えている者が多くいることが分かった。また、そのようなルールを学校から教えてもらって非常に助かったという声も多く聞かれた。大学と比べて比較的規模の小さい専門学校ではこのような生活面でのきめ細かなサポートが充実させやすいというのが強みである。日本の生活ルール教育は今後、IT・情報専門学校において更に充実させたい留學生支援の項目であろう。

留學生生活サポート

留學生間や地域との交流サポート

今回の調査で挙げられた学校に対する不満のひとつに留學生間の交流が少ないということがあった。またある留學生は地域ボランティアをしたいのだが、どうしたらよいかわからないので学校にサポートして欲しいということを訴えていた。外国人留學生は折角日本に来たのだから日本人と交流をしたいと考えている。学校としてもそのような機会を積極的に提供していくことが彼/彼女たちの留學生生活を充実させるために有効ではないかと考えられる。

メンター制度の導入

上記とも関連するが外国人留學生は日本人と交流し様々な日本のことを学びたいと考えている。そこである留學生からは学校にメンター制度のようなものがあればよいのではないかと提案があった。学業のみならず日本の生活面もサポートする日本人メンターの存在は、外国人留學生にとって心強く、また留學生生活もより充実させる存在になるであろう。

就職サポート

企業の紹介・情報提供の充実

日本の IT・情報系専門学校に留学する外国人学生の最大の関心事は卒業後の日本での就職であり、就職サポートは留学生支援の最重要項目である。特に留学生からは求人募集企業の紹介と共に、様々な会社に関する学校からの情報提供に対する期待が大きい。留学生の中には、自分で調べるだけでは、その会社がどこまで信頼できるのか（例えばブラック企業ではないか）といったことが分からないが、学校から紹介された企業は安心なのでそのような情報をもっと欲しいと考えている者が多数いる。そのようなニーズに応えるためにも今後の益々の情報提供の充実が必要とされていると思われる。

日本語能力向上のサポート

今回の調査で多くの企業が留学生を採用しようとする際に最も重視することは日本語能力であり、かつかなり高いレベルの日本語能力を求めることが明らかになった。IT・情報系専門学校は日本語教育をメインとする学校ではないものの、企業の求めるレベルの日本語能力を育てるということも留学生サポートにおいては重要であると思われる。

ビジネスマナー・ルールの教育

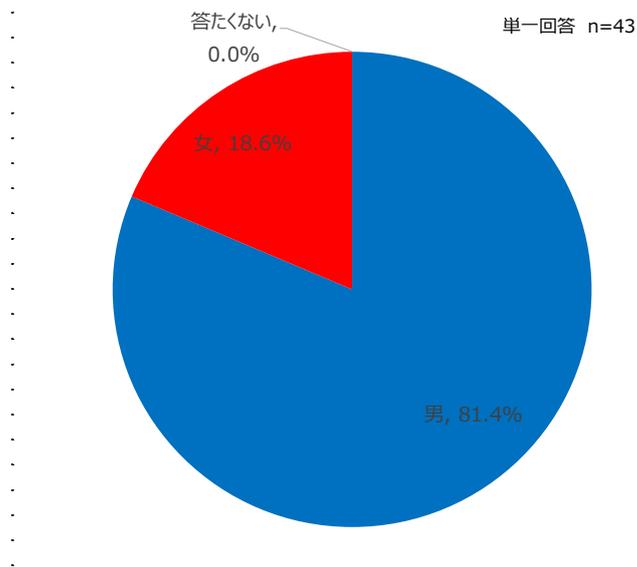
就職活動をした留学生においては、日本企業におけるビジネスマナーやルールに戸惑った者が多い。すでに多くの学校において我が国におけるビジネスマナー・ルールの教育がなされているようであるが今後更なる充実が求められよう。

第 4 章
日本への留学に関するアンケート調査（対留学生）
調査結果詳細

4.1 対象者特性

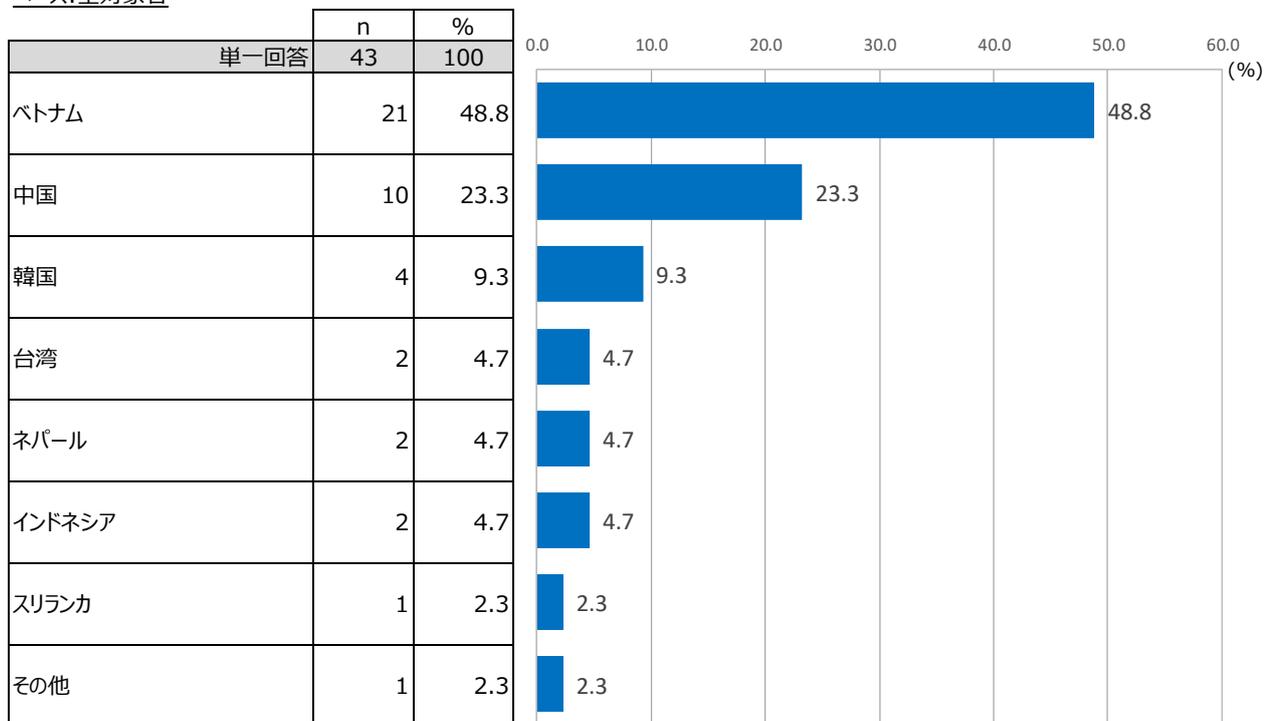
性別

ベース:全対象者
単一回答 (n=43)



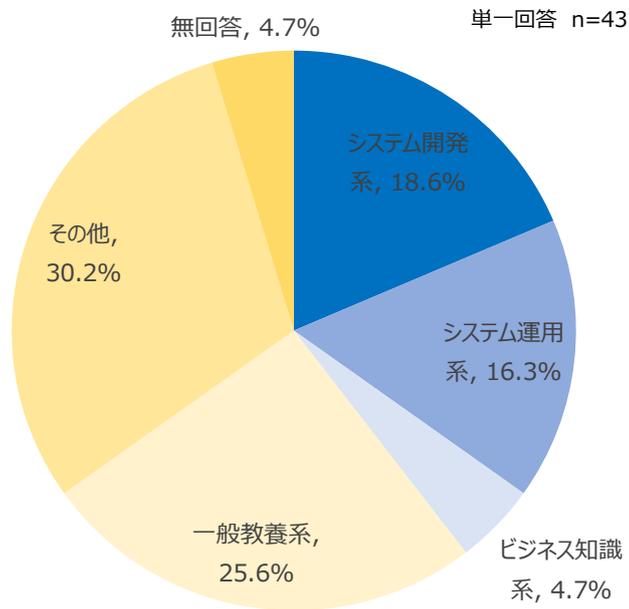
出身国

ベース:全対象者



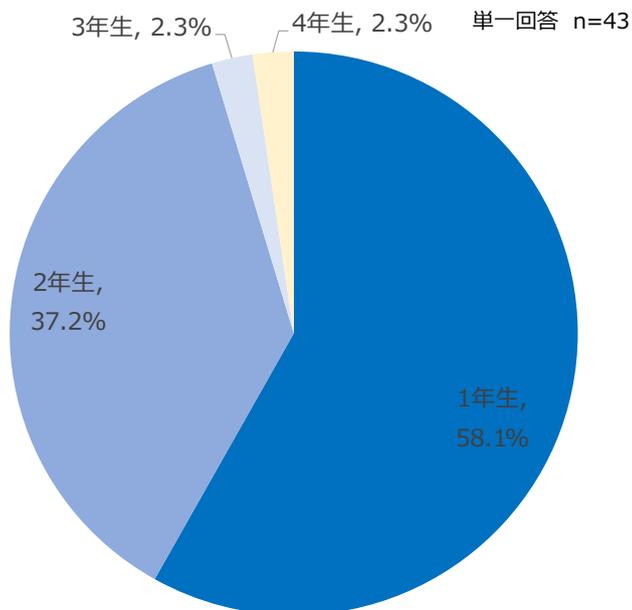
所属学科

ベース:全対象者
単一回答 (n=43)



学年

ベース:全対象者
単一回答 (n=43)

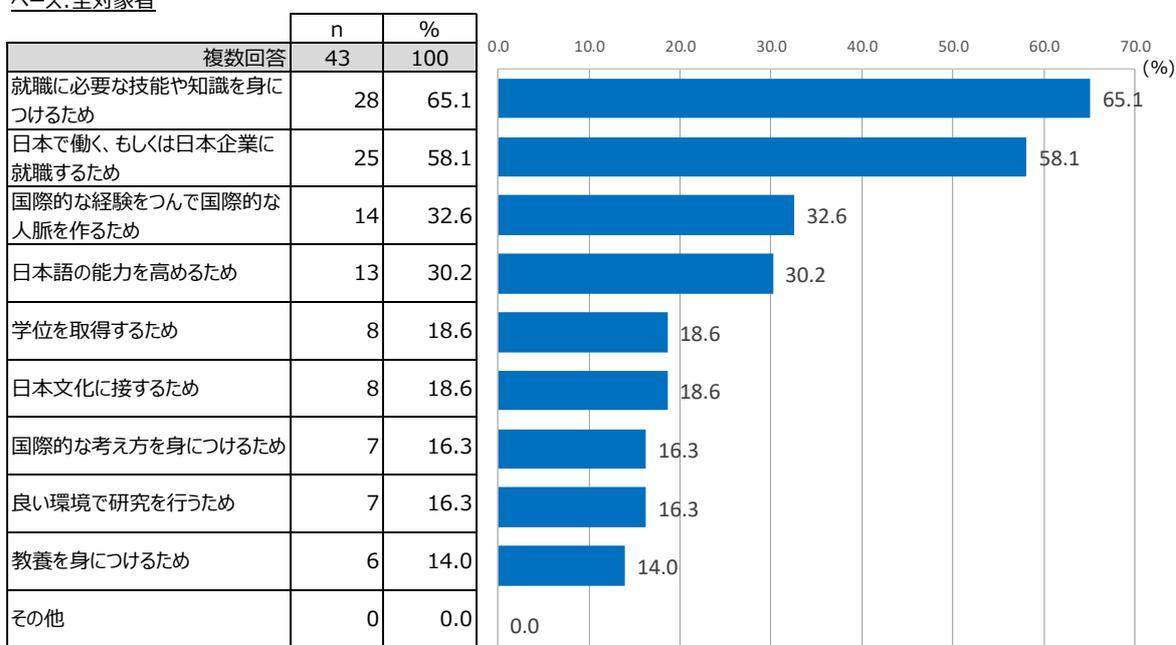


4.2 留学の目的

「就職に必要な技能や知識を身につけるため」が 65.1%で最も多い。次いで「日本で働く、もしくは日本企業に就職するため」が 58.1%、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため」が 32.6%となっている。

Q6 あなたの留学の目的としてあてはまるものをすべて選んでください。

ベース:全対象者

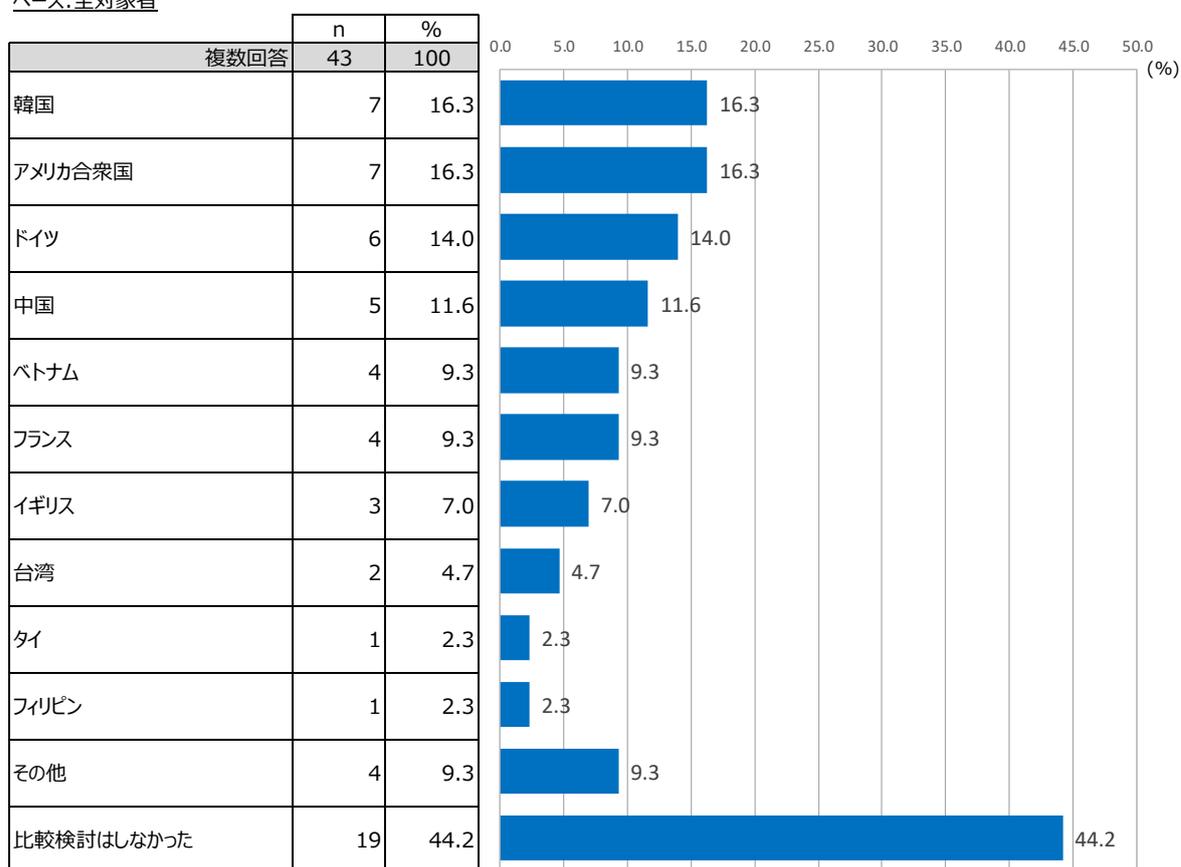


4.3 留学に際して検討した国

「比較検討はしなかった」が44.2%で最も多い。次いで「韓国」と「アメリカ合衆国」が16.3%、「ドイツ」が14.0%、「中国」が11.6%となっている。

Q7 あなたは今回の留学に際して、他にどの国を検討しましたか。
あてはまるものをすべて選んでください。

ベース:全対象者

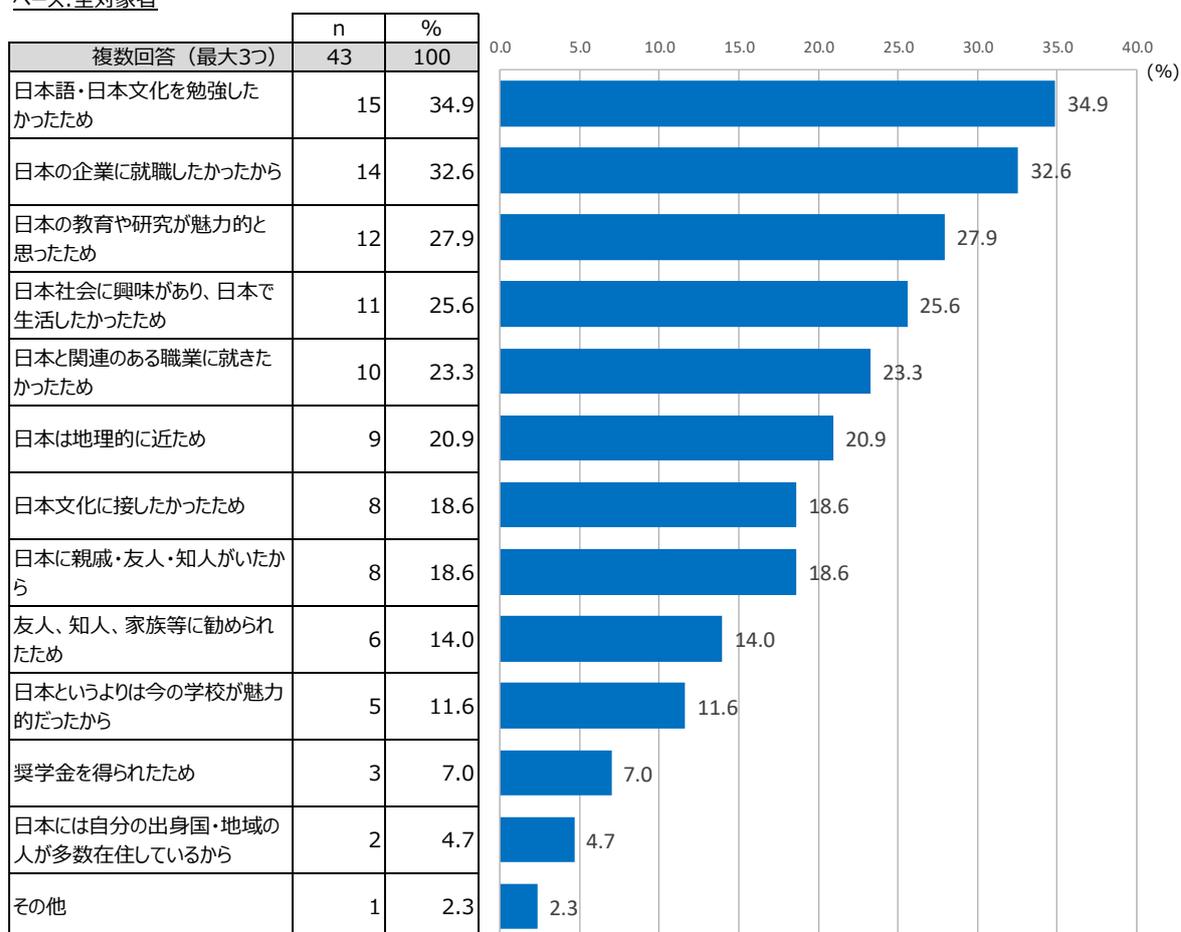


4.4 日本を留学先に選んだ理由

「日本語・日本文化を勉強したかったため」が 34.9%で最も多い。次いで「日本の企業に就職したかったから」が 32.6%、「日本の教育や研究が魅力的と思ったため」が 27.9%となっている。

Q8 あなたが日本を留学先に選んだ理由として
あてはまるものを3つまでお選びください。

ベース:全対象者

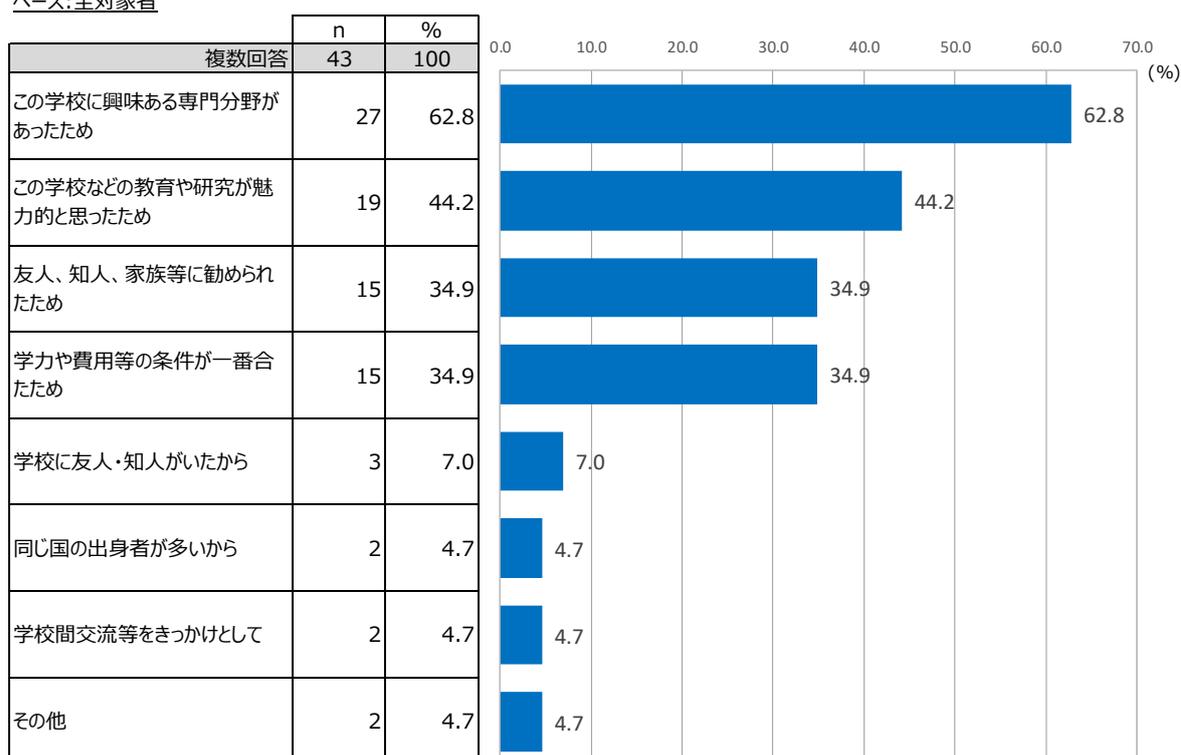


4.5 今の学校を留学先に選んだ理由

「この学校に興味ある専門分野があったため」が 62.8%で最も多い。次いで「この学校などの教育や研究が魅力的だったため」が44.2%、「友人、知人、家族等に勧められたため」と「学力や費用等の条件が一番合ったため」が34.9%となっている。

Q9 あなたが今の学校を留学先に選んだ理由として
あてはまるものを3つまでお選びください。

ベース:全対象者

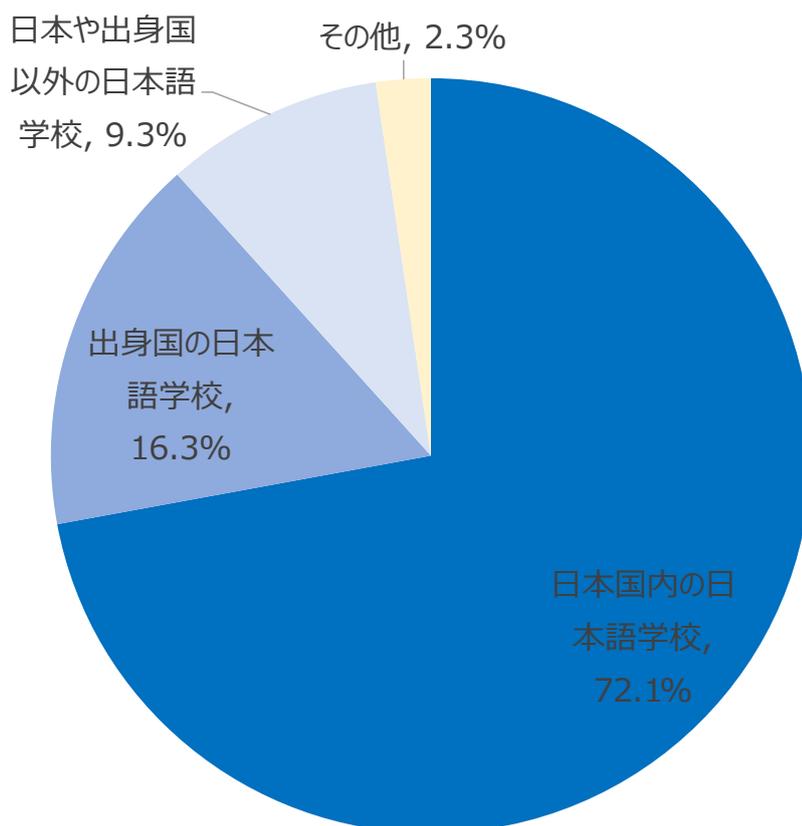


4.6 入学前に日本語を勉強した場所

「日本国内の日本語学校」が 72.1%で最も多い。次いで「出身国の日本語学校」が 16.3%、「日本や出身国以外の日本語学校」が 9.3%となっている。

Q10 今の学校に入学する前に日本語を主にどこで勉強しましたか。

ベース:全対象者
単一回答 (n=43)



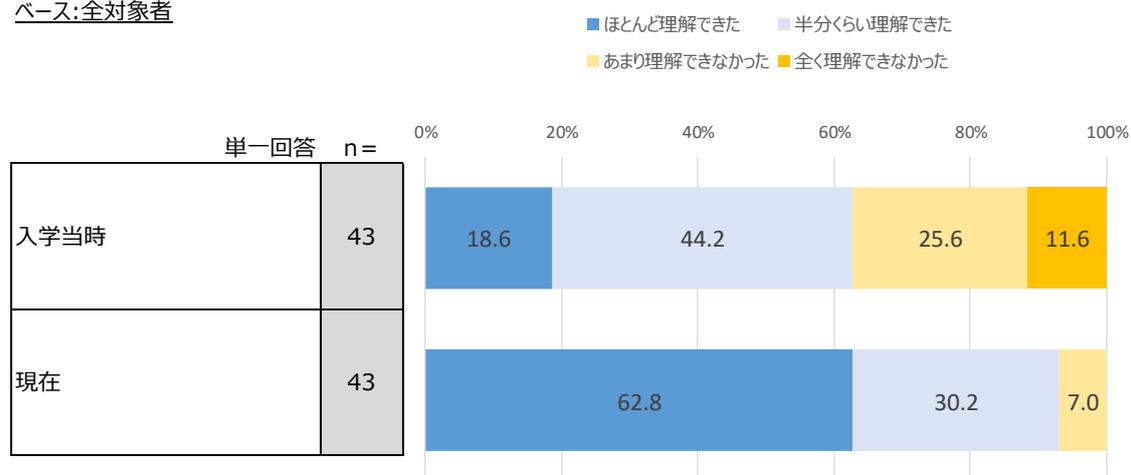
4.7 入学当時と現在の日本語理解

入学当時においては「ほとんど理解できた」が 18.6%、「半分くらい理解できた」が 44.2%、「あまり理解できなかった」が 25.6%、「全く理解できなかった」が 11.6%となっている。

現在は「ほとんど理解できた」が 62.8%、「半分くらい理解できた」が 30.2%、「あまり理解できなかった」が 7.0%となっている。

Q11 あなたが今の学校に入学した当初、日本語行れた授業はどのくらいわかりましたか。
また現在、日本語で行われている授業はどのくらい理解できますか。

ベース:全対象者



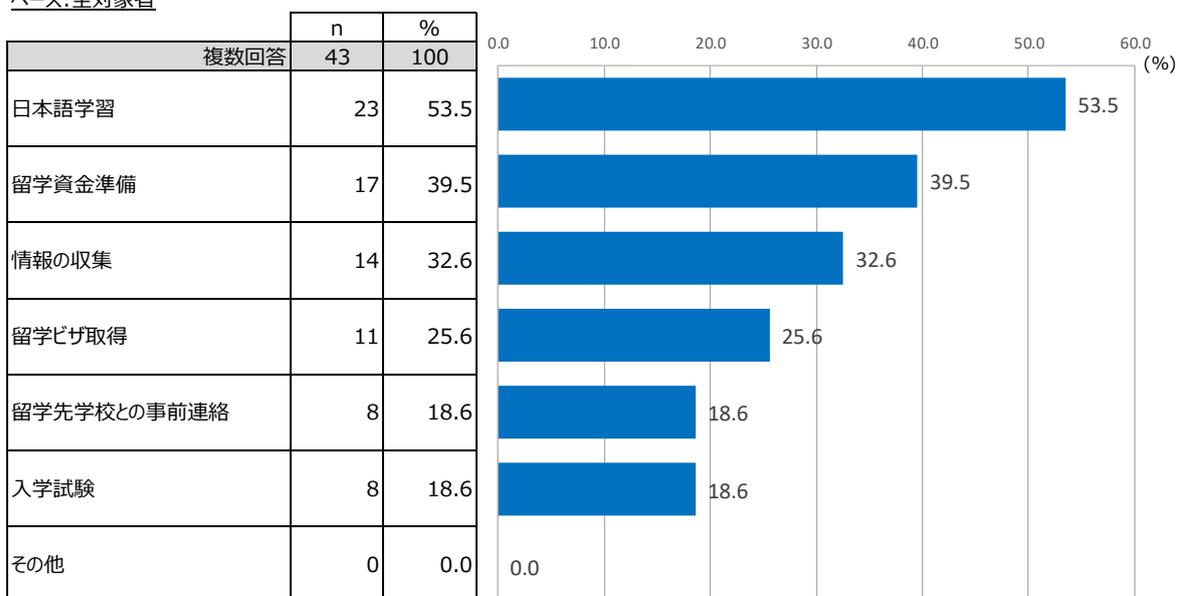
4.8 日本への留学前に苦労したこと

「日本語学習」が53.5%で最も多い。次いで「留学資金準備」が39.5%、「情報の収集」が32.6%、「留学ビザ取得」が25.6%となっている。

Q12 日本に留学するまでに特に苦労したことは何でしたか。

あてはまるものをすべて選んでください

ベース:全対象者



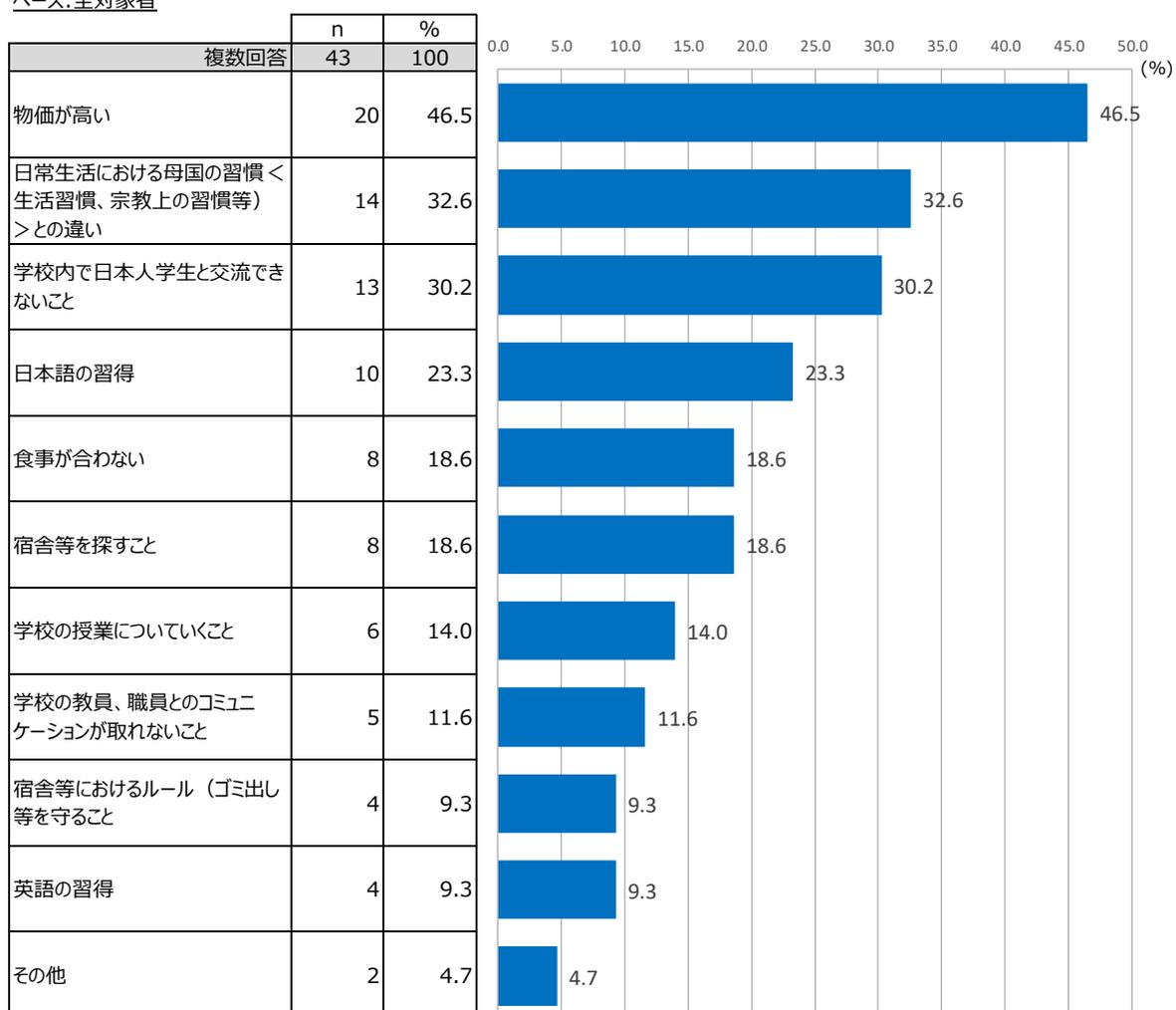
4.9 日本へ留学してからに苦労したこと

「物価が高い」が 46.5%で最も多い。次いで「日常生活における母国の習慣<生活習慣、宗教上の習慣等)>との違い」が 32.6%、「学校内で日本人学生と交流できないこと」が 30.2%となっている。

Q13 日本に留学してから苦労したことは何でしたか。

あてはまるものをすべて選んでください。

ベース:全対象者

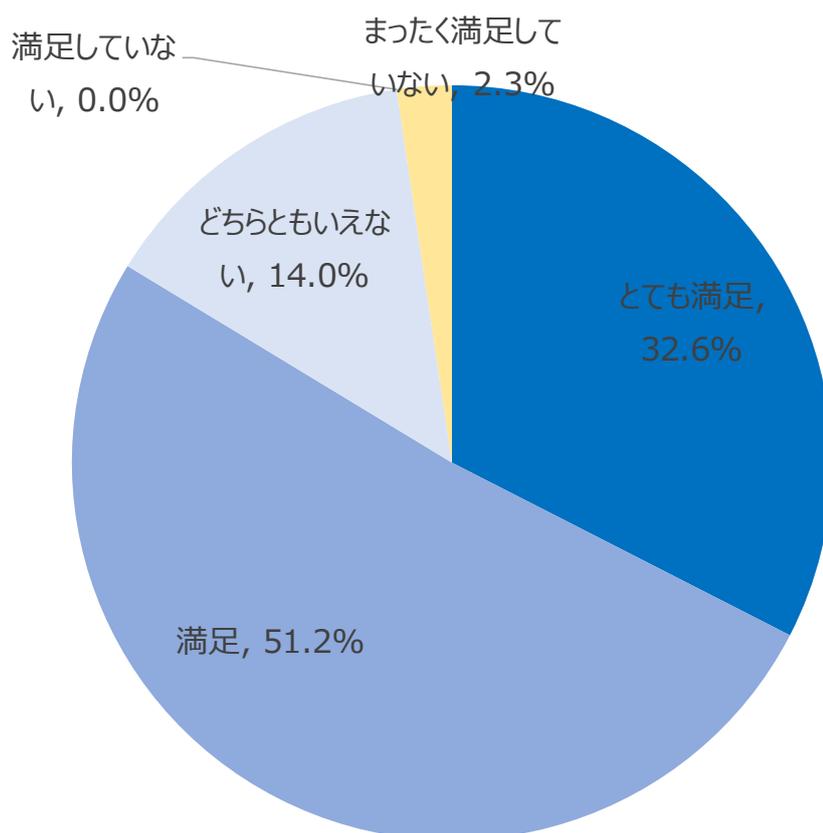


4.10 現在の学校の満足度

「とても満足」が 32.6%、「満足」が 51.2%で計 83.7%が満足している。「どちらともいえない」は 14.0%、「まったく満足していない」は 2.3%であった。

Q14 あなたが現在の学校にどの程度、満足していますか。

ベース:全対象者
単一回答 (n=43)



4.11 現在の学校の満足点と不満点

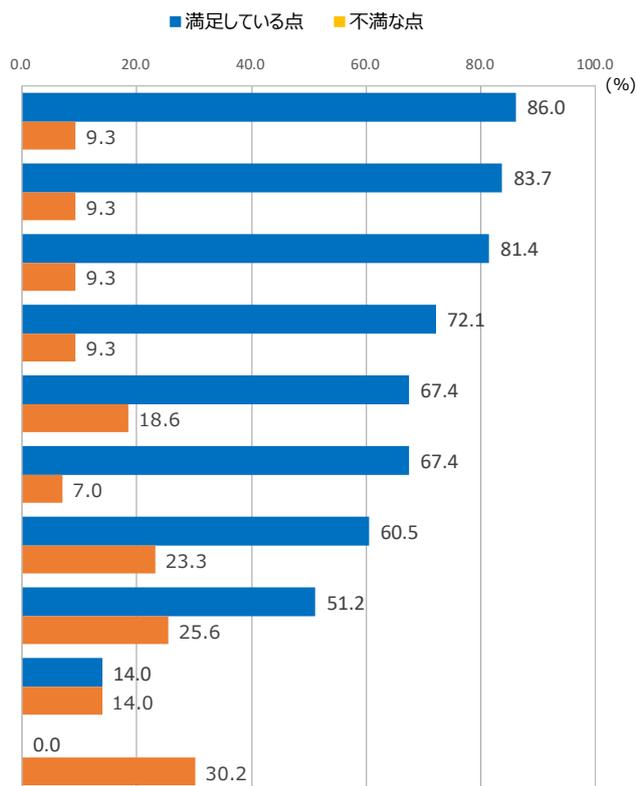
満足している点においては「教師の質」が 86.0%で最も多い。次いで「学業のサポート体制」が 83.7%、「授業内容」が 81.4%となっている。

不満に感じている点においては「特になし」が 30.2%で最も多い。次いで「住居を探す等の生活面のサポート体制」が 25.6%、「課外活動、クラブ活動」が 23.3%となっている。

Q15 あなたの学校に満足している点と不満に感じている点をすべて選んでください。

ベース:全対象者

	満足点		不満点	
	n	%	n	%
複数回答	43	100	43	100
教師の質	37	86.0	4	9.3
学業のサポート体制	36	83.7	4	9.3
授業内容	35	81.4	4	9.3
就職サポート体制	31	72.1	4	9.3
日本人学生の質	29	67.4	8	18.6
学習環境-教室、実習室、図書館等	29	67.4	3	7.0
課外活動、クラブ活動	26	60.5	10	23.3
住居を探す等の生活面のサポート体制	22	51.2	11	25.6
その他	6	14.0	6	14.0
特になし	0	0.0	13	30.2



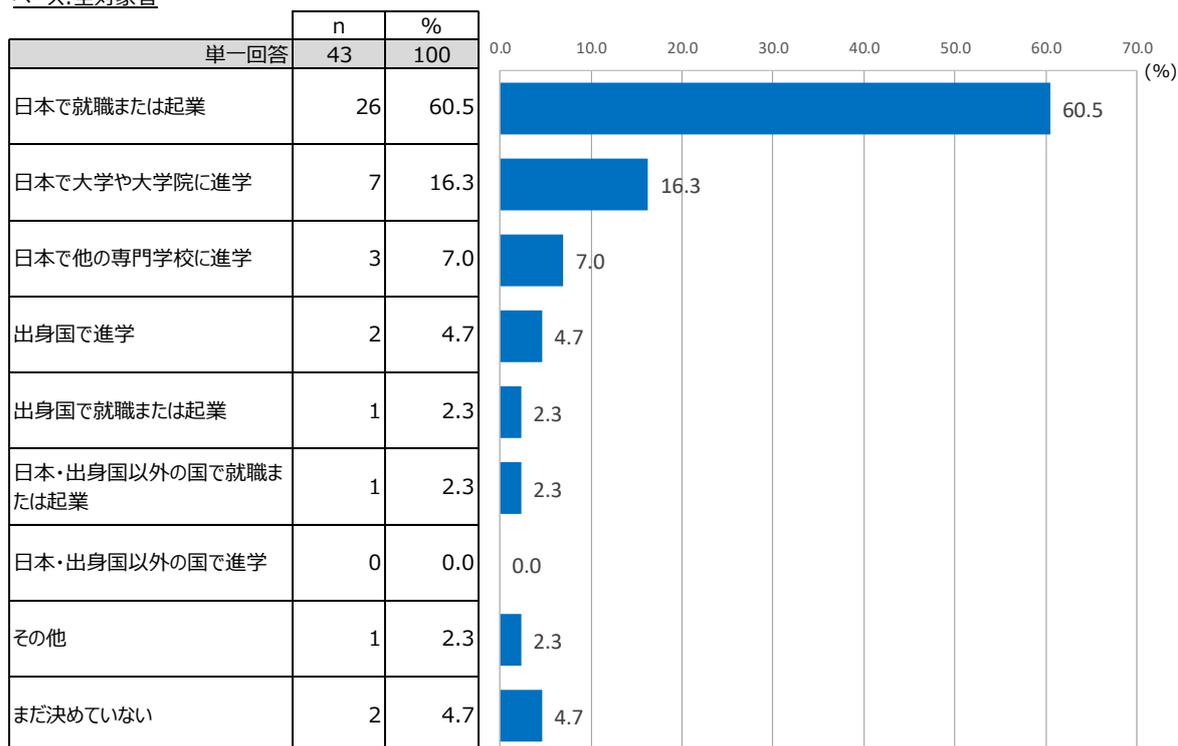
4.12 卒業後の進路希望

「日本で就職または起業」が 60.5%で最も多い。次いで「日本で大学や大学院に進学」が 16.3%、「日本で他の専門学校に進学」が 7.0%となっている。

日本での進路を希望する者は 83.7%、出身国に戻ることを希望する者は 7.0%、日本・出身国以外の進路を希望する者は 2.3%となっている。

Q16 現在の学校の卒業後の進路希望を教えてください。

ベース:全対象者



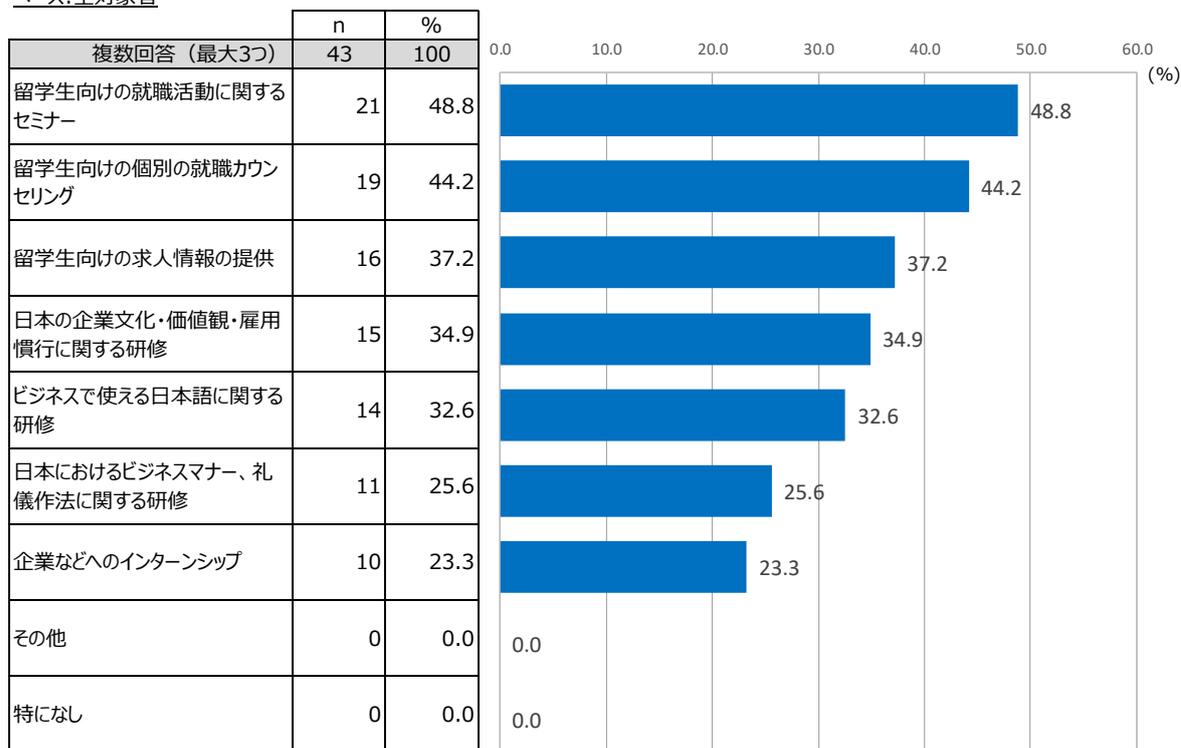
4.13 日本での就職に際して学校に期待するサポート

「留学生向けの就職活動に関するセミナー」が48.8%で最も多い。次いで「留学生向けの個別の就職カウンセリング」が44.2%、「留学生向けの求人情報の提供」が37.2%となっている。

Q17 あなたが日本で就職する際に学校にどのようなサポートをしてほしいですか。

以下の中からしてほしいサポートを3つまでお選びください。

ベース:全対象者



第 5 章
留学生インタビュー調査（対留学生）
調査結果詳細

5.1 対象者 1

男性 25 歳

2018 年 1 月 19 日 15 : 00-15 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 A
学科	情報システム科
学年	1 年生
出身国	インドネシア
来日年	2015 年
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	ホームステイ（旧知の日本人宅）
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	中華料理店、皿洗い等、週 3 日程度の勤務

1 日本に留学した経緯・理由

母国で大学を卒業後、就職活動が上手くできなかったので、日本に留学したいと考えていた。また、今のホームステイ先（旧知の日本人）のお母さんが私の様子を見て、日本に留学してみたらどうかと薦めてくれた。

子供のころからアニメが大好きで、日本の文化も好きだった。それで日本に留学したいと考えていたこともある。他の国に留学しようとは全く考えていなかった。

2 現在の学校を選んだ理由

ホームステイ先に近かった日本語学校を選んだ。

日本語学校を卒業時には就職活動もしたが、良い仕事が見つからなかった。母国に帰っても、日本語の勉強が無駄になるので、もう 1 度 IT を勉強しようと思い現在の学校に入学した。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

ホームステイ先が学校を紹介してくれたので、学校の情報収集は全くなかった。また、来日前には、どのような就職が出来るかに興味があったが、ほとんど調べなかった。

来日前に不安だったこと

ホームステイする前提だったので、住居等の不安はあまりなかった。日本は他の国に比べて安全な国というイメージもあったのでその点も安心していた。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

日本に留学することが決まってから勉強を始めた。

来日前の学習機関や勉強方法

インターネット上の教材で自主勉強をした程度。学校等には行っていない。

来日直後と現在の日本語理解

来日直後は25%しか理解できなかった。今は授業の50%くらい理解できる。日本人の友人との話は大体分かるが、友達が方言を使うときは分からない。

日本語能力試験取得級

来日直前に受けたときは N4 か N5 だった。

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

<コメントなし>

苦労した点

母国と違ってなかなか大変だと思う。特に食事に苦労している。私は豚肉を食べられないが、日本の料理は豚肉が多い。そういうことが1番大変。自分はイスラム教徒だがハラールフードが食べられる場所は少ない。

生活費にも苦労している。アルバイトだけでは補えない。ホームステイの方からお金を借りて生活している。就職出来たら返す予定。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあっよかったこと

<コメントなし>

6 現在の学校について

今の学校には満足している。みんな優しい。

授業のレベルのよい。やりたい勉強ができています。日本人の学生は真面目だと思う。

7 卒業後の進路について

2019年に卒業予定。日本で就職したい。すでに就職活動を始めている。今は会社説明会に参加したり、マイナビとか、リクナビから調べている。今の印象では留学生の採用枠は少ないような気がしている。

不安なことは、例えば面接のときに、面接模擬で説明内容が分からないときがあるのだが、自分はどのようなことを答えるのか、難しいなと思う。

学校に特にサポートして欲しいことは会社の紹介を増やしてもらうことと日本語を教えてもらうこと。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

日本への留学をお薦めする。母国はなかなかアルバイトとかもなかったもので、日本はいろいろアルバイトがあっていいと思う。仕事が多い点が良い。

日本に今後留学する人へのアドバイスとしては、まずは日本へ来る前に、日本語の単語をたくさん覚えるといいと思う。

5.2 対象者 2

男性 30 歳

2018 年 1 月 19 日 16 : 00-16 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 A
学科	情報システム科
学年	2 年生
出身国	韓国
来日年（来日後年数）	2016 年（2 年と少し）
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	部屋を借りて一人暮らし
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	今はしていない。昨年の 12 月までは居酒屋。

1 日本に留学した経緯・理由

大学を卒業して、サムソンで働いていた。IT エンジニアとして働いていたが、生活が面白くなく、楽しく過ごしたいと思い、会社を辞めて世界旅行をした。それから外国で住みたいと思いまして暮らしたい国を探した。

東南アジアは大体全部行った。あと日本と、香港、ドイツ、チェコに行った。その中で日本は文化も似ているし、物価は少し高いが、いいところが多いと思った。

加えて、日本の会社で就職したいという目的が結構あった。自分は、日本の IT メディアに必要な資格を韓国で持っていたので、すぐ就職はできると思った。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

福岡を選んだのは旅行した時に九州旅行をして福岡にも来たから。自分の地元が釜山で、東京や大阪よりは近いので、いいなと思った。福岡にある学校ということで探して最初に見つかったのが以前の日本語学校。

最初に日本語学校に行ったのは、日本を旅行したときに日本語が全く喋れなくて、英語しか喋られなかったので、日本で住むためには日本語の勉強が必要だと思ったから。

日本語学校が終わって今の学校を選んだときは、九大の大学院と専門学校の2つで迷った。大学院は理論的なことを勉強するので、自分に大事なことは何かと思って、やはり日本語の実力と、実務の、現場で働ける技術を身に付けたいと思った。九大の大学院の面接までしたが、最後には専門学校に入るのが就職に近いと思った。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

韓国人が留学するやり方には、自分で調べることと留学の会社を通じて留学する方法の2つがある。留学の会社を通じたら手数料がかかるので、自分で調べる人も結構いる。自分で調べる人の場合は日本語学校のホームページに韓国語で学校の説明が書いてあったり、学校のスタッフの中で韓国人がいるときその学校を選ぶ可能性が高くなると思う。

今の学校も、ホームページを見ると日本語と英語はあるが韓国語では書いていない。

来日前に不安だったこと

自分はそんなになかった。旅行したときも1人で旅行だし、色々なことに楽しくチャレンジするつもりだった。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

留学前は全くひらがなも分からなかった。来日したときから日本語の勉強を始めた。

来日前の学習機関や勉強方法

来日前は勉強をしていない。

来日直後と現在の日本語理解

最初（来日直後は）日本語は全く分からなかった。今は授業のときは大体90%以上分かっている。テキストの理解は7~8割くらい。一番難しいのは作文。韓国とか英語で使っている表現の中で、日本語で使っていない表現があるので、これで通じるかと思って書いたら、この言葉は日本語で使っていないですよと言われるときも結構ある。文法的な問題よりは、日本人がよく使っている表現がまだ分からない。

日本語能力試験取得級

N2は合格した。N1は今結果を待っているところ。

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

世界旅行をしたときに、危ない国が多いと感じた。それに比べて韓国と日本は比較的安全なところだと思う。夜に出ても心配なく、どこでも行ける国はそんなにない。料理もおいしい。

苦労した点

<コメントなし>

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあってよかったこと

みんな早くバイトしたいと思っている。学校から紹介してもらう仕事は単純労働や工場の仕事が多い。日本語が出来るももっと、色々なバイトを紹介してくれるのもっと日本語を使えるようにとかサポートして、色々なバイト先を紹介してくれるとよい。

6 現在の学校について

聞いていたことより、がっかりしたこともある。

日本の学生たちは半分以上が専門学校に入ると聞いた。ほんとうに勉強したいと思っている人が大学に進学して、他の、就職したいと思っている人が専門学校に入る。最初は専門学校のレベルが大学に負けにくい高いと聞いたのですが、学校の先生たちの教え方のレベルというより、学生たちのやる気がないと思う。先生たちは頑張っているが、教えてくれても学生たちが勉強したくないという感じがする。

7 卒業後の進路について

日本の企業に就職するのが1番の目標。今就活中で今いろいろ会社を探している。今の目標は日本のIT会社。ただしITはアメリカが1番高い技術者を持っている国なので、将来的にチャンスがあればアメリカの会社にも入ってみたいと思う。当面は韓国に帰るつもりはない。

就活をしていて難しいより、めんどくさいと感じる部分がある。例えば履歴書とか、修正ペンで書いてはいけない。韓国では全部ネットで受けるシステム。SPIとかテストは韓国でもあるので、このシステム的な部分は似ている。これを書く時、1文字間違えたら書き直しとか、留学生としては書くのが難しいので大変だと思う。

今は1人で、マイナビやリクナビで探している。

今の学校がしてくれるのは、学校のキャンパスホールで企業の説明会を行ってくれるくらい。学校に期待するのは留学生には実力が無いと日本の学生たちに負けると思うので、学校から留学生に興味を持っている会社の情報をもらいたいと思う。

苦労しているのは敬語。敬語の表現がいろいろあるので、目上の人にどの表現を使うのがいいかな、と感じている。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

後輩がちゃんと目的を持って日本に留学したいと言ったら、お薦めする。東京オリンピック前なので、留学生にもいろいろチャンスがあると思う。ただ目的を忘れずに頑張らなくてはいけないことも教えたいと思う。

アドバイスしたいことは自分の目標を忘れないで、ということ。日本に留学したら面白いことが多いので、留学の目的が勉強ではなく旅行になる人が多い。それだと留学の意味が無くなるので、遊ぶときは遊ぶけど、ちゃんと目標を忘れないよう頑張してほしい。

5.3 対象者 3

男性 27 歳

2018 年 1 月 19 日 16 : 00-16 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 A
学科	ネットワークセキュリティ科
学年	1 年生
出身国	台湾
来日年（来日後年数）	2016 年（1 年半）
現在の学校の以前の学校	なし。ワーキングホリデーで来日
現在住んでいる住居	学生マンション
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	焼肉屋。週 3 ~ 4 日勤務。

1 日本に留学した経緯・理由

大学時に情報工学を勉強していたが第二外国語として日本語を勉強していた。台湾で仕事をしているとき（IT 系製造業に 3 年くらい）に新しい分野に挑戦してみようと思い、日本語ができるので日本に来てみようと思った。

ヨーロッパや米国も少し検討したが、今の時代、台湾で英語を話す人はたくさんいるので、そこで日本語を話せばプラスになると思った。

実務的な教育は日本がアジアの中でトップだと思う。そしてコスト（台湾に戻る飛行機代や学費）的にも日本は安いのでよい。

一般的に台湾から日本に留学する人の大半は日本語学科を専攻していたから。大学や大学院の場合はアメリカに行く人が多い。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

ワーキングホリデーで来日したのは、直接学校に入るより少し日本の暮らしに慣れた方がいいと思いワーキングホリデーにした。最初から学校に行きたいと思っていたが自分の日本語の聞き取り力があまりなかった。学校に入る前に日

本の暮らしを体験してみてそれから入学した方が楽だと思った。

ワーキングホリデー時にはスーパーの鮮魚コーナーで働いていた。その仕事はバイトアプリで見つけた。

台湾で日本語塾に行っており今の学校は台湾の日本語塾の先生の紹介。いくつか候補があり、その中で今の学校がいいと思い応募した。

最初は東京だったが福岡に来ることには不安はなかった。台湾で北の台北と南の高雄とでは全然違う雰囲気。だから東京と博多もそつだ。違っていても暮らしてみれば何とかなるかなと思っていた。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

台湾で行っていた日本語塾に日本の専門学校の情報がたくさんあった。

来日前に不安だったこと

<コメントなし>

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

大学在学中。

来日前の学習機関や勉強方法

大学での、学校の授業も受けながら日本語塾でも学んだ。日本語を学んだのは第2外国語の勉強として。将来日本語を使う可能性もあったと思ったから。

来日直後と現在の日本語理解

来日直後も職場の人とのやり取りは問題なかった。今、授業は80%くらい理解できる。台湾も漢字を使っているから読むほうが楽。学校で作文の宿題はありますが、あまりできてはいない。書くことが一番難しい。話し言葉と書き言葉が違うことがある。

日本語能力試験取得級

台湾の大学時にN1は2回合格した。

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

礼儀正しいところと街並みがきれいなところがいいと思う。文化の違いも楽しい。違う文化との交流や自分の知らないこと、台湾で聞いていたことや、なぜ台湾人が日本人をこう思うのかが理解できて楽しい。

苦労した点

食べ物に最初は慣れない部分もありましたが最近がだいぶ慣れた。

家賃や食費はアルバイトをしないと厳しい。今は両方アルバイトで賄っている。学費は台湾の貯金を切り崩して補っている。アルバイトをしないと生活は厳しい。ただ今は学生なので勉強が重要なのがジレンマ。

日本人の外国人に対する接し方は不満。私は日本語が出来るのに日本人は外国人だと分かるとすぐ英語を話します。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあってよかったこと

学校はアルバイトを紹介してくれないが、それでも良いと思う。自分で探したほうが良い経験になると思うし、将来の就職にも役に立つと思う。

6 現在の学校について

今の学校には満足している。楽しい。

授業の内容も新しいことでよい。

回りの日本人学生は、みんなはまだ若いので遊び心やふざけることもあるが、人がいいので学校生活が楽しい。

自分の学科と他学科との交流が足りないことはやや不満。

7 卒業後の進路について

卒業は再来年。日本で就職先を探してみようと考えている。ただ私の学科は3年制なので、就職活動はまだ。準備は今年の年末からだと思う。

日本に勉強しにきたので、経験をより深めたら母国に帰って、日本と台湾の交流の架け橋になれたらと思っている

日本の企業に就職するので難しいと思うのは言葉遣いの面。目上の人に対する言葉や面接のマナーなど。台湾ではそういったことは気にしていないが、日本では大事なことだと思う。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

留学を考えている台湾の後輩に特に日本を薦めることはない。それは自分がどの国へ行きたいのかは自分がその国へ行く理由を持っていないと留学する意味がないから。

理論技術が目的ではなく、実務的な学校の勉強でそれをそのまま仕事に応用したい人には日本にお薦めだと思う。学校の勉強が仕事に使えるようになりたいなら日本の教育がいいと思う。

アドバイスとしては日本語の標準語や敬語はもちろん大事だが、方言も楽しめる方がいいと思う。方言を勉強して地元の人と交流した方がよいと思う。

5.4 対象者 4

女性 26 歳

2018 年 1 月 25 日 15 : 00-15 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 B
学科	情報システム開発科
学年	2 年生
出身国	中国
来日年（来日後年数）	2014 年（4 年目）
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	シェアハウス
課外活動・クラブ活動	特になし（現在は卒業制作が忙しい）
現在しているアルバイト	焼肉屋。週に 3 ～4 回勤務。

1 日本に留学した経緯・理由

大学 3 年生の時に、日本に行きたいと思った。

アニメが好きで、アニメを通して日本人の生活の仕方や生き方など、中国と文化が違のかなと思っていて、やはり現場で日本人がどういう生活をしているのかを体験したかった。そこで中国で 4 年大学が終わって、半年ほど経ってから日本に来た。また、将来は日本で就職もしたいと思っていた。

他の国に留学したいという考えは全くなかった。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

最初の日本語学校は中国で、留学生に対してビザの申請とか学校の紹介とかをしてくれる仲介の学校の先生に紹介してもらったのがきっかけ。そこで「こういう学校があるよ」というのを紹介してくれた。その後、大学 3 年生のときに、その日本語学校の先輩が日本から来て、「この日本語学校がいいよ」と言われて、いろいろ調べて、この学校を申請した。

日本語学校を卒業してから日本で大学院に入りたかったが、日本語学校の先生に何度も相談にのってもらって「日本で就職したい人は専門学校の方がいいのではないか」と言われ、今の専門学校になった。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

中国にいる時に、知りたかった情報は十分に手に入った。

調べたことは、例えば生活費とか、一人で生活するとか、日本の学校はどういう制度か、ほとんど調べた。日本に来てから違うこともあったが・・・。

主に調べたツールはインターネット。Yahoo! 知恵袋のような意見を書くところで聞いて日本にいるみんなが全部答えてくれる。そういう風に調べた。

来日前に不安だったこと

自分が1人で日本に来て、親戚も友達もいなくて1人ぼっちになるのが不安だった。それに日本の生活費がすごく高いと聞いていた。家族が留学するための日本語学校1年目の学費も全部払ってくれたが、日本に来てからもずっと両親に支ってもらうのはやはり恥ずかしいので、どう生活するのかもすごく不安だった。それに日本人は優しいかどうか、全然知らないのが不安だった。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

日本に来る半年前（大学を卒業してから）に勉強を始めた。

日本語学校に入学申請するためには日本語能力の証明書がなければいけない。1番低いレベルが取れた。

来日前の学習機関や勉強方法

大学の近くの塾に入った。

来日直後と現在の日本語理解

来日直後も先生の話は意外に、ほとんど理解できた。日本語学校には入るときにどのクラスに入るかの試験で、意外に私はN1（一番上）のクラスに入った。自分でもびっくりした。N2はまだ取っていないのにN1のクラスに入った。

ただ、いきなりN1のクラスに入ったのはすごくきつかった。急にN1のクラスに入って、やはり先生の言った知識とか、そんなによく知らなかった。自分で毎日帰って調べなければいけないので、「付いていけないかな」という感じが出てきて、

すごく後悔した。

今は先生の話ほとんど分かる。読むことに関しては漢字だったらそんなに難しくない。中国でも、もともと漢字なので。でもやはり、ひらがなの単語は難しいと思う。「どんだけ」とか、副詞とかが分からない。

日本語能力試験取得級

<特にコメントなし>

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

暮らしやすいかなと思っている。日本で自分がやりたいと頑張ると、なんとなく生きていけるのじゃないかなと思っている。頑張ると、認めてもらえる国で、そこがすごくいいと思っている。

苦労した点

日本と中国のルールが全然違うので、例えばゴミの捨て方とか「今日はこのゴミを捨てるだけ」など、そういうのを覚えるのにすごく時間がかかった。

食事最初、好きじゃないから苦手だった。日本の食事は簡単で味が薄い。中国の料理は調味料がいっぱい入ってすごく味が濃い。日本にきてから、ラーメンとか寿司とか、すき焼きみたいなものを店で食べるとか慣れなかった。でも今は慣れて好きになったが。

生活費をどうするかも大変。今はほとんど自分がアルバイトで賄っているが、時々足りなかったら、両親からもらっている。アルバイトがないと厳しいので、アルバイトを見つけることはとても重要。

友達とか先輩とかやる気がない人はほとんど帰国した。学校があって、終わってからアルバイト、終わってから帰って寝て、また学校という生活に馴染めないから、たぶん嫌だったのだと思う。

長い時間アルバイトをするから勉強に影響して、その分勉強できないと感じることもある。結構疲れる生活になる。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあってよかったこと

最初のアルバイトは居酒屋だったが、学校が紹介してくれた。

6 現在の学校について

すごくいいと思っている。授業もしっかりやっている。分からないと先生も丁寧に指導してくれる。この学校に入ってから

心配することが一切なくなった。すごくいい学校だと思う。やはり専門学校なので、先進的な知識が多く得られるのではないかと考えている。

悩みがあると、留学センターがいつでも相談にのってくれることも、すごくいいと思う。

「もっとこういうサポートをしてくれたらいいのにな」という希望などは特にない。とても満足している。

日本人の学生は勉強が真面目だと思っている。真剣にやっている。

7 卒業後の進路について

この4月から日本のIT関係の会社で開発の仕事をする事が決まっている。この会社は学校の合同説明会で知った。それから説明会に参加して、先生のアドバイスを受けて応募した。

中国で就職しようとはあまり思わなかった。日本が好きなので、長く日本にいたい。出来れば永住権を取りたい。

就職活動で苦労したのは自分の日本語がまだまだかなということ。もしグループ面接だったら自分が負けるかなと思う。周りの人がほとんど大学生や大学院生で、すごい日本語ですらすら話して自分をアピールする。逆に私は、そんなに上手じゃない日本語でアピールしても負けるかなと思うので、それは一番苦労したところだ。

今の学校の就職サポートにはとても満足している。就職についてすごく専門的ではないかなと思っている。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

留学を考えている中国の後輩に日本をお勧めする。ただし、もし、怠け者だったら薦めない。積極的な人で、何かやりたいことがある人でしたら、「日本に来るのがよい」というと思う。

これまで、友達とか先輩とか私の周りの人に関して、やる気がないとほとんど帰国した。やる気がないと日本の生活は苦しいと思いがち。やはり自分にやる気があると、乗り越えられるかなと思っている。

5.5 対象者 5

男性 19 歳

2018 年 1 月 25 日 16 : 00-16 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 B
学科	高度情報処理科
学年	2 年生
出身国	韓国
来日年 (来日後年数)	2016 年 (1 年半)
現在の学校の以前の学校	なし (直接現在の学校に入学)
現在住んでいる住居	4 人でホームシェアをしている
課外活動・クラブ活動	特になし (現在は卒業制作が忙しい)
現在しているアルバイト	WEB 開発をしている会社で開発を手伝っている

1 日本に留学した経緯・理由

私はプログラマーを目指しているが、日本は昔から革新的な技術とかが、いろいろ生み出された国。私が気に入っているルビーというプログラミング言語とかが、日本で開発されたし、インテルという会社ともいろいろ関わりがある国だし、それが日本に行きたいと思ったひとつの理由。

ドラマとかアニメーションの影響もある。日本に対する憧れとかあった。

日本に着たいというよりプログラマーになりたいと思ったのが先。それでいろいろ調べてみたのだが、韓国ではプログラミングに対する印象とかがあまり良くない。それでいろいろ考えながら、留学したらどうかなと思って探したのだが、それで見つけたのが日本だった。

プログラミングと言ったら、やはりアメリカだがアメリカは韓国と文化的にだいぶ違う。それにアメリカで留学するのはお金がすごくかかるので、現実的に行ける国を探して日本になった。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

プログラミングが学べる情報系の学校を探して、いろいろ調べてみたら、今の専門学校は韓国にも事務所があった。海外でも展開している学校なので、韓国の事務所に行って説明を聞いて決めた。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

日本の学校の情報収集はグーグルとかで検索するぐらいだった。大学ぐらいだったらいろいろ情報はあったが、専門学校はあまり情報がなくて、日本のサイトを調べるしかなかった。

ヤフーとかグーグルとか日本語で検索した。日本のことなので、やはり日本語で調べたほうがよい。時間はかかったが、時間をかけてゆっくりやった。

正直に言うと、情報が足りなさ過ぎて、何でもあれば助かるぐらいだった。学校のことあまり書いていない。日本語ができないと、何でも調べられないぐらいだった。情報がなさ過ぎる。自分で調べるしかなくて辛いので、いろいろ情報を出して欲しい。情報さえあれば、留学してくる子は多いと思う。

来日前に不安だったこと

一番の不安はお金のこと。韓国よりは物価が高いと言われていたし、学費も安いわけでもない。それがいろいろ心配になった。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

高校2年生（来日1年前くらい）から

来日前の学習機関や勉強方法

高校2年生から英語以外の外国語をひとつ選んでやる授業があった。そこではひらがなとカタカナぐらいのレベルだったのだが、そこからいろいろ日本のドラマとかアニメーションとかに興味をもって、それを見ながらうまくなりたいたいと思って、勉強した。

日本語は独学で勉強しました。一番役に立ったのは、ドラマとかアニメーションで、いろんな状況に対する会話を聞いたこと。テキストを見るよりは、聞きながら覚えるタイプなので。

来日直後と現在の日本語理解

先生が話す内容は、会話は結構聞き慣れていたので、聞くのは問題なかった。一番問題だったのは読むのが苦手だった。読むのと書くのが難しい。

今、読むのは結構なれてきたが、書くのは、漢字とかまだ難しいところはある。

日本語能力試験取得級

日本語能力試験の上から 2 番目ぐらい

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

面白いとか思っていることもあるが、（日本の）画とかドラマとかは、現実から離れているなどは思っている。韓国では日本人は優しいという印象があって、韓国より心地よい生活ができるかなと思っていた。それに日本の女性とかも、韓国の男性たちには憧れもあると思っていたが、それは幻像だった。そんなに韓国と違いはなかった。

苦労した点

文化の違いに関して、日本人は本音を言わないのが、美しいと思われているが、個人的には本音を言わないのはよろしくないかなとは思っている。日本人と仲良くなって、もっと深い関係になりたいが、なかなか自分のこととか言ってくれないことも多い。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあっよかったこと

サポートして欲しいのは奨学金とか、それが一番大きい。それ以外は、先輩と後輩たちの関わりを作ってほしい。他の学校は詳しくないが、自分の学校は先輩と後輩の関係がほぼない。メンターのような、いろいろ教えてくれる、頼りになる人がいればいいと思う。

6 現在の学校について

来る前はプログラミングが全然できてなかったが、今は会社でアルバイトができるレベルになったので、授業面とかでは満足している。

授業のレベルはだいぶ易しい。みんなできるわけではないから、みんなを連れていくために、易しくしすぎる感じはある。

専門学校だからかは分からないが、日本人はやる気をそんなに出している人が多くはない感じはある。大学はまた違うかもしれないが、同じクラスに韓国人は私を含めて 3 人いるが、やはり海を渡ってきたから、皆、頑張っている。

7 卒業後の進路について

日本で就職して何年か働いて、それからまた韓国とか日本ではなくてアメリカとかヨーロッパとかに行きたい。それで英語も頑張っている。

卒業は来年4月だが就活を始めている。早く内定をもらって、残り時間に自分のやりたいことをやりたい。

就活を始めて難しいと感じているのは、企業が外国人自体を採用するかしないかもあるし、SPI試験も結構苦労している。

私は韓国人なので、軍隊に行かなくてはいけない。30になって行ってもよいのだが、30になって仕事辞めて2年行ってくるのはどうかなという思いもある。

学校は就職に対してはいろいろやってくれている。情報とかもいろいろくれるし、ビジネスマナーとかも教えてくれているので、そこは満足している。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

生活に関して困るところがないのであれば、お薦めする。韓国でやるのとは、学ぶ内容とか生活の仕方とかは、大きな違いはないと思う。大変とかはないが、韓国とは違うところに住んで、その国を感じることは人生で何回もできることではないので、若い時にぜひやってほしい気持ちはある。

ただ日本に逃げてくる子たちが多いと思う。大学入試に失敗したり、いろんなことがあって日本に逃げ出してくる子たちがいるので、それだけは本当気をつけてほしい。自分で目標を持って来てほしい。

5.6 対象者 6

男性 26 歳

2018 年 1 月 25 日 17:00-17:45

学生の一般的な情報

学校名	学校 B
学科	情報処理科
学年	2 年生
出身国	ネパール
来日年（来日後年数）	2014 年（3 年半）
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	新聞奨学生の寮
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	新聞奨学生

1 日本に留学した経緯・理由

高校時代から友達と IT 系の勉強することに興味があって、色々な国を調べてみたのだが、自分の友達のアジア系のネパール人が福岡にいたので、どうい感じですかと相談した。来て頑張ればできないことはない聞き、そのうえで決めた。

自分はずっと英語もできるので、ヨーロッパ系とかアメリカも調べて見ていたが、そこにいる人たちの話を聞いて、ネパールと近いイメージがある日本を選んだ。

日本は、アジア系で文化的にも家族を大切にすることが気になっていた。日本人は優しく、留学生で来てもそんなに困ることはないよと聞いて安心感があった。

情報処理の勉強はネパールでもできるが、仕事の部分が出てくるし、自分でアルバイトもして自分の学費を負担して、いろいろな国を体験してみたいなという思いもあって留学することにした。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

最初の日本語学校を知ったのはネパールの先輩がいたから。学校の内容を自分で見て、いいかなと思って決めたのだが、ほんとうの理由は、その友達がそこにいたということが1番強かった。

最初、専門学校ではなくて日本語学校に行ったのは、そこら辺の情報はあまり知らなくて、日本語学校に行ってしまったという部分もあったのではないかと今は感じている。時間的にも大学をちょうど卒業して、その間に1年間くらい母国で日本語の勉強をしっかりして、今の学校に直接来れば、時間的にも早く日本で仕事をしながらいろんな経験ができたのではないかと今は思っている。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

ネパールで誰かしらに聞き始めると、その人がネパールから日本に人を送っている（エージェント）という形になってしまうと、はっきりとした情報が手に入らない可能性もある。そういう件で騙してしまっていることもなくはない。

インターネット上に欲しい情報ある程度はあるが、調べる方法や、はっきり何を調べたいということが自分自身で分らないと、調べても意味がないのではないかと。何をしたいかはっきりしないと、ほんとうに困る人はそこから出てくるのだが、自分のやりたいことがはっきり分かって調べるところが分かれば、たぶん十分な情報は取得できると思う。

来日前に不安だったこと

日本にいる先輩たちがやっていることをはっきり知りたかった。どういう生活で、どういう動きをして、どう勉強しているのかというところを、情報を取得しようとインターネット叩いたのだがあんまり出てなくて、まあそういうコンサルティングをしているところとか行って情報をもらおうとしたら、その会社が送っている人からもらっている情報しかもらえないので、そういう点でちょっと情報が足りなかったかなと思う。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

ネパールにいたときは3ヶ月くらい勉強した。留学しようと思い頭の整理をして始めた。そこでがっつり勉強して、でもそこまで分かっていなかったなので、ひらがなカタカナくらいだ。

来日前の学習機関や勉強方法

ネパールにいたときは、日本にいたことがあるネパール人がいた。その人が教えてくれた。言葉とか教えてもらうのだが、やっぱりネパール人だからネパール語で話してしまうので、そこはだめだったかなと今でも思う。

来日直後と現在の日本語理解

最初は 10%もなかったかも知れない。今は勉強している学科の方はわりと、100%とは言えないが 7~8 割は分かる。ちょっと分からないところは調べたら、100%分かる感じ。

やっぱり漢字に引っかかってしまうところも多いが、その以外の聞き取りや、ひらがな書き、カタカナ書きとかは問題はない。

ほんとうに日本人しか使わない単語がある。社会人が使う言葉ではなくて、一般的に家族が使う言葉があるので、そういうところで引っかかることがたまにある。普通の丁寧な日本語を話せば分からないところは、たぶんほとんどないと思う。

日本語能力試験取得級

日本語学校の際に N2 に合格して、そのあと、今は勉強中。N1 は 1 回受けたが、落ちてしまった。

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

日本の生活は自分的には合っていると思う。合っているからこそ 4 年間ここに住んでいるのだと思う。

苦労した点

1 番苦労するのは、日本人から外国人としてとらえるイメージがあるが、その差別というか、外国人だっていう感覚が出てくるところが 1 番辛いと思う。それ以外は日本の文化とか、日本人をちゃんと理解しないと誤解してしまうところが多すぎる。

友達関係もすごく仲がよくなるとなかなか受け取ってもらえないところがある。後、例としてこれから引っ越しをする予定なので今現在寮とかを探しているのだが、留学生だから貸すのが難しいところが多かったので、まだ決まっていない。

外国人も申し訳ないことをやっているといるから仕方ないと思うが、でもやっていない人はすごく傷つく。あの国の人がこんなことをやっているから、あなたもこんなことをやるのではないかということが出てくるから、それが 1 番辛い。

生活費に関して奨学生としての奨学金があるが、それ以外に月給でお金がもらえる。そのお金でちゃんと生活できるようになっている。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあっよかったこと

学校としては、同じ日本の学校で同じ国籍の学生ばかり並べるのではなく、いろんな国の人を並べて、みんなで授業

すると日本語の勉強も早いだろうし、日本語能力試験や高いレベルの試験も簡単に受かるのではないかと思う。それだったら英語の勉強にも、日本語の勉強にもなるし、いろんな国の文化とかエキスチェンジ（交換）できる。そういう機会を作ってくれたら嬉しかったと思う。

6 現在の学校について

今の学校は自分が勉強したいと決めて来たところで、あまり悪いところが見えてないので、この学校はほんとうに勉強のためにはすごくいいと思う。留学生もちゃんとしてくれているし、ここの学校に入っている日本人にもそんな寂しさが無く、将来日本で仕事したいという人にはしっかり就活サポートもしてくれるのですごくいいと思う。

日本人の先生だが、理解できず何度も聞いたら、留学生だから分からない部分もあるだろうと思い、何回も放課後に残って教えてくれるので、ほんとうにすごくいいと思う。

日本人学生には真面目な学生もいれば、不真面目な学生いると思う。ただ、それは日本人だけじゃなくて海外でも同じだと思う。

7 卒業後の進路について

開発関係で金融系の仕事を主にやっている会社に内定が決まっている。

就活を始めたのは1年前の、4月の中旬くらいだった。

苦労したのは、留学生なので、日本の一般常識の試験とか、漢字の国語試験がとても辛かった。それはたぶん入社しても使わないと思うのだが、何でその試験があるのか、今更ながら考える。学科にも関係無かったし、留学生に日本の歴史を聞いても訳が分からない。

会社を探すためには学校の先生に聞けば100%サポートしてくれる。自分勝手に探してしまうとブラック企業ということがあるが、先生に相談すれば失敗は絶対に出でこないと思う。どういう会社に就職したということを学校が管理してくれるので、失敗はあまりないと思う。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

ネパールから日本に留学する人は相当多いと思う。1番心配なのが、ほんとうに分からなくて適当に留学してしまう人が多いということ。そういうのを、どうにかして日本政府が止めてほしいとずっと考えている。日本に行って何をやりたいかが重要。日本ってどんな感じかまず分からなくて、適当に来て、すごく困っていた人が多い。お金も稼げないし、学校も

ちゃんとできないし、日常の生活もできない。そういう人が日本人からしたら問題を起こしていると思われており、頑張っているネパール人に負担が掛かっているのではないかと思う。

自分がやりたいことによって、友達ができているから自分もできるではなくて、自分が何をやりたいてことを理解した上で来るのであれば、絶対お勧め。500%お勧めだ。アメリカよりいい国だ。適当に友達がすごいいい写真を載せているだとか、すごい日本語ペラペラで、お金を稼げるというところが見えて、適当に来てしまって後で心配するのはやめてほしい。

5.7 対象者 7

女性 26 歳

2018 年 1 月 30 日 15 : 00-15 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 C
学科	ネットワークセキュリティ科
学年	1 年生
出身国	ベトナム
来日年（来日後年数）	2015 年（2 年半）
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	学校の寮
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	コンビニエンスストア、週 3-4 日の勤務

1 日本に留学した経緯・理由

大学を卒業して 1～2 年は仕事をして、それから姉の友達が日本へ行っていた人がいたので、ちょっと自分も日本へ行きたいかなって思った。それで仕事を辞めて、日本へ留学しようと決めた。

日本に来たかった 1 番の理由は、日本の技術は優れているから。私は若いうちから色々な国に行きたいし体験したい。それは大変でも何とかなるかなと思って、成長になって、自分の生活できることは、いい体験になると思う。

シンガポールも考えたが、姉の友達がいたこともあり日本にした。それと留学となると両親が心配したが、日本が安全だと聞いて安心できたことも大きな理由だった。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

最初に行ったのは日本語学校で仙台国際日本語学校。知り合い（姉の友達）が紹介してくれた。今の学校は、前の日本語学校の兄弟校なので入学した。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

ベトナムでは日本の学校の情報があまりなかった。情報があっても、信じられない内容もある。もし知り合いがいなかったら、大変だったと思う。

授業の時間はどうか、先生は仕事を紹介してくれるか、やはり、安全なところか、といったことが知りたかった。

来日前に不安だったこと

<コメントなし>。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

日本に来る前の4カ月くらい前から勉強を始めた。

来日前の学習機関や勉強方法

ベトナムにある日本語センターで勉強した。

来日直後と現在の日本語理解

来日直後の日本語理解は30パーセントくらいだったと思う。最初は、外国人には日本人の発音は、ちょっと聞きづらくて、すぐ分からないと思う。今、スピードはだんだん慣れてきた。

日本語能力試験取得級

<コメントなし>

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

<コメントなし>。

苦労した点

大変だったのは日本語。最初は、何も分からなかった。道も迷って、お店で注文さえも出来なくて大変だった。

日本に留学するには仕送りしてもらわないと難しい。アルバイトだけでは賄えない。今も両親からお金をもらったりし

ている。

日本語学校の時はアルバイトの時間があつたが、専門学校に入ってから時間が厳しくなって、アルバイト出来る時間が少なくなりました。それで生活も大変になった。さらに、専門学校に入って税金もいっぱい払うし保険や年金とかも払うので、ほんとうに厳しくなった。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあつてよかったこと

日本のボランティア活動をやりたいなと思っている。空いている時間があつて、活動をしたいと思っているが、なかなかない。学校が何か紹介してもらえるとありがたい。

6 現在の学校について

学校の授業は面白く、役に立つ。

日本の学生は勉強熱心だと思う。皆、資格を取る気がある。

7 卒業後の進路について

日本で就職をしたいと思っているが、できるか分からない。だが、せっかく日本にきたので、2年～3年就職できればいいなと思っている。

まだ就職活動は始めていない。活動するにあたって不安なのは自分の能力が足りないということ。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

「留学生の生活は大変だよ」と、言いたい。1番大変なのは日本語。アルバイトや学校などは、みんなが親切にしてくれて問題ないと思う。

5.8 対象者 8

男性 27 歳

2018 年 1 月 30 日 16 : 00-16 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 C
学科	国際ビジネス学科
学年	2 年生
出身国	ネパール
来日年（来日後年数）	2014 年（4 年目）
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	アパートに友人と一緒に住んでいる
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	飲食店とコンビニエンスストア、週 5 日の勤務

1 日本に留学した経緯・理由

大学を上がってネパールで仕事を探しているときは日本のことを結構聞いて、日本に居たらいい収入になるかなと思った。ネパールは今は失業が多いので就職しようとしてもなかなかできない。そこで多くの人は海外に行って仕事することになる。

最初はアセアンも考えたが両親から反対された。親戚の人がいてそこでだめだと言われた。勉強をしてもあまりいい仕事に就けないという事なので行っても意味がないという感じだった。今までしたことが無駄になると。

日本は仕事が多くて、日本語さえ出来れば自分のやりたい仕事に就ける可能性が高い。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

どこに行くかはいろいろ探した。最初は東京や大阪で探したが、最終的に生活費が高い場所に行ったら生活できるのかと疑問があった。前から友達が仙台国際日本語学校で勉強していたので、そこで探してもらってここにしようと思った。

日本語学校を卒業したときは大学院の勉強をしようと思っていた。一度東北大学の資料を見てみたところ、その時に

やるよりも少し待って後でいろいろな資格を持ってからやった方がいいと思って今の学校に入学した。大学院に入って就職するよりも今のところで就職した方がいいのではないかと思った。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

友達やインターネットを見てもあまり無かったので、ここに住んでいる友達に電話で相談にのってもらった。

来日前に不安だったこと

日本語があまり分からないので生活できるか、これからどうなるのかが不安だった。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

来日する3か月前から。それまでは全く日本語に触れたことはなかった。

来日前の学習機関や勉強方法

最初はエージェントの授業みたいところで、あいさつやひらがなカタカナだけで教えてもらった。後は日本語の本を渡されて自習して勉強する感じだった。

来日直後と現在の日本語理解

来日直後は10パーセントくらいしか分からなかった。それでも手ぶりや合図で教えてくれるのでそのへんで分かってきて自分でも勉強をして分かってきた。

今はだいたい話すことは分かるが日本語がどれくらい分かるかと言われれば私は分からない。漢字を書くのが1番難しいです。分かっているけど書けない。

日本語能力試験取得級

N1を取った。

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

<コメントなし>。

苦労した点

私はネパール人なので常識とやってることが相手から非常識と思われることに困っている。分からないうちに自分が悪くなってしまうことに困っている。文化の違いだ。

後は買い物だ。買い物に行ったときは全部日本語で書いてあって、その時は日本語が分からなかったので買いたいものが選べない状態だった。最初は先輩方から手伝ってもらっていた。

生活費は最初、国から送ってもらったお金で補っていたが、学校からも奨学金をもらっているものでそれで何とかやっている。奨学金がなかったらきつい。日本語が出来るようになるとアルバイトの時給も上がるので今は最初よりもよくなっている。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあっよかったこと

日本のごみの分別や買い物の時にすることを教えてもらったので、その時はすごく助かった。日本語の勉強だけではなく、そういう生活の事も教えてもらえるのでそれは助かる。

6 現在の学校について

今の学校には満足している。ビジネスのことについても日本社会に使うビジネスマナーなども教えてくれるので、その場で使えることなのでそれがよかったと思う。

7 卒業後の進路について

東京の派遣会社に就職が決まっている。海外の医者や看護師やITの専門の人を日本の会社に紹介する仕事だ。

その会社は東京で行われた企業説明会に学校から連れて行ってもらって見つけた。二人だけの小さな会社だが自分の力で成績を残すようにやってみたいなと思った。大きい会社に行ってしまうとそこがなくなる可能性がある。

日本の就活は基本的なルールが厳しいかなと思った。身だしなみや挨拶は外国人にとってはあまり分からないことなので、たまになぜこんなことをやっているのかと不思議になる。それと外国人も日本人のようにしてほしいと期待されているのでそこまでいくのは難しいかなと思った。価値観的にはそこまでは満たせないという感じ。マナーや言葉遣いも日本人と同じようにしてほしいと期待されるので、日本語が出来てもそのへんは少し難しいと思う。

母国に帰ることは今は考えていない。卒業したら仕事に就いて自分の生活が出来るように感じる。それはネパールではあまりできない。大学院が終わっても仕事が見つからない。それと比べるとこちらの方が天国みたいだ。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

日本に留学することを私はお薦めする。最初は辛いことは多いが、それを乗り越えたらそこから楽しみが始まる。

日本に来る人は日本語をできるだけ真面目に頑張ってきて欲しい。日本語以外はネパールの感覚や価値観はやめて日本の世界に馴染めるように精神的にも準備して来た方がいいと思う。

5.9 対象者 9

男性 28 歳

2018 年 2 月 19 日 13 : 00-13 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 E
学科	スマートフォンアプリ制作学科
学年	2 年生
出身国	ネパール
来日年（来日後年数）	2014 年（4 年目）
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	マンションに友人と一緒に住んでいる
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	卒業間近のため今はなし、過去にはチラシ配布、ホテル、飲食店等

1 日本に留学した経緯・理由

高校卒業してからエンジニアリングを 1 年勉強していたが、家族問題がいろいろあったので勉強をやめてネパールで就職したがその会社が潰れそうになった。

ちょうどその時、子供のころのネパールの友達が日本にいたのだが、その友達といろいろ話して、それがきっかけになった。

ネパールの会社に再就職しようとは考えなかった。日本に来た方がいいなと思った。エンジニアリングを勉強したので IT に興味があった。日本の IT 技術がすごいと友達に聞いて、日本で勉強しようと思った。

オーストラリアも一応考えた。一緒に行こうと言ってくれる友達がいたが、日本には先輩がいたので日本にした。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

ネパールにある日本語学校で 6 ヶ月ぐらい勉強して、その学校の先生に日本の学校をいろいろ調べてもらって最初の日本語学校を選んだ。その日本語学校の先生がネパールに来て、その学校の説明をしてくれたりもした。

日本にいるためには日本語を 1 番勉強しないといけないと思って、日本語に慣れるために最初は日本語学校にした。

その後は大学も考えたが、もう 28 歳なので就職するために年齢の問題もあるので、2 年制の専門学校に入って就職しようと思った。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

来る前に日本の情報収集はあまりしなかった。友達がいたので聞いたので十分だった。

来日前に不安だったこと

特になかった。会社で働いていたとき少し貯金していたので、足りないぶんだけ家族からもらって来ることにした。資金の問題もなかったし、友達がいたので住居とかも問題なかった。

ただ食事は不安だった。食べ物とか料理とかが全然違う。今までも日本料理があんまり好きじゃない。健康的だが味がちょっと合わない。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

日本に来ることを決めてから 6 ヶ月くらい。

来日前の学習機関や勉強方法

ネパールの日本語学校で勉強した。

小さいときからある程度日本語に馴染みがあった。学生時代も日本人が学校に来て話したこともあるし、私の故郷にも日本人が遊びに来る。その時もいろいろ話せたので日本人に興味があった。私の姉も子供のころ日本語の教室に行っていて勉強していた。姉のノートを見て日本語のひらがなとかふりがなとかカタカナとか自分でも書いていた。

来日直後と現在の日本語理解

最初は下手だった。ネパールで一応勉強したが、ここに来て日本語学校で授業を受けたときに全然分からなかった。周りの友達は 3 ヶ月勉強していたので皆、先生の言葉に頷くのだけが、全然何言っているか分からなくて困った。それから、だんだん慣れて分かるようになった。

今は先生の話はほとんど分かっている。書くのはまだ難しい。読む方が書くより大丈夫だと思う。ネパールは漢字がない国なので漢字は難しい。毎日練習した漢字だったら書けるが、レベルが上がれば上がるほど難しくなってくる。普段

の生活で、日本語で困ることはあまりない。日本人と話すときはまだ分からない言葉が結構出てくる。まだまだ分からない単語がいっぱいある。学校で勉強する日本語と違う。

日本語能力試験取得級

N2 は取った。N1 は今目指しているところで、もう 2 回受けたがまだ受かっていない。

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

<コメントなし>。

苦労した点

苦労したことはあまりない。アルバイトしたときも皆、優しく教えてくれて、店長も優しくかった。いろいろ分からないことあれば遠慮なく聞いてくださいと言われて、あまり苦労したことがない。

今、学費はネパールからもらっている。アルバイトをすれば生活費は賄える。

最初ゴミの捨て方が分からなくて、ゴミを捨てた次の日に決まっている日に出してくださいと紙が貼ってあって、また自分の部屋に持って帰ってその日に出すとか、そういうこともあった。公共のところで日本人はあまり大声で話さないが、自分の国と全然違う。友達がいれば大騒ぎとかする。

学校にサポートして欲しいこと/サポートがあってよかったこと

学校でお祭りとか、盆踊りとか日本の文化を紹介してくれるのでよかった。日本の学校でいろいろなことが勉強になったのであまり困ったことはない。先生方もすごく優しく教えてくれて、すごく準備してから授業してくれている。

6 現在の学校について

今の学校には満足している。このクラスは私も興味があったので。ネパールでも 1 年エンジニアリングを勉強したからそんなに難しくない。内容が合っていたし勉強したことはほとんど分かった。

7 卒業後の進路について

4 月から日本の IT 系の会社に就職する。自動車のソフトウェア開発とか、カーナビとかの開発に携わる予定。

日本に来る前から日本で就職しようと思っていた。ネパールでは就職するのが大変だ。だが、ずっと日本にしようとは

思っていない。ここで5年くらい仕事して経験を積んでから、ネパールに帰って自分の経験を生かすことを考えている。

今度行く会社は学校の先生が紹介してくれた。学校に説明会があって筆記試験を受けて受かった。その次に面接を受けて合格になった。

就職に関して学校にサポートして欲しいことは学校内とか学校外で説明会を行うことが1番だと思う。先生方は私たちを教えているから、どのくらいの力があるか、どんな会社が自分に合っているか分かっているし、日本の会社だから先生の方が分かると思う。インターネットで調べてみても分からないことがいっぱい出てきた。先生にいろいろ教えてもらうのがありがたい。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

日本に留学することを私はお薦めする。日本人は時間にすごく厳しい。仕事をする上でそれが1番だと思っている。ネパールもそうだし、他の国でも10分とか20分とか遅刻するのが普通なことがいっぱいある。私がネパールで働いていたときもそれは普通だった。日本だとそれは厳しい。後は接客も日本人の方が上手だと思う。すごく優しく案内してくれると思う。

日本に留学しようとする後輩への1番のアドバイスは日常で使える日本語を頑張って勉強した方がいいということ。日本に来てからも勉強はもちろんできるが、自分の国で準備してきた方ができると思う。ここに来てから勉強となると、日本語が分からずアルバイトが見つげにくい。

5.10 対象者 10

女性 22 歳

2018 年 2 月 19 日 14 : 00-14 : 45

学生の一般的な情報

学校名	学校 E
学科	電子機器組み込みソフトウェア学科
学年	1 年生
出身国	ベトナム
来日年（来日後年数）	2015 年（3 年目）
現在の学校の以前の学校	日本語学校
現在住んでいる住居	アパートにいとこと一緒に住んでいる
課外活動・クラブ活動	特になし
現在しているアルバイト	飲食店のキッチン、週 4 日程度

1 日本に留学した経緯・理由

ベトナムで高校生の頃、大学へ行きたいと思い、1 年間だけ IT 系の大学に行ったが、ベトナムより日本の方が技術が優れているので日本に来ようと思った。4 年半もかけて大学を卒業してからでは遅いと思った。

IT を勉強できる国は欧米にもあるがアジアの方が文化が近いということもあるし、日本は技術が優れていると思った。

2 最初の/現在の学校を選んだ理由

日本に来る前にベトナムの日本語学校で勉強していてそこから日本の学校を紹介してもらった。

今の学校はオープンキャンパスに行ったときに面白い先生がいたのですぐ決めた。

3 留学準備に関して

日本や日本の学校の情報収集について

日本の情報は先輩たちから聞いた。日本に留学して帰ってきた先輩たちから教えてもらった。

インターネットでもいろいろ調べた。いろいろな話を聞いても自分で調べたり見たりしないと合っているか分からないので調べた。特に調べたのは日本に来て最初に何をすべきかというのを調べた。

来日前に不安だったこと

ベトナムでビザをもらうのに苦労した。

4 日本語の習得について

日本語の勉強を始めた時期

<コメントなし>

来日前の学習機関や勉強方法

ベトナムの日本語学校で勉強した。

来日直後と現在の日本語理解

来日直後は全く分からないというわけではないが、なんとなくという感じ。

今は 80%ぐらい分かる。

日本語能力試験取得級

来日前にベトナムで受けたときは N5。日本では N1 と N2 は受けました。N2 は取得している。N1 は 2 回受けたがまだ受からない。

5 日本での生活について（生活面）

満足している/気に入っている点

日本の生活は面白い。友人と豊島園に行ったり冬はスノーボードに行ったりしている。夏はプールにも行く。冬のスポーツはベトナムではできないので楽しい。

苦労した点

苦労したことはあまりない。

学校にサポートしてほしいこと/サポートがあっよかったこと

税金に関して分からないときに先生が教えてくれた。

6 現在の学校について

今の学校には満足している。このクラスは私も興味があったので。ネパールでも1年エンジニアリングを勉強したからそんなに難しくない。内容が合っていたし勉強したことはほとんど分かった。

7 卒業後の進路について

就活はまだしていないが、ドローンを作りたいのでそういった会社に入りたい。できれば雪が多い長野で働きたい。

ベトナムに帰って就職することは考えていない。ベトナムではできないことが日本にある。

8 日本に留学を考えている人に向けてのメッセージ

これから日本に来る人にはどこにでも良い人と悪い人がいるので気をつけてと言いたい。

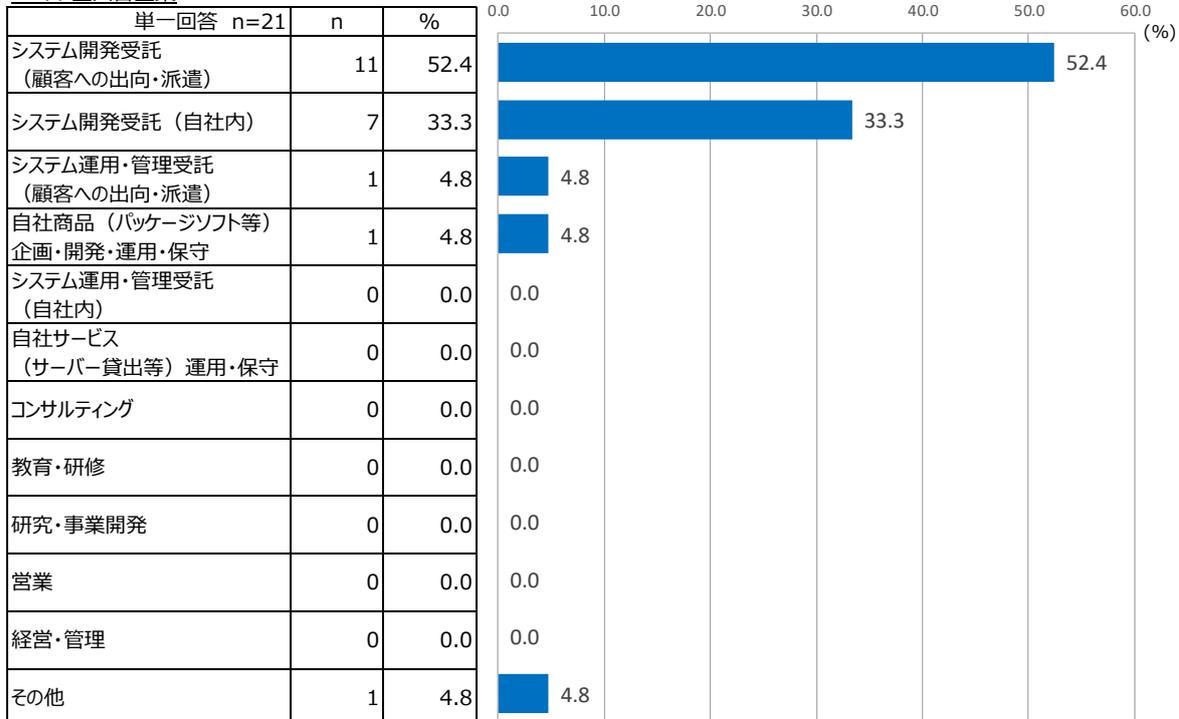
日本に来る準備としては日本人のマナーを調べること、日本に来たら1番最初にすることを調べておくことだ。1番最初にすることとは在留カードの申し込みや電車の乗り方だ。

第 6 章
留学生の採用に関するアンケート（対企業）
調査結果詳細

6.1 対象者特性

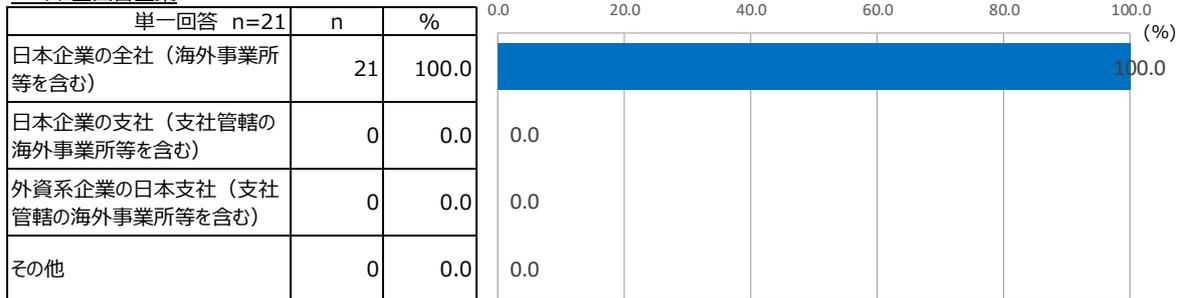
回答企業メインの業務内容

ベース:全回答企業



回答者が人事・採用を担当している会社

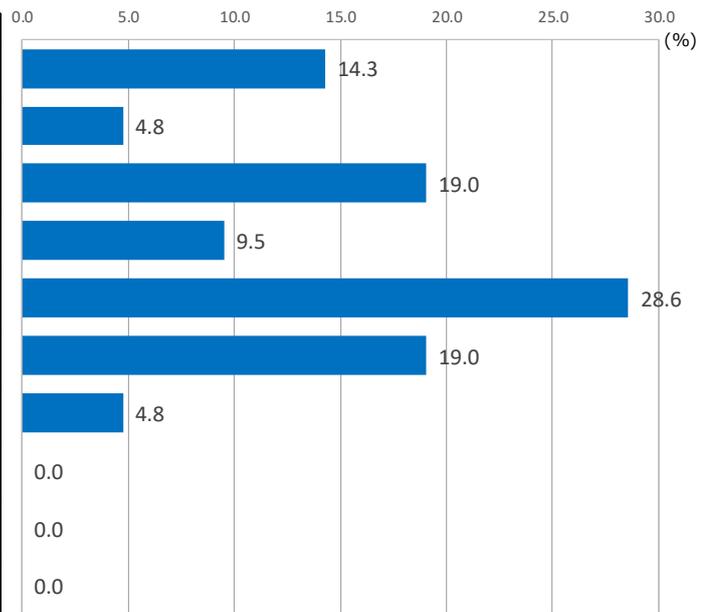
ベース:全回答企業



回答企業従業員数

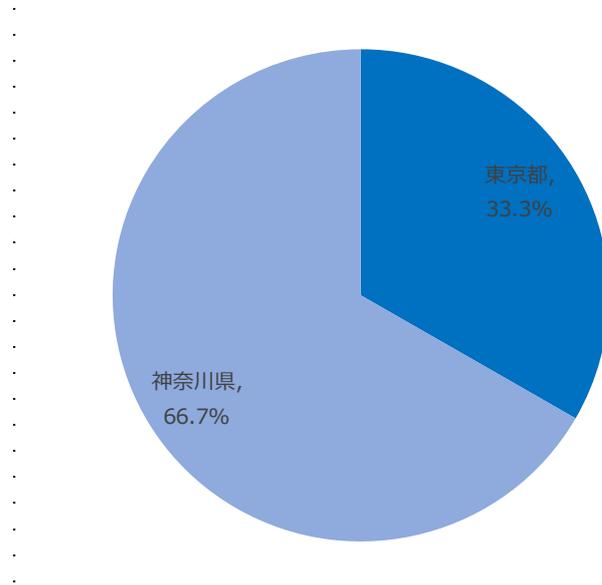
ベース:全回答企業

単一回答 n=21	n	%
1-9人	3	14.3
10-19人	1	4.8
20-49人	4	19.0
50-99人	2	9.5
100-299人	6	28.6
300-499人	4	19.0
500-999人	1	4.8
1000-2999人	0	0.0
3000-4999人	0	0.0
5000人以上	0	0.0



回答企業所在地

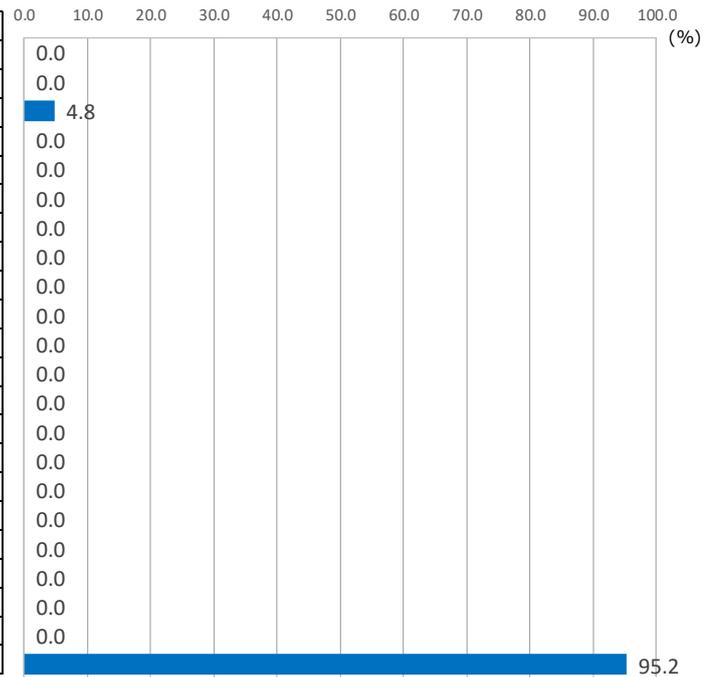
ベース:全対象者
単一回答 (n=21)



回答者が人事・採用を担当している海外事業所

ベース:全回答企業

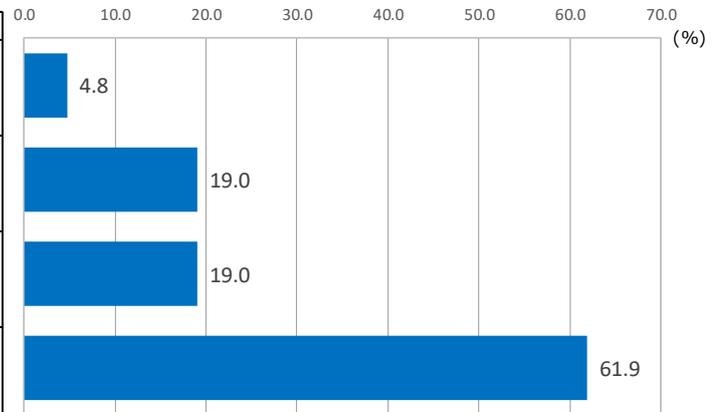
単一回答 n=21	n	%
中国	0	0.0
韓国	0	0.0
ベトナム	1	4.8
台湾	0	0.0
ネパール	0	0.0
インドネシア	0	0.0
タイ	0	0.0
マレーシア	0	0.0
アメリカ合衆国	0	0.0
ミャンマー	0	0.0
モンゴル	0	0.0
バングラデシュ	0	0.0
フランス	0	0.0
スリランカ	0	0.0
ドイツ	0	0.0
インド	0	0.0
フィリピン	0	0.0
サウジアラビア	0	0.0
イギリス	0	0.0
ロシア	0	0.0
その他	0	0.0
担当している海外の事業所は無い	20	95.2



回答企業海外展開

ベース:全回答企業

複数回答 n=21	n	%
海外拠点（開発や営業等の事業所または子会社等）がある	1	4.8
海外の企業（開発や営業等の委託先等）・顧客（開発等の受注先等）と取引がある	4	19.0
今は何も無いが今後の海外での事業展開を検討している	4	19.0
特にない	13	61.9



6.2 過去3年間の採用状況

新卒日本人学生に関しては「採用した」が 76.2%、「採用活動は行ったが採用しなかった」が 0.0%、「採用活動はしなかった」が 23.8%となっている。

新卒外国人留学生に関しては「採用した」が 42.9%、「採用活動は行ったが採用しなかった」が 9.5%、「採用活動はしなかった」が 47.6%となっている。

外国人中途採用者に関しては「採用した」が 23.8%、「採用活動は行ったが採用しなかった」が 0.0%、「採用活動はしなかった」が 76.2%となっている。

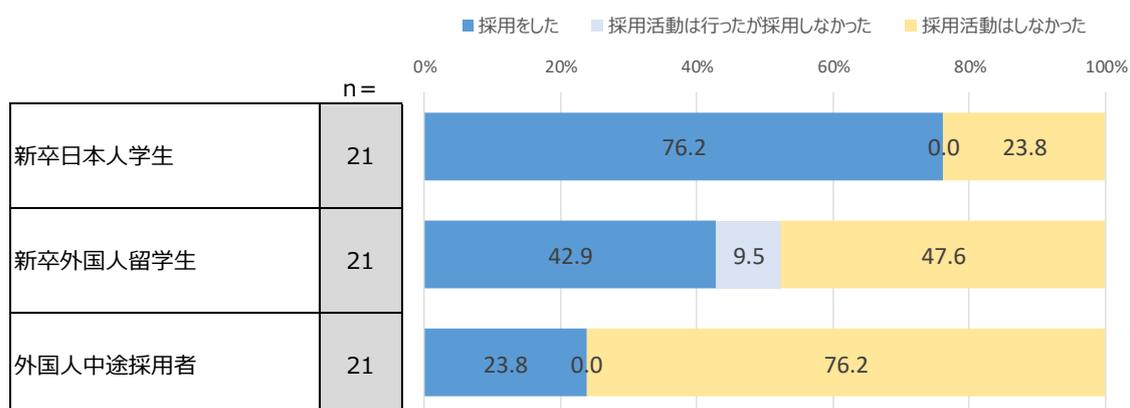
Q7 あなたが人事・採用を担当している事業所は

過去3年間に日本人および外国人留学生の新卒学生採用（海外の現地採用を含む）

および外国人中途採用（海外の現地採用は除く）を行いましたか。

日本人学生と留学生、外国人中途採用それぞれについてあてはまるものをひとつお答えください。

ベース:全回答企業



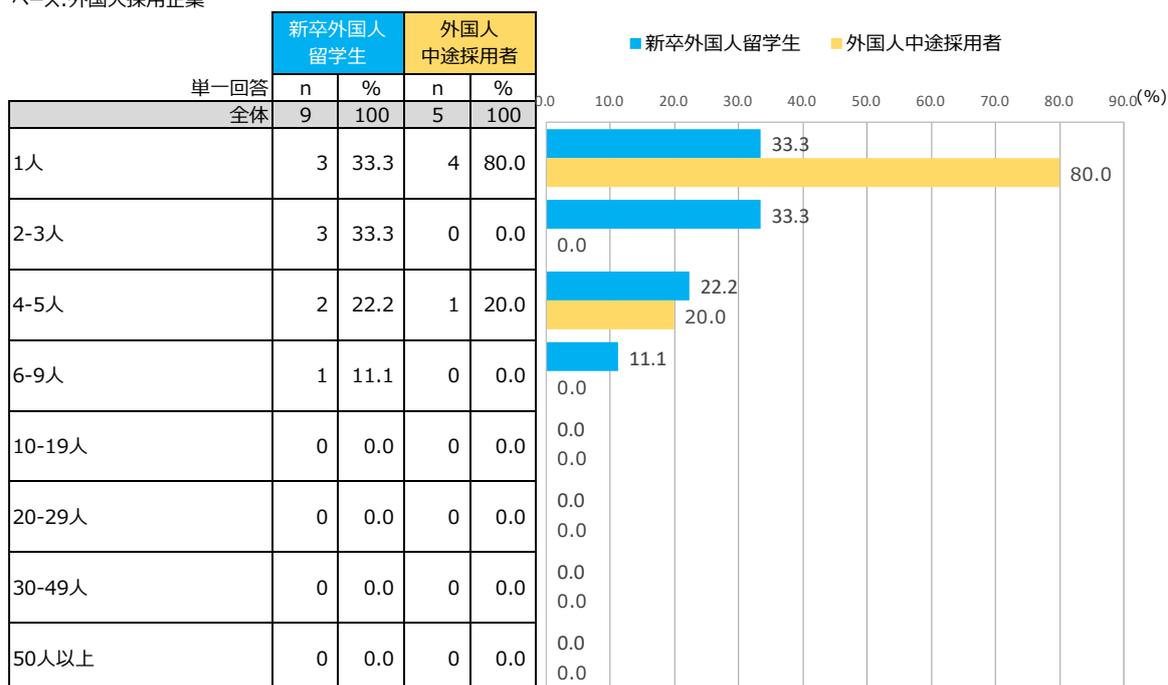
6.3 過去3年間の採用人数

新卒外国人留学生に関しては9社中、「1人」と「2-3人」が3社、「4-5人」が2社、「6-9人」が1社となっている。

外国人中途採用者に関しては5社中、「1人」が4社、「4-5人」が1社となっている。

**Q8 あなたが人事・採用を担当している事業所が
過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用を除く）の人数をお知らせください。**

ベース:外国人採用企業



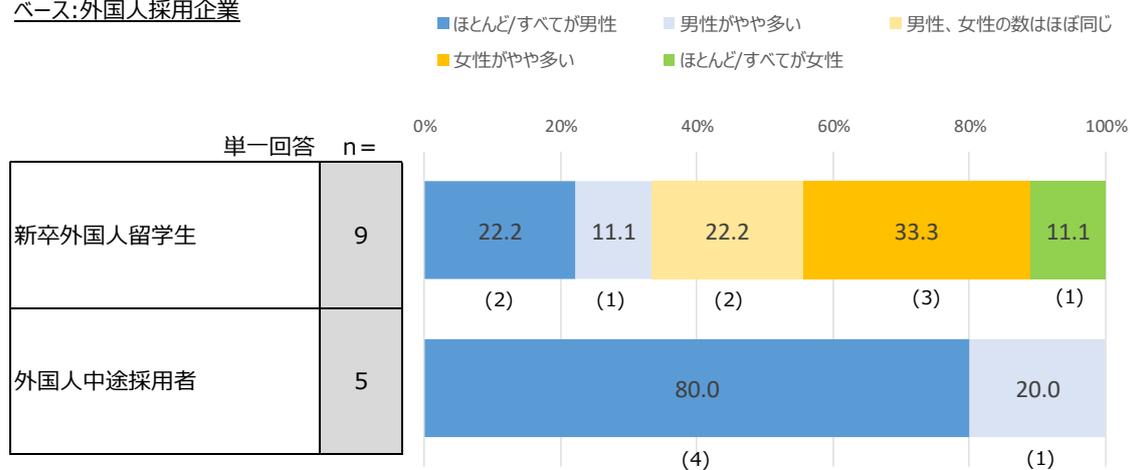
6.4 過去3年間の採用した外国人の男女割合

新卒外国人留学生に関しては9社中、「ほとんど/すべてが男性」が2社、「男性がやや多い」が1社、「男性、女性の数はほぼ同じ」が2社、「女性がやや多い」が3社、「ほとんど/すべてが女性」が1社となっている。

外国人中途採用者に関しては5社中、「ほとんど/すべてが男性」が4社、「男性がやや多い」が1社となっている。

Q9 あなたが人事・採用を担当している事業所が
過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の
性別についてあてはまるものをひとつお知らせください。

ベース:外国人採用企業



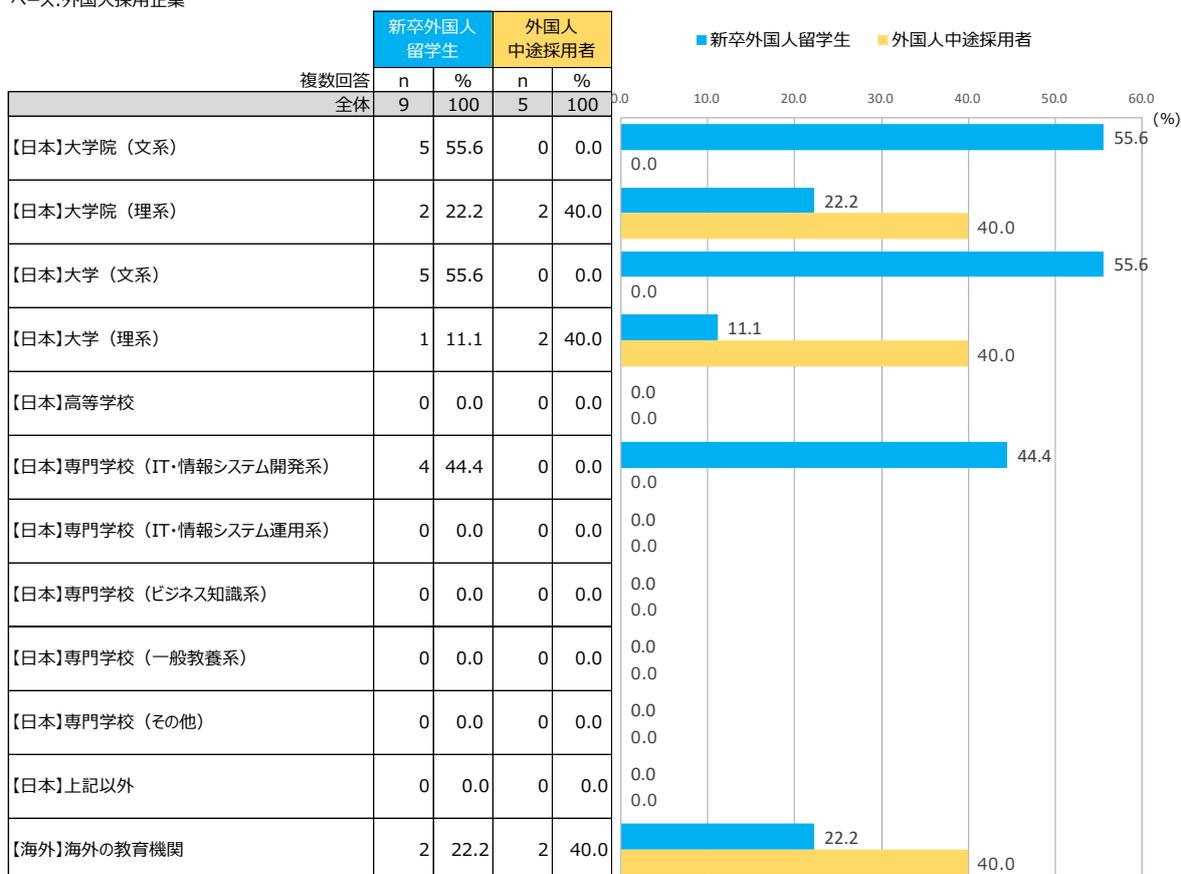
6.5 過去3年間の採用した外国人の出身校種

新卒外国人留学生に関しては、「【日本】大学院（文系）」と「【日本】大学（文系）」が9社中5社で最も多い。次いで「【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）」が4社となっている。

外国人中途採用者に関しては「【日本】大学院（理系）」と「【日本】大学（理系）」、「【海外】海外の教育機関」が5社中2社となっている。

Q10 あなたが人事・採用を担当している事業所が
過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の
最終出身校種をすべてお知らせください。

ベース:外国人採用企業



6.6 過去3年間の採用した外国人の出身国

新卒外国人留学生に関しては、「中国」が9社中8社で最も多い。次いで「韓国」、「ベトナム」、「マレーシア」、「モンゴル」、「台湾」が1社となっている。

外国人中途採用者に関しては「中国」が5社中2社で最も多い。次いで「韓国」、「ベトナム」、「台湾」が1社となっている。

Q11 あなたが人事・採用を担当している事業所が
過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外現地採用は除く）の
出身国の上位3つお知らせください。

ベース:外国人採用企業



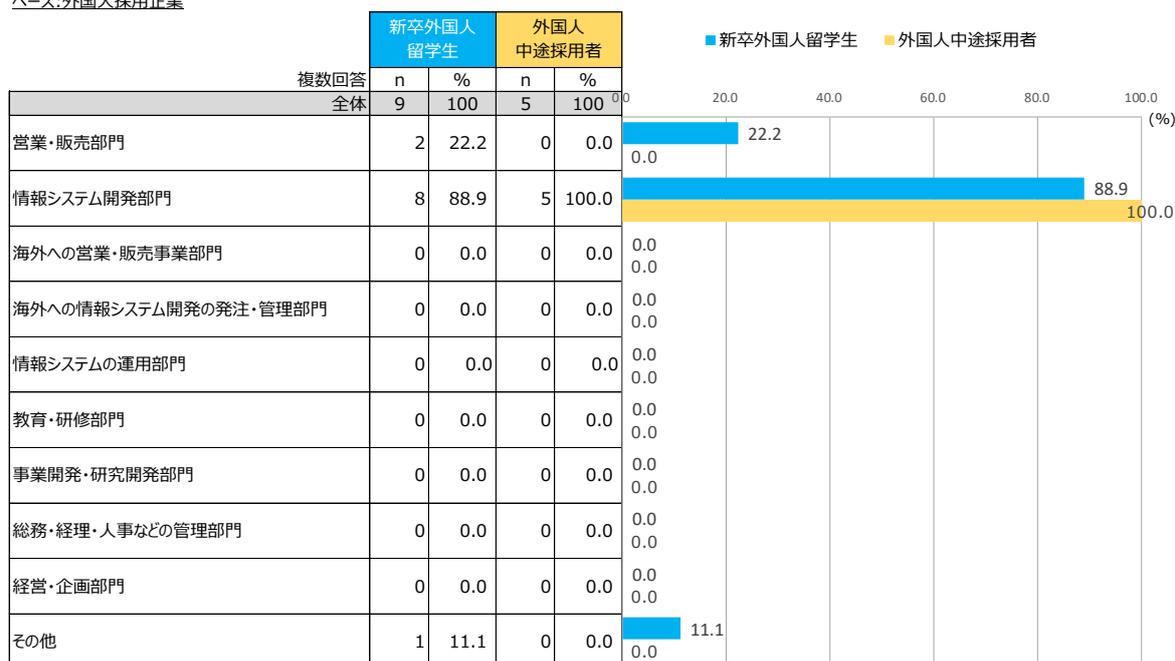
6.7 過去3年間の採用した外国人の配属部署

新卒外国人留学生に関しては、「情報システム開発部門」が9社中8社で最も多い。次いで「営業・販売部門」が2社、「その他」が1社となっている。

外国人中途採用者に関しては「情報システム開発部門」が5社中5社となっている。

Q12 あなたが人事・採用を担当している事業所が
過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）はどのような部門に配属しましたか。
あてはまるものをすべてお知らせください。

ベース:外国人採用企業



6.8 過去3年間の採用した外国人の将来の配属地

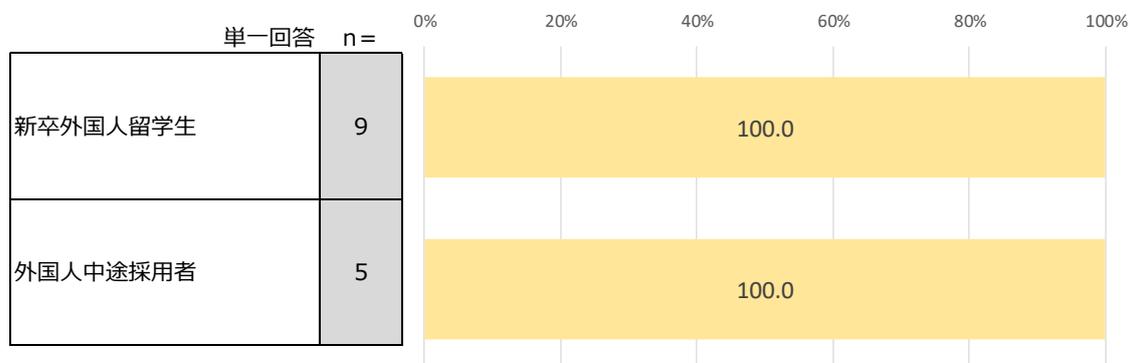
新卒外国人留学生に関しては、全社（9社中9社）が「日本に配属する」となっている。

外国人中途採用者に関しても、全社（5社中5社）が「日本に配属する」となっている。

Q13 あなたが人事・採用を担当している事業所が
過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）は
将来的にどこに配属する予定ですか。
最もあてはまるものをひとつお選びください。
※複数の採用があった場合は最も多いと思われる配属地をお選びください。

ベース:外国人採用企業

■ 出身国に配属する ■ 日本・出身国以外の海外に配属する ■ 日本に配属する



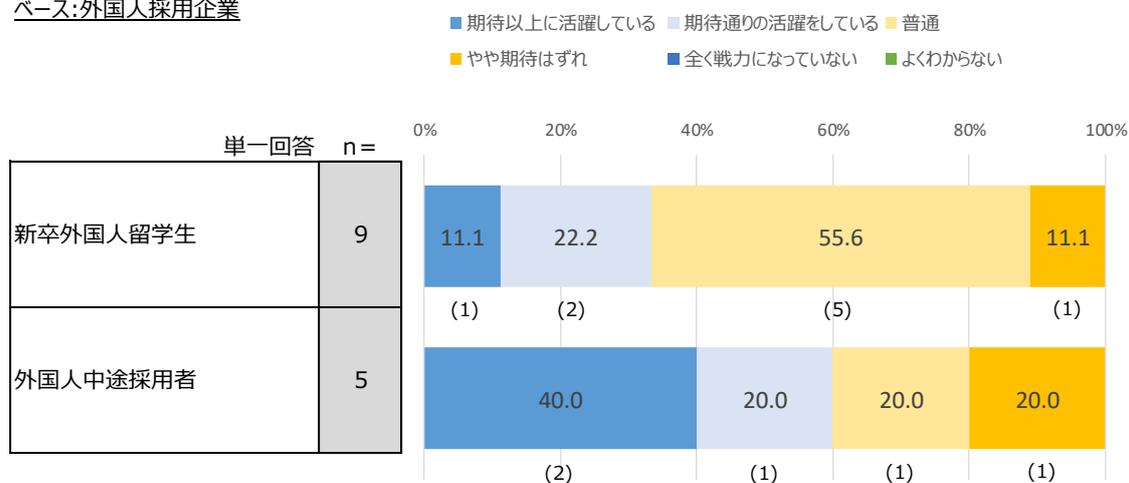
6.9 過去3年間の採用した外国人の活躍度

新卒外国人留学生に関しては9社中、「期待以上に活躍している」が1社、「期待通りの活躍をしている」が2社、「普通」が5社、「やや期待外れ」が1社となっている。

外国人中途採用者に関しては5社中、「期待以上に活躍している」が2社、「期待通りの活躍をしている」、「普通」、「やや期待外れ」が1社となっている。

Q14 あなたが人事・採用を担当している事業所が
過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の
活躍度合いについて、あなたはどのようにお考えですか。
最もあてはまるものをひとつお選びください。

ベース:外国人採用企業



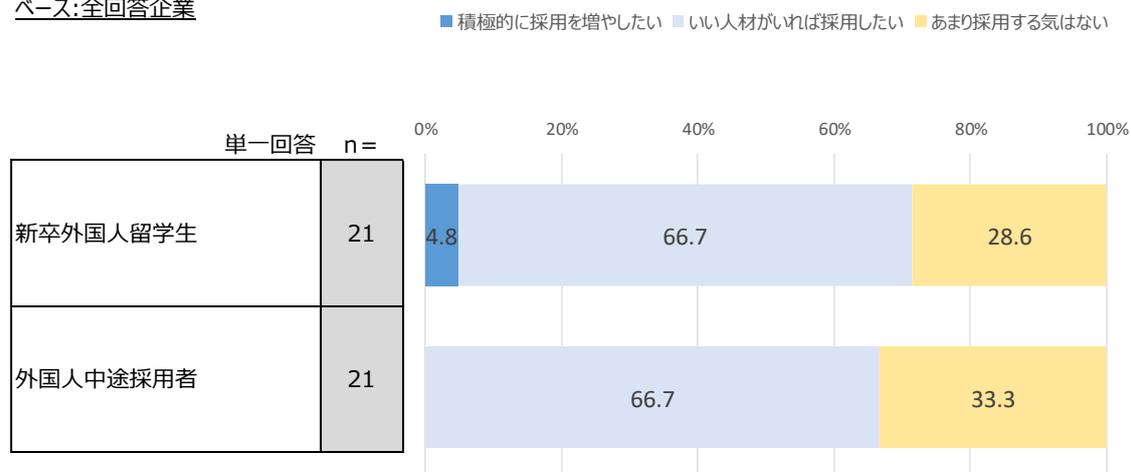
6.10 今後の外国人の採用予定

新卒外国人留学生に関しては、「積極的に採用を増やしたい」が 4.8%、「いい人材がいれば採用したい」が 66.7%、「あまり採用する気はない」が 28.6%となっている。

外国人中途採用者に関しては、「積極的に採用を増やしたい」が 0.0%、「いい人材がいれば採用したい」が 66.7%、「あまり採用する気はない」が 33.3%となっている。

Q15 あなたが人事・採用を担当している事業所は
 今後の新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
 および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の採用についてどのようにお考えですか。
 最もあてはまるものをひとつお選びください。

ベース:全回答企業



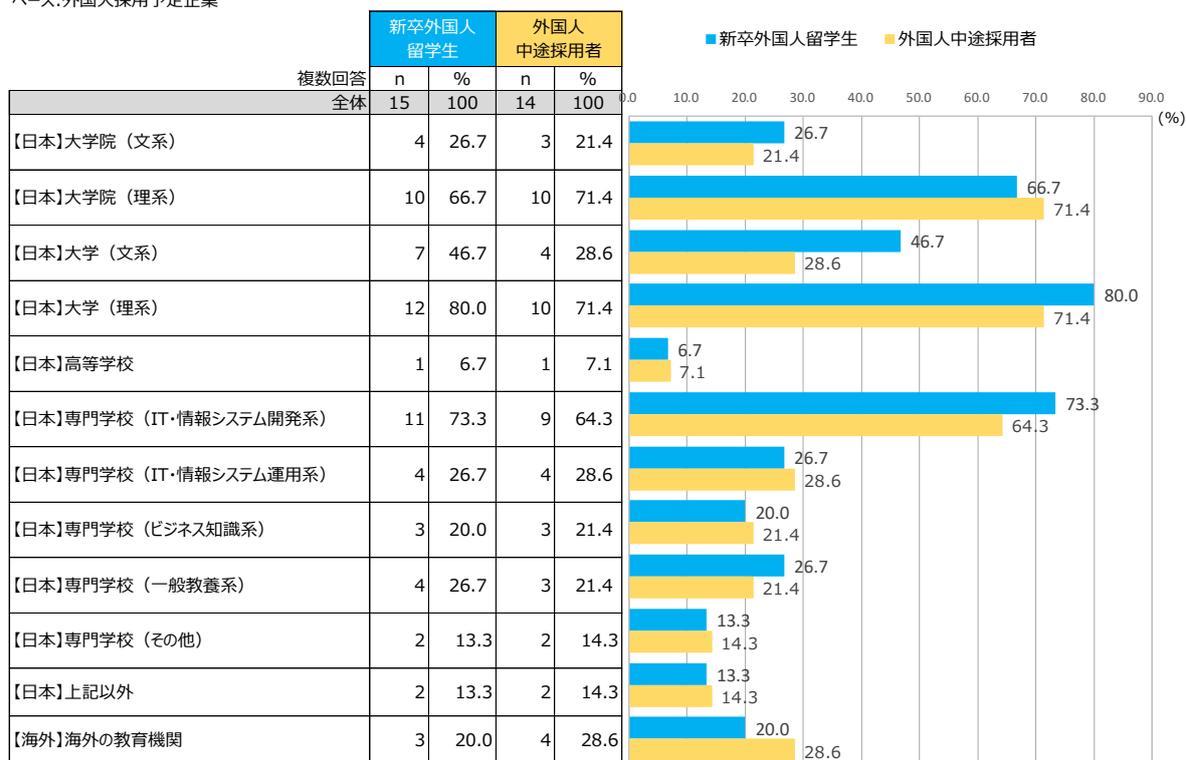
6.11 今後の採用したい外国人の出身校種

新卒外国人留学生に関しては、「【日本】大学（理系）」が最も多く15社中12社。次いで「【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）」が11社、「【日本】大学院（理系）」が10社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「【日本】大学院（理系）」と「【日本】大学（理系）」が最も多く14社中10社。次いで「【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）」が9社となっている。

Q16 あなたが人事・採用を担当している事業所は
今後、どのような学校種からの新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用したいですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

ベース:外国人採用予定企業



6.12 今後外国人を採用しようと考えている目的・理由

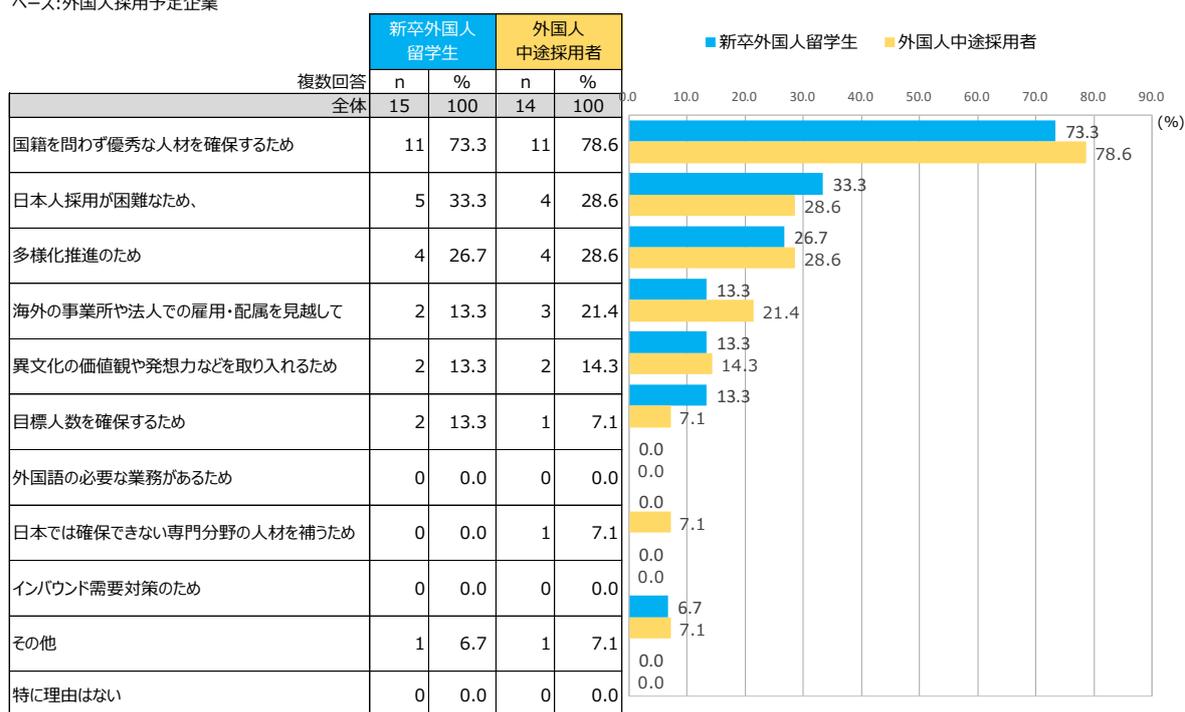
新卒外国人留学生に関しては、「国籍を問わず優秀な人材を確保するため」が最も多く 15 社中 11 社。次いで「日本人採用が困難なため」が 5 社、「多様化推進のため」が 4 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「国籍を問わず優秀な人材を確保するため」が最も多く 14 社中 11 社。次いで「日本人採用が困難なため、」と「多様化推進のため」が 4 社となっている。

Q17 あなたが人事・採用を担当している事業所が 今後、新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）

および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用しようと考えているのはどのような目的・理由からですか。
あてはまるものをすべてお知らせください。

ベース:外国人採用予定企業



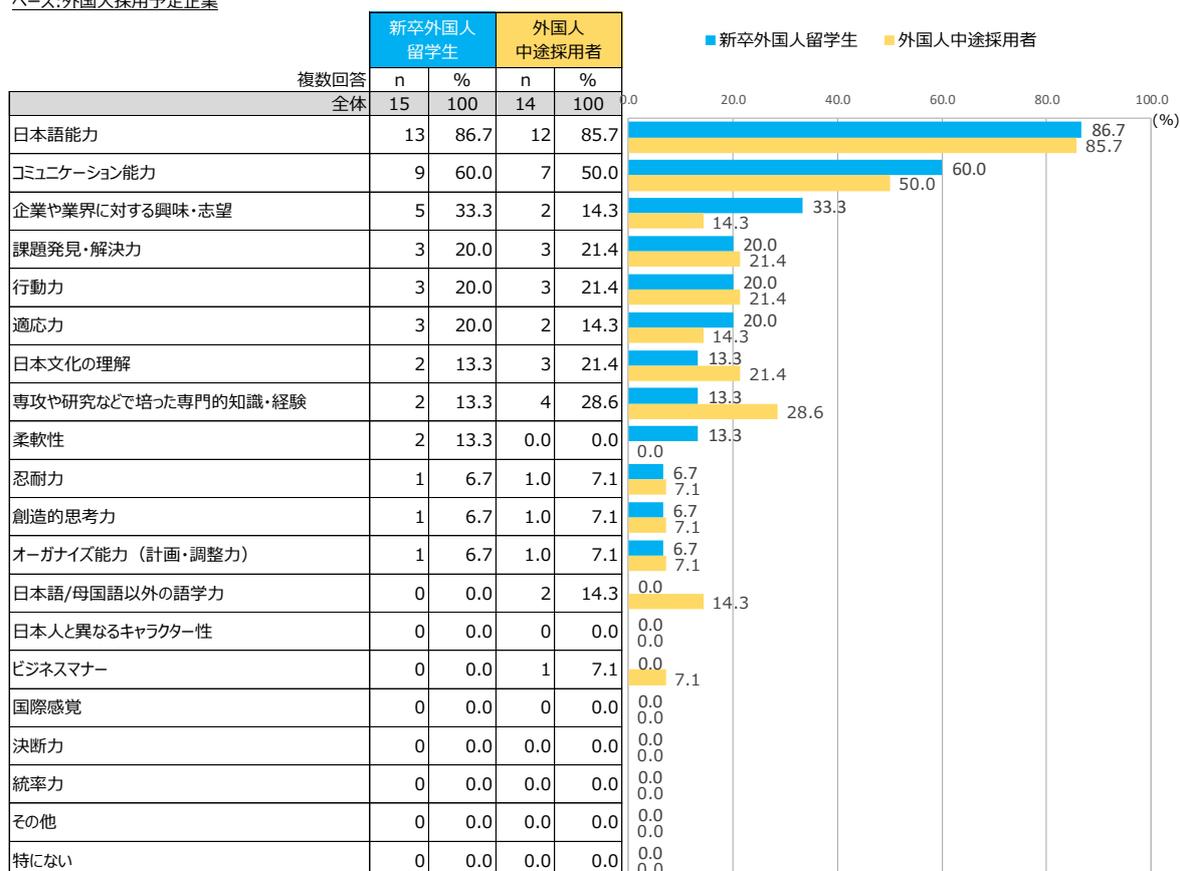
6.13 今後外国人を採用する際に重視するスキルや資質

新卒外国人留学生に関しては、「日本語能力」が最も多く15社中13社。次いで「コミュニケーション能力」が9社、「企業や業界に対する興味・志望」が5社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「日本語能力」が最も多く14社中12社。次いで「コミュニケーション能力」が7社、「専攻や研究などで培った専門的知識・経験」が4社となっている。

Q18 あなたが人事・採用を担当している事業所が
今後、新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用する際には
どのような資質やスキルを重視して採用しますか。あてはまるものを3つまでお知らせください。

ベース:外国人採用予定企業



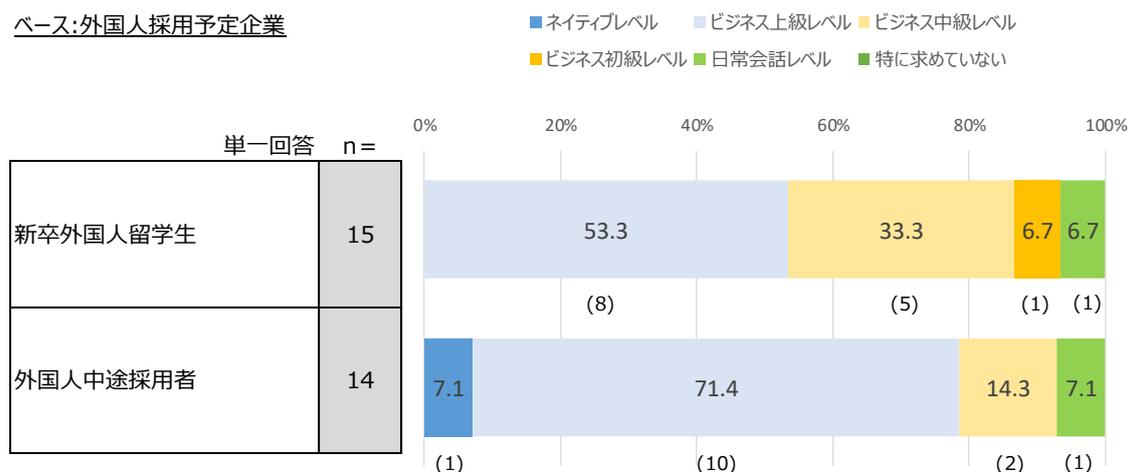
6.14 今後外国人を採用する際に求める日本語能力

新卒外国人留学生に関しては、「ビジネス上級レベル」が最も多く 15 社中 8 社。次いで「ビジネス中級レベル」が 5 社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「ビジネス上級レベル」が最も多く 14 社中 10 社。次いで「ビジネス中級レベル」が 2 社となっている。

Q19 あなたが人事・採用を担当している事業所が
 今後、新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
 および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用する際には点どの程度の日本語力を求めますか。
 最もあてはまるものをひとつお選びください。

ベース:外国人採用予定企業



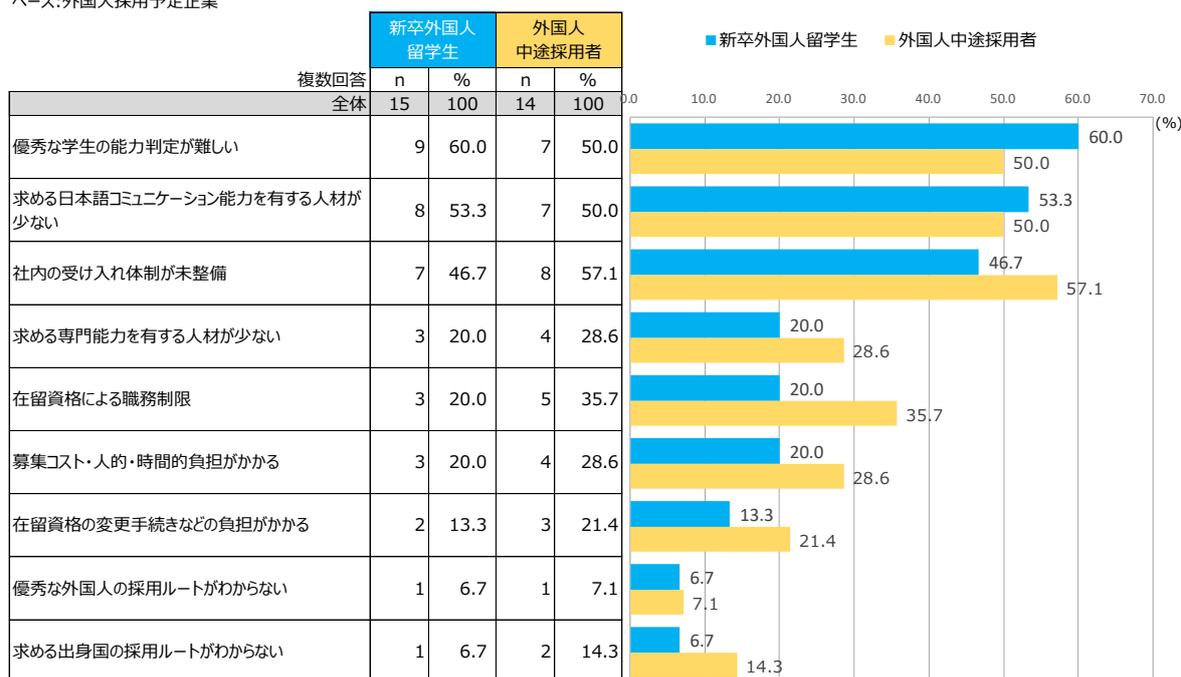
6.15 今後外国人を採用する際の課題

新卒外国人留学生に関しては、「優秀な学生の能力判定が難しい」が最も多く15社中9社。次いで「求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない」が8社、「社内の受け入れ体制が未整備」が7社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「社内の受け入れ体制が未整備」が最も多く14社中8社。次いで「優秀な学生の能力判定が難しい」と「求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない」が7社となっている。

Q20 あなたが人事・採用を担当している事業所が
今後、新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）
および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用する際の
課題としてあてはまるものをすべてお選びください。

ベース:外国人採用予定企業



6.16 今後外国人を採用する予定がない理由

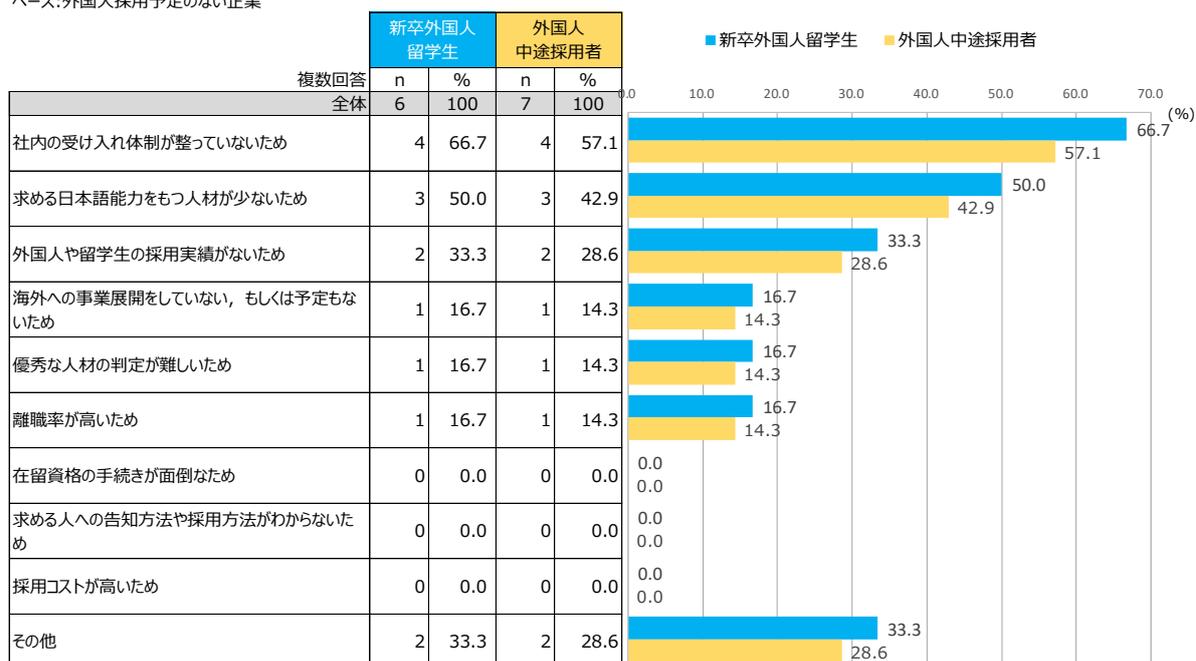
新卒外国人留学生に関しては、「社内の受け入れ体制が整っていないため」が最も多く6社中4社。次いで「求める日本語能力をもつ人材が少ないため」が3社となっている。

外国人中途採用者に関しては、「社内の受け入れ体制が整っていないため」が最も多く7社中4社。次いで「求める日本語能力をもつ人材が少ないため」が3社となっている。

Q21 あなたが人事・採用を担当している事業所が 今後、新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）

および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）をあまり採用する気はないのはどのような理由からですか。
以下の中からあてはまるものをすべてお選びください。

ベース:外国人採用予定のない企業



第7章
留学生在籍状況に関するアンケート調査（対学校）
調査結果詳細

7.1 学校1の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在籍学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科	○		15		○	
システム運用系学科	○		15	○		1
ビジネス知識系学科	○		20		○	
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）	○		50	○	○	9
合計			100%			10

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）				Q12-Q16 在籍外国人留学生 出身国（人数）	
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)	ベトナム	中国
システム開発系学科						
システム運用系学科	0	1	0	0	0	1
ビジネス知識系学科						
一般教養系学科						
その他（上記にあてはまらない学科）	9	0	0	0	7	2
合計	9	1	0	0	7	3

	Q17 在籍外国人留学生男女 比率（%）		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率（%）	
	男性	女性	N1もしくはそれ以下	N2
	30	70	0	0
	100%		N3	10
			N4	10
			N5	80
			不明・日本語能力試験は受けていない	0
				100%

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無		人数
なし	あり	
	○	3

⇒

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率（%）	
日本で他の専門学校に進学	0
日本で大学や大学院に進学	0
日本で就職または起業	100
出身国で進学	0
出身国で就職または起業	0
日本・出身国以外の国で進学	0
日本・出身国以外の国で就職または起業	0
その他	0
不明	0
	100%

7.2 学校2の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科	○		17		○	
システム運用系学科	○		21		○	
ビジネス知識系学科	○		16		○	
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）	○		46		○	
合計			100%			0

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）			
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)
システム開発系学科				
システム運用系学科				
ビジネス知識系学科				
一般教養系学科				
その他（上記にあてはまらない学科）				
合計	0	0	0	0

Q17 在籍外国人留學生男女 比率 (%)		Q18 在籍外国人留學生 日本語能力試験結果比率 (%)	
男性		N1もしくはそれ以下	
女性		N2	
0		N3	
		N4	
		N5	
		不明・日本語能力試験は受けていない	
		0	

Q19 過去3年外国人留學生 卒業生の有無		人数
なし	あり	
○		

Q20 過去3年外国人留學生卒業生の進路比率 (%)	
日本で他の専門学校に進学	
日本で大学や大学院に進学	
日本で就職または起業	
出身国で進学	
出身国で就職または起業	
日本・出身国以外の国で進学	
日本・出身国以外の国で就職または起業	
その他	
不明	
	0

7.3 学校3の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科	○		30	○		3
システム運用系学科	○		16	○		4
ビジネス知識系学科		○				
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）	○		55		○	
合計			100%			7

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）				Q12-Q16 在籍外国人留学生 出身国（人数）	
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)	韓国	上記国以外
システム開発系学科	1	2	0	0	1	2
システム運用系学科	0	4	0	0	0	4
ビジネス知識系学科						
一般教養系学科						
その他（上記にあてはまらない学科）						
合計	1	6	0	0	1	6

Q17 在籍外国人留学生男女 比率（%）		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率（%）	
男性	86	N1もしくはそれ以下	0
女性	14	N2	100
	100%	N3	0
		N4	0
		N5	0
		不明・日本語能力試験は受けていない	0
			100%

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無		人数
なし	あり	
	○	13

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率（%）	
日本で他の専門学校に進学	0
日本で大学や大学院に進学	77
日本で就職または起業	0
出身国で進学	0
出身国で就職または起業	0
日本・出身国以外の国で進学	0
日本・出身国以外の国で就職または起業	0
その他	23
不明	0
	100%

7.4 学校4の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在籍学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科		○				
システム運用系学科		○				
ビジネス知識系学科		○				
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）	○		100	○		31
合計			100%			31

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）				Q12-Q16 在籍外国人留学生 出身国（人数）				
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)	ベトナム	中国	韓国	台湾	上記国以外
システム開発系学科									
システム運用系学科									
ビジネス知識系学科									
一般教養系学科									
その他（上記にあてはまらない学科）	18	13	-	-	15	8	4	2	2
合計	18	13	0	0	15	8	4	2	2

Q17 在籍外国人留學生男女 比率 (%)		Q18 在籍外国人留學生 日本語能力試験結果比率 (%)	
男性	88	N1もしくはそれ以下	13
女性	12	N2	26
	100%	N3	6
		N4	0
		N5	0
		不明・日本語能力試験は受けていない	55
			100%

Q19 過去3年外国人留學生 卒業生の有無		人数
なし	あり	
	○	25

Q20 過去3年外国人留學生卒業生の進路比率 (%)	
日本で他の専門学校に進学	0
日本で大学や大学院に進学	32
日本で就職または起業	40
出身国で進学	0
出身国で就職または起業	12
日本・出身国以外の国で進学	0
日本・出身国以外の国で就職または起業	0
その他	8
不明	8
	100%

7.5 学校5の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科	○		72	○		8
システム運用系学科	○		28		○	
ビジネス知識系学科		○				
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）		○				
合計			100%			8

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）				Q12-Q16 在籍外国人留学生 出身国（人数）		
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)	ネパール	インドネシア	韓国
システム開発系学科	3	3	2	0	4	3	1
システム運用系学科							
ビジネス知識系学科							
一般教養系学科							
その他（上記にあてはまらない学科）							
合計	3	3	2	0	4	3	1

Q17 在籍外国人留学生男女 比率（%）		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率（%）	
男性	75	N1もしくはそれ以下	13
女性	25	N2	62
	100%	N3	13
		N4	0
		N5	0
		不明・日本語能力試験は受けていない	12
			100%

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無		人数
なし	あり	
	○	5

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率（%）	
日本で他の専門学校に進学	0
日本で大学や大学院に進学	0
日本で就職または起業	100
出身国で進学	0
出身国で就職または起業	0
日本・出身国以外の国で進学	0
日本・出身国以外の国で就職または起業	0
その他	0
不明	0
	100%

7.6 学校6の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在学学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科	○		57		○	
システム運用系学科	○		16		○	
ビジネス知識系学科	○		9		○	
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）	○		18	○		1
合計			100%			1

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）				Q12-Q16 在籍外国人 留学生 出身国（人数）
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)	中国
システム開発系学科					
システム運用系学科					
ビジネス知識系学科					
一般教養系学科					
その他（上記にあてはまらない学科）	1	-	-	-	1
合計	1	0	0	0	1

Q17 在籍外国人留学生男女 比率（%）		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率（%）	
男性	0	N1もしくはそれ以下	0
女性	100	N2	0
	100%	N3	0
		N4	0
		N5	0
		不明・日本語能力試験は受けていない	100
			100%

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無		⇒	人数	
なし	あり			
○				

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率（%）	
日本で他の専門学校に進学	
日本で大学や大学院に進学	
日本で就職または起業	
出身国で進学	
出身国で就職または起業	
日本・出身国以外の国で進学	
日本・出身国以外の国で就職または起業	
その他	
不明	
	0

7.7 学校7の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科	○		60	○		1
システム運用系学科	○		30		○	
ビジネス知識系学科	○		10		○	
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）		○				
合計			100%			1

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）				Q12-Q16 在籍外国人 留学生 出身国（人数）
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)	韓国
システム開発系学科	1	0	0	0	1
システム運用系学科					
ビジネス知識系学科					
一般教養系学科					
その他（上記にあてはまらない学科）					
合計	1	0	0	0	1

Q17 在籍外国人留学生男女 比率（%）		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率（%）	
男性	100	N1もしくはそれ以下	0
女性	0	N2	100
	100%	N3	0
		N4	0
		N5	0
		不明・日本語能力試験は受けていない	0
			100%

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無		⇒	人数
なし	あり		
○			

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率（%）	
日本で他の専門学校に進学	
日本で大学や大学院に進学	
日本で就職または起業	
出身国で進学	
出身国で就職または起業	
日本・出身国以外の国で進学	
日本・出身国以外の国で就職または起業	
その他	
不明	
	0

7.8 学校8の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在籍学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科		○				
システム運用系学科	○		33		○	
ビジネス知識系学科	○		33		○	
一般教養系学科	○		34		○	
その他（上記にあてはまらない学科）		○				
合計			100%			0

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）			
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)
システム開発系学科				
システム運用系学科				
ビジネス知識系学科				
一般教養系学科				
その他（上記にあてはまらない学科）				
合計	0	0	0	0

Q17 在籍外国人留学生男女 比率（%）		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率（%）	
男性		N1もしくはそれ以下	
女性		N2	
0		N3	
		N4	
		N5	
		不明・日本語能力試験は受けていない	
		0	

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無		⇒	人数
なし	あり		
○			

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率（%）	
日本で他の専門学校に進学	
日本で大学や大学院に進学	
日本で就職または起業	
出身国で進学	
出身国で就職または起業	
日本・出身国以外の国で進学	
日本・出身国以外の国で就職または起業	
その他	
不明	
	0

7.9 学校9の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在籍学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)
	あり	なし		あり	なし	
システム開発系学科	○		51	○		2
システム運用系学科	○		11		○	
ビジネス知識系学科		○				
一般教養系学科		○				
その他（上記にあてはまらない学科）	○		38	○		8
合計			100%			10

	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年（人数）				Q12-Q16 在籍外国人留学生 出身国（人数）		
	1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)	ベトナム	スリランカ	中国
システム開発系学科	2	0	0	0	1	0	1
システム運用系学科							
ビジネス知識系学科							
一般教養系学科							
その他（上記にあてはまらない学科）	8	0	0	0	4	4	0
合計	10	0	0	0	5	4	1

Q17 在籍外国人留学生男女 比率（%）		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率（%）	
男性	90	N1もしくはそれ以下	0
女性	10	N2	10
	100%	N3	20
		N4	0
		N5	0
		不明・日本語能力試験は受けていない	70
			100%

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無		⇒	人数
なし	あり		
○			

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率（%）	
日本で他の専門学校に進学	
日本で大学や大学院に進学	
日本で就職または起業	
出身国で進学	
出身国で就職または起業	
日本・出身国以外の国で進学	
日本・出身国以外の国で就職または起業	
その他	
不明	
	0

7.10 学校 10 の外国人留学生在籍状況

	Q3 学科の有無		Q4 在学学生数 割合 (%)	Q5 外国人留学生の 在籍有無		Q6 外国人 留学生 在籍数 (人数)	Q7-Q11 在籍外国人留学生の学年 (人数)			
	あり	なし		あり	なし		1年生	2年生	3年生	4年生 (含む4年生 以上)
システム開発系学科	○		80	○		26	11	11	4	0
システム運用系学科		○								
ビジネス知識系学科	○		20	○		30	30	0	0	0
一般教養系学科		○								
その他 (上記にあてはまらない学科)		○								
合計			100%			56	41	11	4	0

	Q12-Q16 在籍外国人留学生 出身国 (人数)								
	バトナム	中国	スリランカ	ネパール	韓国	台湾	インドネシア	バングラデ シュ	フィリピン
システム開発系学科	5	10	1	2	3	3	1	0	1
システム運用系学科									
ビジネス知識系学科	18	3	6	2		0	0	1	0
一般教養系学科									
その他 (上記にあてはまらない学科)									
合計	23	13	7	4	3	3	1	1	1

Q17 在籍外国人留学生男女 比率 (%)		Q18 在籍外国人留学生 日本語能力試験結果比率 (%)	
男性	67	N1もしくはそれ以下	10
女性	33	N2	50
	100%	N3	40
		N4	0
		N5	0
		不明・日本語能力試験は受けていない	0
			100%

Q19 過去3年外国人留学生 卒業生の有無	
なし	あり
	○

⇒

人数
9

Q20 過去3年外国人留学生卒業生の進路比率 (%)	
日本で他の専門学校に進学	0
日本で大学や大学院に進学	3
日本で就職または起業	65
出身国で進学	11
出身国で就職または起業	21
日本・出身国以外の国で進学	0
日本・出身国以外の国で就職または起業	0
その他	0
不明	0
	100%

第 8 章
付録

8.1 日本への留学に関するアンケート調査（対留学生） 調査票

日本（にほん）への留学（りゅうがく）に関（かん）するアンケート

Survey on International Students in Japan

このアンケートは、皆（みな）さん、そしてこれから日本（にほん）へ来（こ）られる留学生（りゅうがくせい）のサポート事業（じぎょう）に役立（やくだて）るためのものです

アンケートには、あなたのお名前（なまえ）や学校名（がっこうめい）などを書（か）く必要（ひつよう）はありません。あなたのプライバシーは侵害（しんがい）されませんので、ご協力（きょうりょく）をお願い（ねが）いします。

This questionnaire is used for the assisting various support programs for international students in Japan and prospective students.

It is not necessary to fill in your name and your school. Thank you for your kind cooperation.

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 11 階

<性別>

(すべての人に)

Q1. あなたの性別（せいべつ）はどちらですか

男（おとこ） Male	1
女（おんな） Female	2
答（こたえ）たくない Prefer not to say	3

<年齢>

(すべての人に)

Q2. あなたの年齢（ねんれい）をおしえてください

Please tell us your age.

<出身国>

(すべての人に)

Q3. あなたの出身国(しゅっしんこく)・地域(ちいき)はどこですか

Where are you originally from?

中国(ちゅうごく) / China	1
韓国(かんこく) / Korea	2
ベトナム / Vietnam	3
台湾(たいわん) / Taiwan	4
ネパール / Nepal	5
インドネシア / Indonesia	6
タイ / Thailand	7
マレーシア / Malaysia	8
アメリカ合衆国(がっしゅうこく) / United States of America	9
ミャンマー / Myanmar	10

モンゴル / Mongolia	11
バングラデシュ / Bangladesh	12
フランス / France	13
スリランカ / Sri Lanka	14
ドイツ / Germany	15
インド / India	16
フィリピン / Philippines	17
サウジアラビア / Saudi Arabia	18
イギリス / United Kingdom	19
ロシア / Russia	20
その他(た) / Others	21

<所属学科>

(すべての人に)

Q4. あなたが現在(げんざい) 所属している学科(がっか)をおしえてください。

Please tell us which of the following is the most applicable for your class

システム開発系(かいはつけい) (※1)	1
システム運用系(うんようけい) (※2)	2
ビジネス知識系(ちしきけい) (※3)	3
一般教養系(いっぱんきょうようけい) (※4)	4
その他(た)	5

※1 主(おも)に、システム分析(ぶんせき)や設計(せつけい)、プログラミングなど、ソフトウェア開発(かいはつ)の方法(ほうほう)を学(まな)ぶ。コンピュータゲームの開発(かいはつ)も含(ふく)む。

※2 主(おも)に、ネットワークの構築(こうちく)やネットワーク機器(きき)の設定(せってい)、情報(じょうほう)システムの運用(うんよう)、セキュリティ対策(たいさく)などを学(まな)ぶ。CADの操作(そうさ)、CGの制作なども含む(ふく)。

※3 主(おも)に、Officeツール(WordやExcelなど)の使い方(つかいかた)、経営(けいえい)や営業(えいぎょう)・販売(はんばい)の知識(ちしき)などを学(まな)ぶ。

※4 主(おも)に、日本語(にほんご)に関(かん)して、ビジネスで必要(ひつよう)な会話(かいわ)、文書(ぶんしょ)の理解(りかい)や書き方(かきかた)を学(まな)ぶ。日本(にほん)における仕事(しごと)の進め方(すすめかた)やビジネスマナーの理解(りかい)も含(ふく)む。

<学年>

(すべての人に)

Q5. あなたは現在 (げんざい) 何年生 (なんねんせい) ですか。

Please select your grade in school.

1 年生 (ねんせい) / 1 st grade	1
2 年生 (ねんせい) / 2nd grade	2
3 年生 (ねんせい) / 3 rd grade	3
4 年生 (ねんせい) / 4 th grade	4
その他 (具体的に)	5

<留学の目的>

(すべての人に)

Q6. あなたの留学 (りゅうがく) の目的 (もくてき) としてあてはまるものを**すべて**選 (えら) んでください。

What is the purpose of your study? Please choose ALL which apply.

学位 (がくい) を取得 (しゅとく) するため To obtain an academic degree	1
教養(きょうよう)を身 (み) につけるため To acquire culture	2
就職 (しゅうしょく) に必要 (ひつよう) な技能 (ぎのう) や知識 (ちしき) を身 (み) につけるため To obtain skills and knowledge for future career development	3
日本 (にほん) で働 (はたら) く、もしくは日本企業 (にほんきぎょう) に就職 (しゅうしょく) するため To work in Japan or to find a Job in a Japanese company	4
国際的 (こくさいてき) な経験 (けいけん) をつんで国際的 (こくさいてき) な人脈 (じんみゃく) を作 (つく) るため To make an international network	5
国際的 (こくさいてき) な考 (かんが) え方 (がた) を身 (み) につけるため To acquire a wide perspective	6
良 (よ) い環境 (かんきょう) で研究 (けんきゅう) を行 (おこな) うため To research in a good academic environment	7
日本語 (にほんご) の能力 (のうりよく) を高 (たか) めるため To improve your Japanese ability	8
日本文化 (にほんぶんか) に接 (せつ) するため To experience a Japanese culture	9

その他 (た) Others	10
-------------------	----

<他に検討した国>

(すべての人)

Q7. あなたは今回 (こんかい) の留学 (りゅうがく) に際 (さい) して、他 (ほか) にどの国 (くに) を検討 (けんとう) しましたか。あてはまるものを**すべて**選 (えら) んでください。

Which other country did you compare Japan against for your study? Please choose ALL which apply.

中国(ちゅうごく) / China	1
韓国(かんこく) / Korea	2
ベトナム / Vietnam	3
台湾(たいわん) / Taiwan	4
ネパール / Nepal	5
インドネシア / Indonesia	6
タイ / Thailand	7
マレーシア / Malaysia	8
アメリカ合衆国(がっしゅうこく) / United States of America	9
ミャンマー / Myanmar	10
モンゴル / Mongolia	11
バングラデシュ / Bangladesh	12
フランス / France	13
スリランカ / Sri Lanka	14
ドイツ / Germany	15
インド / India	16
フィリピン / Philippines	17
サウジアラビア / Saudi Arabia	18
イギリス / United Kingdom	19
ロシア / Russia	20
その他(た) / Others	21
比較検討 (ひかくけんとう) はしなかった / Did not compare	22

<この学校を選んだ理由>

(すべての人)

Q8. あなたが日本（にほん）を留学先（りゅうがくさき）に選（えら）んだ理由（りゆう）としてあてはまるものを**3つ**までお選びください。

Why did you decide to study in your school? Please choose the TOP THREE which apply.

日本（にほん）社会（しゃかい）に興味（きょうみ）があり、日本（にほん）で生活（せいかつ）したかったため Interested in Japanese society and wanted to live in Japan	1
日本（にほん）の教育（きょういく）や研究（けんきゅう）が魅力的（みりよくてき）と思（おも）ったため Felt that education and research in Japan were attractive	2
日本（にほん）は地理的（ちりてき）に近（ちかい）ため Japan is geographically close to my country	3
日本文化（いぶんか）に接（せつ）したかったため Wanted to experience a Japanese culture	4
日本語（にほんご）・日本（にほん）文化（ぶんか）を勉強（べんきょう）したかったため Wanted to learn Japanese and Japanese culture	5
日本（にほん）と関連（かんれん）のある職業（しよきぎょう）に就（つ）きたかったため Wanted to do work related to Japan	6
日本（にほん）の企業（きぎょう）に就職（しゅうしよく）したかったから Wanted to work for a Japanese company	7
奨学金（しょうがくきん）を得（え）られたため Received a scholarship	8
友人（ゆうじん）、知人（ちじん）、家族（かぞく）等（など）に勧（すす）められたため Recommended by your friend, acquaintance and family etc	9
日本（にほん）に親戚（しんせき）・友人（ゆうじん）・知人（ちじん）がいたから Had a relative, friend and/or acquaintance in this school	10
日本（にほん）には自分（じぶん）の出身国（しゅつしんこく）・地域（ちいき）の人（ひと）が多数（たすう）在住（ざいじゅう）しているから Many people from my original country/region lives in Japan	11
日本（にほん）というよりは今（いま）の学校（がっこう）が魅力的（みりよくてき）だったから Felt this school was attractive to attend not because of Japan	12
その他（た） Other	13

(すべての人)

Q9. あなたが今 (いま) の学校 (がっこう) を留学先 (りゅうがくさき) に選 (えら) んだ理由 (りゆう) としてあてはまるものを **3 つまで** お選びください。

Why did you decide to study in your school? Please choose the TOP THREE which apply.

この学校 (がっこう) などの教育 (きょういく) や研究 (けんきゅう) が魅力的 (みりよくてき) と思 (おも) ったため Felt that education and research in this school were attractive	1
この学校に興味 (きょうみ) ある専門 (せんもん) 分野 (ぶんや) があったため This school offered studies in a particular field of interest	2
友人 (ゆうじん) 、知人 (ちじん) 、家族 (かぞく) 等 (など) に勧 (すす) められたため Recommended by your friend, acquaintance and family etc	3
学校 (がっこう) に友人 (ゆうじん) ・知人 (ちじん) がいたから Had a friend and/or acquaintance in this school	4
同 (おな) じ国 (くに) の出身者 (しゅしんしゃ) が多 (おお) いから Had many students from my country/region	5
学校間 (がっこうかん) 交流 (こうりゅう) 等 (など) をきっかけとして On an occasion experienced the school exchange	6
学力 (がくりよく) や費用等 (ひようなど) の条件 (じょうけん) が一番 (いちばん) 合 (あ) ったため This school met most of my conditions such as academic ability and expense.	7
その他 (た) Other	8

<日本語習得機関>

(すべての人)

Q10. 今の学校に入学する前に日本語 (にほんご) を主 (おも) にどこで勉強 (べんきょう) しましたか。

Where did you study Japanese mainly before entering your school?

日本国内 (にほんこくない) の日本語学校 (にほんごがっこう) Japanese language school in Japan	1
出身国 (しゅつしんこく) の日本語学校 (にほんごがっこう) Japanese language school in your home country or region	2
日本 (にほん) や出身国 (しゅつしんこく) 以外 (いがい) の日本語学校 (にほんごがっこう)	3

Japanese language school except in Japan and in your home country or region	
その他 (そのた) Others	4

<入学時/現在の日本語レベル>

(すべての人)

Q11. あなたが今 (いま) の学校 (がっこう) に入学 (にゅうがく) した当初 (とうしょ) 、日本語 (にほんご) で行 (おこ) われた授業 (じゅぎょう) はどのくらいわかりましたか。また現在 (げんざい) 、日本語 (にほんご) で行 (おこ) われている授業 (じゅぎょう) はどのくらい理解 (りかい) できますか。

When you entered the current school, how much of the teachers Japanese could you understand?

And how much of the teachers Japanese can you understand now?

	入学当時 (にゅうがくとうしょ)	現在 (げんざい)
ほとんど理解 (りかい) できた/できる Understood completely	1	1
半分 (はんぶん) くらい理解 (りかい) できた/できる Understood half	2	2
あまり理解 (りかい) できなかった/できない Could not understand so much	3	3
全 (まった) く理解 (りかい) できなかった/できない Could not understand at all	4	4

<入学前の困りごと>

(すべての人)

Q12. 日本 (にほん) に留学 (りゅうがく) するまでに特 (とく) に苦勞 (くろう) したことは何 (なん) でしたか。

What were your problems before arriving in Japan? Please choose ALL which apply

情報 (じょうほう) の収集 (しゅうしゅう) Gathering information	1
日本語 (にほん) 学習 (がくしゅう) Learning Japanese	2
留学先学校 (りゅうがくさきがっこう) との事前 (じぜん) 連絡 (れんらく) Contact with Japanese school	3
留学 (りゅうがく) ビザ取得 (しゅとく)	4

Getting visa	
留学（りゅうがく）資金（しきん）準備（じゅんび） Preparation of expenses	5
入学（にゅうがく）試験（しけん） Entrance examination	6
その他 Others	7

<入学後の困りごと>

(すべての人)

Q13. 日本（にほん）に留学（りゅうがく）してから苦勞（くろう）したことは何（なん）でしたか。

What were your problems before arriving in Japan? Please choose ALL which apply

物価（ぶっか）が高（たか）い High prices	1
日常（にちじょう）生活（せいかつ）における母国（ぼこく）の習慣（しゅうかん） <生活（せいかつ）習慣（しゅうかん）、宗教上（しゅうきょうじょう）の習慣（しゅうかん）等 （など）>との違（ち）がい Difference customs (Lifestyle, religion etc.) to your home country or region in daily life	2
食事（しょくじ）が合（あ）わない Japanese food does not suit me	3
宿舎（しゅくしゃ）等（など）を探（さが）すこと Finding accommodation	4
宿舎（しゅくしゃ）等（など）におけるルール（ゴミ出（だ）し等（など）を守（まも）ること Following the rule in accommodation (How to put out the garbage bags etc.)	5
日本語（にほんご）の習得（しゅうとく） Japanese acquisition	6
英語（えいご）の習得（しゅうとく） English acquisition	7
学校内（がっこうない）で日本人（にほんじん）学生（がくせい）と交流（こうりゅう）できない こと Less exchange with Japanese students in school	8
学校（がっこう）の教員（きょういん）、職員（しよくいん）とのコミュニケーションが取（と）れな いこと Less communication with teachers and staff in school	9
学校（がっこう）の授業（じゅぎょう）についていくこと Catching up with the classes of school	10

その他 (た) Others	11
-------------------	----

<現在の学校の満足度>

(すべての人)

Q14. あなたが現在 (げんざい) の学校 (がっこう) にどの程度 (ていど) 満足 (まんぞく) していますか。

How satisfied are you with the current school?

とても満足 (まんぞく) Very satisfied	1
満足 (まんぞく) Satisfied	2
どちらともいえない Cannot say either	3
満足 (まんぞく) していない Not satisfied	4
まったく満足 (まんぞく) していない Not satisfied at all	5

<満足している点/不満な点>

(すべての人に)

Q15. あなたの学校 (がっこう) に満足 (まんぞく) している点 (てん) と不満 (ふまん) に感 (かん) じている点 (てん) をすべて選 (えら) んでください。

What are you satisfied and dissatisfied with in your school? Please choose ALL applied.

	満足 (まんぞく) し ている点 (てん) Item satisfied	不満 (ふまん) な 点 (てん) Item dissatisfied
学業 (がくぎょう) のサポート体制 (たいせい) Support for study	1	1
住居 (じゅうきょ) を探 (さが) す等 (など) の生活面 (せいかつめん) のサポート体制 Support for life such as finding a place to live	2	2
日本人学生 (の) 質 Quality of Japanese Students	3	3
教師 (の) 質 Quality of Teachers	4	4

学習（がくしゅう）環境（かんきょう） -教室（きょうしつ）、実習室（じっしゅうしつ）、図書館（としょかん）等（など） Learning environment (Classroom, laboratory, etc.)	5	5
授業（授業）内容（ないよう） Study/learning contents	6	6
課外活動（かがいかつどう）、クラブ活動（かつどう） Club activity	7	7
就職（しゅうしょく）サポート体制（たいせい） Support for Job hunting	8	8
その他（た） Other	9	9
特（とくに）になし None	10	10

<卒業後の進路>

(すべての人)

Q16. 現在（げんざい）の学校（がっこう）の卒業後（そつぎょうご）の進路希望（しんろきぼう）を教（おし）えてください。

What is your plan after finishing your current school in Japan?

日本（にほん）で他（ほか）の専門学校（せんもんがっこう）に進学（しんがく） Further study at another technical college in japan	1
日本（にほん）で大学（だいがく）や大学院（だいがくいん）に進学（しんがく） Further study at a Japanese university	2
日本（にほん）で就職（しゅうしょく）または起業（きぎょう） Employed/Starting a business in Japan	3
出身国（しゅっしんこく）で進学（しんがく） Further study in your home country or region	4
出身国（しゅっしんこく）で就職（しゅうしょく）または起業（きぎょう） Employed/Starting a business in your home country or region	5
日本・出身国以外（にほん・しゅっしんこくいがい）の国（くに）で進学（しんがく） Further study except in Japan and in your home country or region	6
日本・出身国以外（にほん・しゅっしんこくいがい）の国（くに）で就職（しゅうしょく）または起業（きぎょう） Employed/Starting a business except in Japan and in your home country or	7

region	
その他 (た) Other	8
まだ決 (き) めていない Not decided yet	9

<日本で就職する際に学校でしてほしいサポート>

(Q15=3 を選んだ人)

Q17. あなたが日本 (にほん) で就職 (しゅうしょく) する際 (さい) に学校 (がっこう) にどのようなサポートをしてほしいですか。以下の中からしてほしいサポートを **3 つまで** お選 (えら) びください。

What kind of support do you want from your school for your job hunting in Japan? Please choose TOP THREE applied.

ビジネスで使(つか)える日本語(にほんご)に関(かん)する研修(けんしゅう) Training of Japanese skills for business use	1
日本(にほん)の企業文化(きぎょうぶんか)・価値観(かちかん)・雇用慣行(こようかんこう)に関(かん)する研修(けんしゅう) Lecture of Companies' culture and values	2
日本(にほん)におけるビジネスマナー、礼儀作法(れいぎさほう)に関(かん)する研修(けんしゅう) Lecture of manners in business situations	3
企業(きぎょう)などへのインターンシップ Internship	4
留学生向(りゅうがくせいむ)けの求人情報(きゅうじんじょうほう)の提供(ていきょう) Recruiting information for international students	5
留学生向け(りゅうがくせいむ)の就職活動(しゅうしょくかつどう)に関(かん)するセミナー Seminar on job hunting for international students	6
留学生向(りゅうがくせいむ)けの個別(こべつ)の就職(しゅうしょく)カウンセリング Career counseling for international students	7
その他(た) Others	8
特(とく)にない Nothing	9

ご協力ありがとうございました。

8.2 留学生インタビュー調査 インタビューフロー

TIME	インタビュー項目	狙い/備考
1	導入	
0:00 (1分)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ご挨拶 <p>KEI アドバンスの〇〇といたします。 私どもは学校や学生さんのサポートをしている会社です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 趣旨の説明 <p>日本に来ている留学生の皆様から話を聞いて、皆さんに充実した学生生活を送ってもらうためにどのようなサポートが必要か、これから日本に期待と思っている学生にどのような情報を提供すればよいのかといったことを考えていきたいと思って今日お話を伺うことになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 守秘義務/個人情報保護の説明 <p>今日の話は報告書にまとめますが、●●さんのお名前が特定されることは一切ありませんので安心してお話しください。</p> <p>また私の話している日本語が分からないことがあれば、繰り返したり説明しなおしたりしますので、遠慮なくおっしゃってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラポールの形成 ■ 個人情報保護についての確認
2	ご自身について	
0:01 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 最初に●●さんのご自身のことについて教えてください。 <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 年齢 - 出身国 - 日本滞在年数 - 日本に来てすぐに今の学校に入学したのか - 学年、学科（勉強していること）/日本人と一緒に、留学生の割合 - クラブ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学生に対する一般的な背景情報を取得

	<ul style="list-style-type: none"> - 現在の住居（寮、アパート、下宿等） ⇒どのように見つけたか/見つけるのに苦労したか - アルバイトをしているか ⇒どのように見つけたか/アルバイトをしたいか/見つけにくいのか？ 	
3	日本に来る前のことについて	
0 : 06 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ●●さんはなぜ留学しようと思ったのですか (確認ポイント) <ul style="list-style-type: none"> - いつ頃から考えはじめたり検討しはじめたりしたのか - 何かきっかけがあったのか ◆ では日本に留学しようと思ったのはなぜですか (確認ポイント) <ul style="list-style-type: none"> - 他に検討した国はあるのか - どのような点を重視したのか/日本にした決め手は - 日本で留学（勉強）するのが目的だったのか、とりあえず日本に来たかったのか ◆ では、今の学校を選んだ理由を教えてください (確認ポイント) <ul style="list-style-type: none"> - 他に考えていた学校/受験したはあったか - 選ぶ際にどのような点を重視したのか/なぜ今の学校になったのか - 今の学校にした決め手は何か - 大学/大学院等は検討したか ◆ 日本に来る前に日本での生活や学校に関する情報はどのように手に入れていましたか (確認ポイント) <ul style="list-style-type: none"> - 以前に日本に来たことはあったか？ - どのように情報を取得したか - 欲しい情報は十分だったか - どのような情報が不足していたか/もっと欲しかった情報は何か 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 留学の目的、日本/現在の学校を選んだプロセス、理由を確認し、留学先として選ばれるためにどのような要因が重要なのかを確認する。 ■ 現在の学校に入学した経緯、プロセスを丁寧に聞き出す

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本に来る前に不安だったのはどのようなことですか。 ◆ 留学準備として苦労したのはどのようなことですか <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 情報収集は満足にできたか - 入試の準備は満足にできたか - ビザの取得は苦労したか - 学校とのコミュニケーションは取りやすかったか 	
4	日本語の修得について	
<p>0 : 13 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ●●さんは、現在の学校に入るまでに日本語をどのように勉強したのかを教えてください？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本語を勉強しはじめたのはいつ頃からか - 母国での学習機関はどこか、どのように勉強したか - 日本に来てからの現在の学校入学前の学習機関、どのように勉強したか - どのくらいの期間勉強したか - 勉強方法 - 留学のための勉強か、留学を目指す前から勉強していたか - 母国で日本語を使う機会はあったか、日本人の友人・知人はいたか <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今の学校で始めて授業を受けたとき、どのくらい理解できましたか？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 先生の話はどうか - テキストは理解できたか - 文章を書くことはできたか - 回りの生徒とのコミュニケーションはどうか <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今は日本語は、どのくらい理解できますか？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 先生の話はどうか - テキストは理解できたか 	<p>■ 日本語取得の状況を理解</p>

	<ul style="list-style-type: none"> - 文章を書くことはできたか - 回りの生徒とのコミュニケーションはどうか - 日常生活で困ることはあるか <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今は日本語をどのように勉強していますか？ ◆ 日本語能力試験を受けたことがありますか？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - (あれば) 取得級 	
5	日本での生活について (学業以外)	
0:18 (6分)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実際に来日してから日本の生活で困ったことはありますか？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 住居面はどうか (すぐ見つかったか？今の住居に満足しているか) - 食事はどうか - 資金面はどうか - 生活習慣/カルチャーの違いはどうか <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校が休みの日はどのように過ごしていますか ◆ 日本での生活に関して、学校にサポートしてもらいたいことは、どのようなことですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本での生活における困りごとを理解し、どのようなサポートが必要なのかを確認する。
6	日本での生活について (学業面/現在の学校に関して)	
0:24 (6分)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在の学校に関して満足度を 100 点満点としたらどのくらいですか？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 満足度の理由 - 現在の学校の良い点/よくない・不満な点 - 授業のレベルについてはどうか - 日本人学生についてはどう思うか/母国の学生と比べて勉強への取り組みはどうか - 改善して欲しい点はあるか 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の学校の満足度を確認
7	卒業後の進路について	

<p>0 : 30 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在の学校を卒業してからのことをどのように考えていますか？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 進路希望 - 進路希望は日本に来てから変化したか - 日本で就職したい/したくない理由 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本/日本以外で就職するにあたって不安なことはありますか？ ◆ 日本/日本以外で就職するにあたって、現在の学校にどのようなサポートをして欲しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 卒業後の進路予定と必要なサポートを確認
8	まとめ	
<p>0 : 35 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ あなたは今後、母国の後輩が日本に留学したいといったらどの程度進めますか？ <p>(確認ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 薦める/薦めない理由 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今後、日本に留学が決まっている母国の後輩に最もアドバイスしたいことはどのようなことですか？ ◆ 本日はありがとうございました 	<ul style="list-style-type: none"> ■ まとめ/謝辞

8.3 留学生の採用に関するアンケート（対企業）

留学生の採用に関するアンケート

少子高齢化に伴う労働人口の減少により、昨今企業における外国人や外国人留学生の採用に注目が集まっています。そこで企業の採用に関する現時点での採用実績や今後の採用計画などについての明らかにすることを目的とし、調査を実施させていただきたいと考えております。調査の趣旨をご理解いただき、是非とも協力いただけますようお願いいたします。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理します。

したがって、個々の回答やプライバシーにかかわる内容が公表されることはありません。

また、回答者が特定されることもございません。

回答は人事・採用を担当している方をお願いいたします。

質問数は最大 21 問、10 分以内で完了しますので、何卒ご協力よろしく申し上げます。

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 11 階

<回答企業の業種>

（すべての人に）

Q18. 貴社の業務内容の比率をお答えください。（人員割り当てまたは売上ベース）

システム開発受託（顧客への出向・派遣）	%
システム開発受託（自社内）	%
システム運用・管理受託（顧客への出向・派遣）	%
システム運用・管理受託（自社内）	%
自社商品（パッケージソフト等）企画・開発・運用・保守	%
自社サービス（サーバー貸出等）運用・保守	%
コンサルティング	%
教育・研修	%
研究・事業開発	%
営業	%
経営・管理	%

その他	%
合計	100%

<回答企業の位置づけ>

(すべての人に)

Q19. あなたが人事・採用を担当しているのは以下のどれにあてはまりますか。

日本企業の全社（海外事業所等を含む）	1
日本企業の支社（支社管轄の海外事業所等を含む）	2
外資系企業の日本支社（支社管轄の海外事業所等を含む）	3
その他（ ）	4

<回答企業の従業員数>

(すべての人に)

Q20. 貴社の従業員数としてあてはまるものをひとつお選びください。

※あなたが採用を担当している事業所単位でお考えください。

※本社や複数の事業所（海外を含む）の採用を担当している方は、すべてを合計してお考えください。

1-9 人	1
10-19 人	2
20-49 人	3
50-99 人	4
100-299 人	5
300-499 人	6
500-999 人	7
1000-2999 人	8
3000-4999 人	9
5000 人以上	10

<回答企業の所在地>

(すべての人に)

Q21. あなたが採用を担当している事業所（国内）の所在地をお知らせください。

※複数の事業所の採用を担当している方は、メインの事業所所在地についてお知らせください。

北海道	1
青森県	2
岩手県	3
宮城県	4
秋田県	5
山形県	6
福島県	7
茨城県	8
栃木県	9
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36

香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47

<回答企業の海外所在地>

(すべての人に)

Q22. あなたが採用を担当している事業所（海外）の所在地をお知らせください。

※複数の事業所の採用を担当している方は、メインの事業所所在地についてお知らせください。

中国	1
韓国	2
ベトナム	3
台湾	4
ネパール	5
インドネシア	6
タイ	7
マレーシア	8
アメリカ合衆国	9
ミャンマー	10
モンゴル	11
バングラデシュ	12
フランス	13
スリランカ	14
ドイツ	15
インド	16
フィリピン	17
サウジアラビア	18
イギリス	19

ロシア	20
その他	21
担当している海外の事業所は無い	22

<回答企業の海外活動状況>

(すべての人に)

Q23. 貴社の海外活動の状況としてあてはまるものを**すべて**お選びください。

海外拠点（開発や営業等の事業所または子会社等）がある	1
海外の企業（開発や営業等の委託先等）・顧客（開発等の受注先等）と取引がある	2
今は何もないが今後の海外での事業展開を検討している	3
特になし	4

<直近 3 年間の留学生採用および外国人中途採用の有無>

(すべての人に)

Q24. あなたが人事・採用を担当している事業所は**過去 3 年間に**日本人および留学生の新卒学生採用（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用（海外の現地採用は除く）を行いましたか。日本人学生と留学生、外国人中途採用それぞれについてあてはまるものを**ひとつ**お答えください

	新卒日本人 学生 (Q7.1)	新卒外国人 留学生 (Q7.2)	外国人中途 採用者 (Q7.3)
採用をした	1	1	1
採用活動は行ったが採用しなかった	2	2	2
採用活動はしなかった	3	3	3

<直近 3 年間で採用した留学生および外国人中途採用者の人数>

(Q7.2 または Q7.3 =1 を選んだ人)

Q25. あなたが人事・採用を担当している事業所が**過去 3 年間に**採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用を除く）の人数をお知らせください。

※複数の事業所の採用を担当している方は、すべてを合計してお考えください。

	新卒外国人	外国人中途
--	-------	-------

	留学生	採用者
1人	1	1
2-3人	2	2
4-5人	3	3
6-9人	4	4
10-19人	5	5
20-29人	6	6
30-49人	7	7
50人以上	8	8

<直近3年間で採用した留学生および外国人中途採用者の性別>

(Q7.2 または Q7.3 =1 を選んだ人)

Q26. あなたが人事・採用を担当している事業所が過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の性別についてあてはまるものをひとつお知らせください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
ほとんど/すべてが男性	1	1
男性がやや多い	2	2
男性、女性の数はほぼ同じ	3	3
女性がやや多い	4	4
ほとんど/すべてが女性	5	5

<直近3年間で採用した留学生および外国人中途採用者の出身学校種>

(Q7.2 または Q7.3=1 を選んだ人)

Q27. あなたが人事・採用を担当している事業所が過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の最終出身校種をすべてお知らせください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
【日本】大学院（文系）	1	1
【日本】大学院（理系）	2	2
【日本】大学（文系）	3	3
【日本】大学（理系）	4	4
【日本】高等学校	5	5

【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）※1	6	6
【日本】専門学校（IT・情報システム運用系）※2	7	7
【日本】専門学校（ビジネス知識系）※3	8	8
【日本】専門学校（一般教養系）※4	9	9
【日本】専門学校（その他）	10	10
【日本】上記以外	11	11
【海外】海外の教育機関	12	12

※1 主に、システム分析や設計、プログラミングなど、ソフトウェア開発の方法を学ぶ。コンピュータゲームの開発も含む。

※2 主に、ネットワークの構築やネットワーク機器の設定、情報システムの運用、セキュリティ対策などを学ぶ。CADの操作、CGの制作なども含む。

※3 主に、Office ツール（Word や Excel など）の使い方、経営や営業・販売の知識などを学ぶ。

※4 主に、日本語に関して、ビジネスで必要な会話、文書の理解や書き方を学ぶ。日本における仕事の進め方やビジネスマナー、日本文化の理解等も含む。

<直近3年間で採用した留学生および外国人中途採用者の出身国>

(Q7.2 または Q7.3=1 を選んだ人)

Q28. あなたが人事・採用を担当している事業所が過去3年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の出身国を**上位3つ**お知らせください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
中国	1	1
韓国	2	2
ベトナム	3	3
台湾	4	4
ネパール	5	5
インドネシア	6	6
タイ	7	7
マレーシア	8	8
アメリカ合衆国	9	9
ミャンマー	10	10
モンゴル	11	11
バングラデシュ	12	12
フランス	13	13
スリランカ	14	14
ドイツ	15	15

インド	16	16
フィリピン	17	17
サウジアラビア	18	18
イギリス	19	19
ロシア	20	20
その他	21	21

<直近 3 年間で採用した留学生および外国人中途採用者の配属部門>

(Q7.2 または Q7.3=1 を選んだ人)

Q29. あなたが人事・採用を担当している事業所が過去 3 年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）はどのような部門に配属しましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
営業・販売部門	1	1
情報システム開発部門	2	2
海外への営業・販売事業部門	3	3
海外への情報システム開発の発注・管理部門	4	4
情報システムの運用部門	5	5
教育・研修部門	6	6
事業開発・研究開発部門	7	7
総務・経理・人事などの管理部門	8	8
経営・企画部門	9	9
その他（ ）	10	10

<直近 3 年間で採用した留学生および外国人中途採用者のキャリアパス>

(Q6.2 または Q6.3=1 を選んだ人)

Q30. あなたが人事・採用を担当している事業所が過去 3 年間に採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）は将来的にどこに配属する予定ですか。最もあてはまるものをひとつお選びください。

※複数の採用があった場合は最も多いと思われる配属地をお選びください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者

出身国に配属する	1	1
日本・出身国以外の海外に配属する	2	2
日本に配属する	3	3

<入社後の活躍>

(Q7.2 または Q7.3=1 を選んだ人)

Q31. あなたが人事・採用を担当している事業所が**過去 3 年間に**採用した新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の活躍度合いについて、あなたはどのようにお考えですか。最もあてはまるものを**ひとつ**お選びください

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
期待以上に活躍している	1	1
期待通りの活躍をしている	2	2
普通	3	3
やや期待はずれ	4	4
全く戦力になっていない	5	5
よくわからない	6	6

<今後の留学生および外国人中途採用者の採用方向性>

(すべての人に)

Q32. あなたが人事・採用を担当している事業所は今後の新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）の採用についてどのようにお考えですか。最もあてはまるものを**ひとつ**お選びください

	新卒外国人 留学生 (Q15.1)	外国人中途 採用者 (Q15.2)
積極的に採用を増やしたい	1	1
いい人材がいれば採用したい	2	2
あまり採用する気はない	3	3

<今後採用したい留学生および外国人中途採用者の出身学校種>

(Q15.1 または Q15.2=1or2 を選んだ人)

Q33. あなたが人事・採用を担当している事業所は今後、どのような学校種からの新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用したいですか。あてはまるものを**すべて**お選びください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
【日本】大学院（文系）	1	1
【日本】大学院（理系）	2	2
【日本】大学（文系）	3	3
【日本】大学（理系）	4	4
【日本】高等学校	5	5
【日本】専門学校（IT・情報システム開発系）※ 1	6	6
【日本】専門学校（IT・情報システム運用系）※ 2	7	7
【日本】専門学校（ビジネス知識系）※ 3	8	8
【日本】専門学校（一般教養系）※ 4	9	9
【日本】専門学校（その他）	10	10
【日本】上記以外	11	11
【海外】海外の教育機関	12	12

- ※ 1 主に、システム分析や設計、プログラミングなど、ソフトウェア開発の方法を学ぶ。コンピュータゲームの開発も含む。
- ※ 2 主に、ネットワークの構築やネットワーク機器の設定、情報システムの運用、セキュリティ対策などを学ぶ。CAD の操作、CG の制作なども含む。
- ※ 3 主に、Office ツール（Word や Excel など）の使い方、経営や営業・販売の知識などを学ぶ。
- ※ 4 主に、日本語に関して、ビジネスで必要な会話、文書の理解や書き方を学ぶ。日本における仕事の進め方やビジネスマナー、日本文化の理解等も含む。

<留学生および外国人中途採用者を採用する動機・目的>

(Q14.1 または Q14.2=1or2 を選んだ人)

Q34. あなたが人事・採用を担当している事業所が今後新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用しようと考えているのはどのような目的・理由からですか。あてはまるものを**すべて**お知らせください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
国籍を問わず優秀な人材を確保するため	1	1

海外の事業所や法人での雇用・配属を見越して	2	2
外国語の必要な業務があるため	3	3
多様化推進のため	4	4
異文化の価値観や発想力などを取り入れるため	5	5
日本では確保できない専門分野の人材を補うため	6	6
日本人採用が困難なため、	7	7
目標人数を確保するため	8	8
インバウンド需要対策のため	9	9
その他（ ）	10	10
特に理由はない	11	11

<留学生および外国人中途採用者に求める資質・スキル>

(Q15.1 または Q15.2=1or2 を選んだ人)

Q35. あなたが人事・採用を担当している事業所が今後、新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用する際にはどのような資質やスキルを重視して採用しますか。あてはまるものを **3 つまで** お知らせください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
日本語能力	1	1
日本語/母国語以外の語学力	2	2
日本文化の理解	3	3
日本人と異なるキャラクター性	4	4
専攻や研究などで培った専門的知識・経験	5	5
企業や業界に対する興味・志望	6	6
コミュニケーション能力	7	7
ビジネスマナー	8	8
国際感覚	9	9
課題発見・解決力	10	10
行動力	11	11
適応力	12	12
柔軟性	13	13
忍耐力	14	14
創造的思考力	15	15
決断力	16	16
統率力	17	17

オーガナイズ能力（計画・調整力）	18	18
特になし	19	19
その他	20	20

<留学生および外国人中途採用者に求める日本語能力>

（Q15.1 または Q15.2=1or2 を選んだ人）

Q36. あなたが人事・採用を担当している事業所が今後、新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用する際には点どの程度の日本語力を求めますか。最もあてはまるものを**ひとつ**お選びください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
ネイティブレベル	1	1
ビジネス上級レベル（ビジネスシーンで使用する会話、読み書きが問題なくできる）	2	2
ビジネス中級レベル（ビジネスシーンで使用する会話、読み書きがある程度できる）	3	3
ビジネス初級レベル（ビジネスシーンで使用する最低限の会話、読み書きができる）	4	4
日常会話レベル（最低限の日常会話が多少できる。ビジネス上の会話や読み書きはほとんどできない）	5	5
特に求めている	6	6

<留学生および外国人中途採用者の採用時の課題>

（Q15.1 または Q15.2=1or2 を選んだ人）

Q37. あなたが人事・採用を担当している事業所が今後新卒外国人留学生（海外の現地採用を含む）および外国人中途採用者（海外の現地採用は除く）を採用する際の課題としてあてはまるものを**すべて**お選びください。

	新卒外国人 留学生	外国人中途 採用者
優秀な学生の能力判定が難しい	1	1
社内の受け入れ体制が未整備	2	2
求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない	3	3
優秀な外国人の採用ルートがわからない	4	4
在留資格の変更手続きなどの負担がかかる	5	5

8.4 留学生在籍状況に関するアンケート調査（対学校）

留学生在籍状況に関するアンケート

この度は留学生在籍状況に関するアンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理します。

したがって、個々の回答やプライバシーにかかわる内容が公表されることはありません。

また、回答者が特定されることもございません。

質問数は最大 20 問、10 分程度で完了しますので、何卒ご協力よろしくお願いします。

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

<学校名>

(すべての人に)

Q39. 貴校の名称をご記入ください。

<回答校の所在地>

(すべての人に)

Q40. 貴校の所在地をお知らせください。

北海道	1
青森県	2
岩手県	3
宮城県	4
秋田県	5
山形県	6
福島県	7
茨城県	8
栃木県	9

群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47

<学科有無>

(すべての人に)

Q41. 貴校には以下に該当する学科はありますか。

	ある	ない
システム開発系学科 (※1)	1	2
システム運用系学科 (※2)	1	2
ビジネス知識系学科 (※3)	1	2
一般教養系学科 (※4)	1	2
その他	1	2

※1 主に、システム分析や設計、プログラミングなど、ソフトウェア開発の方法を学ぶ。コンピュータゲームの開発も含む。

※2 主に、ネットワークの構築やネットワーク機器の設定、情報システムの運用、セキュリティ対策などを学ぶ。CADの操作、CGの制作なども含む。

※3 主に、Office ツール (Word や Excel など) の使い方、経営や営業・販売の知識などを学ぶ。

※4 主に、日本語に関して、ビジネスで必要な会話、文書の理解や書き方を学ぶ。日本における仕事の進め方やビジネスマナーの理解も含む。

<学科別学生数割合>

(すべての人に)

Q42. 貴校の学生全体を 100%とした場合、以下の学科にどのくらいの割合で所属していますか。合計が 100 になるように各学科の学生の割合を割り振ってください。

システム開発系学科 (※1)	%
システム運用系学科 (※2)	%
ビジネス知識系学科 (※3)	%
一般教養系学科 (※4)	%
その他	%
	100%

※1 主に、システム分析や設計、プログラミングなど、ソフトウェア開発の方法を学ぶ。コンピュータゲームの開発も含む。

※2 主に、ネットワークの構築やネットワーク機器の設定、情報システムの運用、セキュリティ対策などを学ぶ。CADの操作、CGの制作なども含む。

※3 主に、Office ツール (Word や Excel など) の使い方、経営や営業・販売の知識などを学ぶ。

※4 主に、日本語に関して、ビジネスで必要な会話、文書の理解や書き方を学ぶ。日本における仕事の進め方やビジネスマナーの理解も含む。

<外国人留学生在籍状況>

(すべての人に)

Q43. 貴校には現在外国人留学生在籍していますか（2017年5月1日現在）。学科ごとにお答えください。

	在籍 している	在籍 していない
システム開発系学科（※1）	1	2
システム運用系学科（※2）	1	2
ビジネス知識系学科（※3）	1	2
一般教養系学科（※4）	1	2
その他	1	2

- ※1 主に、システム分析や設計、プログラミングなど、ソフトウェア開発の方法を学ぶ。コンピュータゲームの開発も含む。
- ※2 主に、ネットワークの構築やネットワーク機器の設定、情報システムの運用、セキュリティ対策などを学ぶ。CADの操作、CGの制作なども含む。
- ※3 主に、Office ツール（Word や Excel など）の使い方、経営や営業・販売の知識などを学ぶ。
- ※4 主に、日本語に関して、ビジネスで必要な会話、文書の理解や書き方を学ぶ。日本における仕事の進め方やビジネスマナーの理解も含む。

<外国人留学生数>

(Q5.1-5.5=1の人に)

Q44. 貴校に現在在籍している外国人留学生数を学科別で記入ください（2017年5月1日現在）。

システム開発系学科（※1）	
システム運用系学科（※2）	
ビジネス知識系学科（※3）	
一般教養系学科（※4）	
その他	
	〇〇人

- ※1 主に、システム分析や設計、プログラミングなど、ソフトウェア開発の方法を学ぶ。コンピュータゲームの開発も含む。
- ※2 主に、ネットワークの構築やネットワーク機器の設定、情報システムの運用、セキュリティ対策などを学ぶ。CADの操作、CGの制作なども含む。
- ※3 主に、Office ツール（Word や Excel など）の使い方、経営や営業・販売の知識などを学ぶ。
- ※4 主に、日本語に関して、ビジネスで必要な会話、文書の理解や書き方を学ぶ。日本における仕事の進め方やビジネスマナーの理解も含む。

<学年別外国人留学生数：システム開発系学科>

(Q5.1=1の人に)

Q45. 貴校の**システム開発系学科**に在籍する外国人留学生の学年別学生数をご記入ください。

- ※ 該当学年に留学生が在籍していない場合は0を入力してください。
- ※ 学科に学年がない場合（2年制学科における3年生、4年生（含む4年生以上）等）は、その学年欄に何も記入しないでください。
- ※ 合計が〇〇人（Q6.1の回答）になるようにご記入ください。

1年生	
2年生	
3年生	
4年生（含む4年生以上）	
学年なし	
	〇〇人

<学年別外国人留学生数：システム運用系学科>

(Q5.2=1の人に)

Q46. 貴校の**システム運用系学科**に在籍する外国人留学生の学年別学生数をご記入ください。

- ※ 該当学年に留学生が在籍していない場合は0を入力してください。
- ※ 学科に学年がない場合（2年制学科における3年生、4年生（含む4年生以上）等）は、その学年欄に何も記入しないでください。
- ※ 合計が〇〇人（Q6.2の回答）になるようにご記入ください。

1年生	
2年生	
3年生	
4年生（含む4年生以上）	
学年なし	
	〇〇人

<学年別外国人留学生数：ビジネス知識系学科>

(Q5.3=1の人に)

Q47. 貴校の**ビジネス知識系学科**に在籍する外国人留学生の学年別学生数をご記入ください。

- ※ 該当学年に留学生が在籍していない場合は0を入力してください。
- ※ 学科に学年がない場合（2年制学科における3年生、4年生（含む4年生以上）等）は、その学年欄に何も記入しないでください。
- ※ 合計が〇〇人（Q6.3の回答）になるようにご記入ください。

1 年生	
2 年生	
3 年生	
4 年生 (含む 4 年生以上)	
学年なし	
	〇〇人

<学年別外国人留学生数：一般教養系学科>

(Q5.4=1 の人に)

Q48. 貴校の**一般教養系学科**に在籍する外国人留学生の学年別学生数をご記入ください。

- ※ 該当学年に留学生が在籍していない場合は 0 を入力してください。
- ※ 学科に学年がない場合（2 年制学科における 3 年生、4 年生（含む 4 年生以上）等）は、その学年欄に何も記入しないでください。
- ※ 合計が〇〇人（Q6.4 の回答）になるようにご記入ください。

1 年生	
2 年生	
3 年生	
4 年生 (含む 4 年生以上)	
学年なし	
	〇〇人

<学年別外国人留学生数：その他>

(Q5.5=1 の人に)

Q49. 貴校のシステム開発系学科/システム運用系学科/ビジネス知識系学科/一般教養系学科以外の**その他学科**に在籍する外国人留学生の学年別学生数をご記入ください。

- ※ 該当学年に留学生が在籍していない場合は 0 を入力してください。
- ※ 学科に学年がない場合（2 年制学科における 3 年生、4 年生（含む 4 年生以上）等）は、その学年欄に何も記入しないでください。
- ※ 合計が〇〇人（Q6.5 の回答）になるようにご記入ください。

1 年生	
2 年生	
3 年生	
4 年生 (含む 4 年生以上)	

学年なし	
	〇〇人

<出身国別外国人留学生数：システム開発系学科>

(Q5.1=1の人に)

Q50. 貴校の**システム開発系学科**に在籍する外国人留学生の出身国別学生数をご記入ください。

※ 合計が〇〇人（Q6.1の回答）になるようにご記入ください。

中国	
韓国	
ベトナム	
台湾	
ネパール	
インドネシア	
タイ	
マレーシア	
アメリカ合衆国	
ミャンマー	
モンゴル	
バングラデシュ	
フランス	
スリランカ	
ドイツ	
インド	
フィリピン	
サウジアラビア	
イギリス	
ロシア	
その他	
	〇〇人

<出身国別外国人留学生数：システム運用系学科>

(Q5.2=1の人に)

Q51. 貴校の**システム運用系学科**に在籍する外国人留学生の出身国別学生数をご記入ください。

※ 合計が〇〇人（Q6.2の回答）になるようにご記入ください。

<選択肢は Q12 と同じ>

<出身国別外国人留学生数：ビジネス知識系学科>

(Q5.3=1の人に)

Q52. 貴校の**ビジネス知識系学科**に在籍する外国人留学生の出身国別学生数をご記入ください。

※ 合計が〇〇人 (Q6.3の回答) になるようにご記入ください。

<選択肢は Q12 と同じ>

<出身国別外国人留学生数：一般教養系学科>

(Q5.4=1の人に)

Q53. 貴校の**システム開発系学科**に在籍する外国人留学生の出身国別学生数をご記入ください。

※ 合計が〇〇人 (Q6.4の回答) になるようにご記入ください。

<選択肢は Q12 と同じ>

<出身国別外国人留学生数：その他学科>

(Q5.5=1の人に)

Q54. 貴校の**システム開発系学科/システム運用系学科/ビジネス知識系学科/一般教養系学科以外のその他学科**に在籍する外国人留学生の出身国別学生数をご記入ください。

※ 合計が〇〇人 (Q6.5の回答) になるようにご記入ください。

<選択肢は Q12 と同じ>

<留学生性別割合>

(Q5.1-5.5のいずれか=1の人に)

Q55. 貴校の外国人留学生全体の男女の割合をお知らせください。

※ 合計が 100%になるようにご記入ください。

男性	%
女性	%
	100%

<留学生日本語能力割合>

(Q5.1-5.5のいずれか=1の人に)

Q56. 貴校の外国人留学生全体の日本語能力試験の**入学時の**スコアの割合をお知らせください。

※ 合計が 100%になるようにご記入ください。

N1 もしくはそれ以下	%
N2	%

N3	%
N4	%
N5	%
不明・日本語能力試験は受けていない	%
	100%

<直近 3 年間で卒業した留学生数>

(すべての人に)

Q57. 貴校に過去 3 年間で卒業した外国人留学生はいますか。いる場合は合計人数をお知らせください。

いる ⇒ () 人	1
いない	2

<直近 3 年間で卒業した留学生数の進路>

(Q18=1 の人に)

Q58. 貴校で過去 3 年間に卒業した外国人留学生の卒業後の進路の割合について教えてください。

※ 合計が 100%になるようにご記入ください。

日本で他の専門学校に進学	%
日本で大学や大学院に進学	%
日本で就職または起業	%
出身国で進学	%
出身国で就職または起業	%
日本・出身国以外の国で進学	%
日本・出身国以外の国で就職または起業	%
その他	%
不明	%
	100%

ご協力ありがとうございました。

平成 29 年度「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業 IT ビジネス分野事業

IT・情報系専門学校における留学生に関する調査報告書

平成 30 年 3 月

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 11 階
電話：03-3230-4814 FAX 03-3230-2688

●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。